

厚 木 市

子ども・子育て支援事業二一ズ調査
報告書

平成31年3月

厚木市こども未来部こども育成課

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	抽出方法	1
4	調査期間	1
5	調査方法	1
6	回収状況	1
7	調査結果の表示方法	1
II-1	調査結果のまとめ	3
1	未就学児	3
	(1) 住んでいる地域について.....	3
	(2) 子どもと家族の状況について.....	3
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	3
	(4) 保護者の就労状況について.....	3
	(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	3
	(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	4
	(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	4
	(8) 病気の際の対応について.....	4
	(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	4
	(10) 子どもが5歳以上である方に、小学校就学後の希望する放課後の過ごし方について.....	5
	(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	5
	(12) 厚木市の子育て環境について.....	6
2	就学児童	7
	(1) 住んでいる地域について.....	7
	(2) 子どもとご家族の状況について.....	7
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	7
	(4) 保護者の就労状況について.....	7
	(5) 病気の際の対応について.....	7
	(6) 放課後の過ごし方について.....	8
	(7) 厚木市の子育て環境について.....	8

Ⅱ-2	調査結果	9
1	未就学児	9
	(1) お住まいの地域について	9
	(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	9
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	12
	(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	17
	(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	27
	(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	38
	(7) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	44
	(8) 宛名のお子さんの病気の際の対応について	47
	(9) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	55
	(10) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	61
	(11) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	67
	(12) すべての方に、厚木市の子育て環境について	74
	(13) 自由記述	76
2	就学児童	86
	(1) お住まいの地域について	86
	(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	86
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	89
	(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	94
	(5) 宛名のお子さんの病気の際の対応について	101
	(6) 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について	108
	(7) すべての方に、厚木市の子育て環境について	117
	(8) 自由記述	119
Ⅱ-3	調査票	126
1	未就学児	126
2	就学児童	156

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づく2020年度から2024年度までの5年間を計画期間とした「第2期厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出等に活用するため、ニーズの現状を把握し、分析を行うことを目的とし、調査結果は、今後の厚木市の子ども・子育て支援のあり方を決めるための貴重な資料として、すべての子育て世帯を応援するために活用します。

2 調査対象

- (1) 未就学児調査 厚木市在住の小学校入学前の子どもがいる保護者 4,000人
- (2) 就学児童調査 厚木市在住の小学生の子どもがいる保護者 2,000人

3 抽出方法

年齢別、地域別の分析が可能となるように、平成30年11月14日時点で住民基本台帳から未就学児・就学児童の保護者を無作為に抽出しています。

4 調査期間

平成30年12月19日から平成31年1月11日まで

5 調査方法

アンケート調査票の郵送による配付・回収

6 回収状況

調査区分	配付数	有効回答数	有効回答率
未就学児	4,000件	1,599件	40.0%
就学児童	2,000件	842件	42.1%

7 調査結果の表示方法

- (1) 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

(4) 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。(無回答を除く)

(5) 未就学児のクロス集計の年齢区分は、以下のとおりです。

年齢	生年月日	年齢	生年月日
0歳	平成29年4月以降	3歳	平成26年4月～平成27年3月
1歳	平成28年4月～平成29年3月	4歳	平成25年4月～平成26年3月
2歳	平成27年4月～平成28年3月	5歳	平成24年4月～平成25年3月

(6) 本調査は標本調査であるため、回答比率には下表のとおり標本誤差があります。

<比率の差の検定方法>

$$b = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

※ b = 標本誤差・N = 母集団数・n = 回答者数・P = 回答の比率
k = 信頼度係数 (信頼度95%の場合、k = 1.96)

	未就学児	就学児童
母集団	10,040	11,742
標本数	1,599	842

<標本誤差>

回答比率	10%・90%	20%・80%	30%・70%	40%・60%	50%
未就学児	±1.3%	±1.8%	±2.1%	±2.2%	±2.2%
就学児童	±2.0%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.3%

※ 未就学児調査では、ある選択肢の回答比率が20%(80%)の場合、母集団における比率が18.2%～21.8%(78.2%～81.8%)の範囲内にあることを示す。

II-1 調査結果のまとめ

1 未就学児

(1) 住んでいる地域について

住んでいる地域は、「南毛利」の割合が2割と最も高く、次いで「厚木北」の割合が1割となっています。

(2) 子どもと家族の状況について

子どもの子育て（教育を含む）を主に行っている人については、「父母ともに」、「主に母親」の割合が約5割となっており、平成25年度調査と比較しても、大きな変化はありません。一方「主に父親」の割合が0.4%と低い状態となっています。

家庭の現在の暮らしの状況については、「普通」の割合が最も高くなっていますが、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が4割以上となっており、その理由として、「家計のやりくり」の割合が約8割と最も高くなっています。

(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人（施設）については、「父母ともに」の割合が6割と最も高くなっています。平成25年度調査と比較すると、「保育所」、「認定こども園」の割合が増加しています。

また、子育てに最も影響する環境については、「家庭」の割合が最も高くなっています。

子育てをするうえで、気軽に相談できる人が「いる/ある」の割合が9割以上となっており、その相談相手として、「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高くなっています。一方、「いない/ない」の割合は6.0%となっており、相談できる人がいない市民がいることがうかがえます。

現時点での気になることや心配なことについては、「性格」、「行動面」の割合が高くなっています。

(4) 保護者の就労状況について

母親の就労状況は「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が最も高くなっていますが、平成25年度調査と比較すると、12.5ポイント減少しており、また、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は6.5ポイント増加しており、就労している母親が増加しています。父親の就労状況は、平成25年度調査と大きな変化はありません。

今後のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が5割以上と最も高く、平成25年度調査からも増加しています。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

平日の「定期的な」教育・保育事業を利用している割合は65.0%であり、前回調査より22.4ポイント増加しています。そのうち、認定こども園の利用割合が13.0ポイント増加しています。子どもの年齢別で見ると、0～2歳で認可保育所、3歳以上では幼稚園の利用割

合が高くなっています。また、利用意向をみると、幼稚園と幼稚園の預かり保育、認可保育所、認定こども園については現状の利用割合より高く、幼児教育・保育の無償化に伴い、保育料が無料になった場合においては、特に幼稚園と幼稚園の預かり保育の利用意向が高くなっています。

(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業の利用状況を見ると、利用していない割合が7割となっています。また、今後の利用意向については、「利用していないが、今後利用したい」の割合が2割、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が約6割となっています。

これまでに利用したことがある事業について、すべての事業において、利用したことがある割合は5割以下となっており、特に、「家庭教育に関する学級・講座」、「教育相談センター・教育相談室」の利用は1割以下となっています。今後の利用意向については、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、「子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）」、「自治体発行の子育て支援情報誌」の割合が5割以上と高くなっています。

(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望について、「利用する必要はない」の割合が6割以上と高く、「月に1～2回利用したい」の割合が2割以上となっています。また、「月に1～2回利用したい」理由として、「月に数回仕事が入るため」の割合が最も高く、次いで「リフレッシュ」、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」となっています。

幼稚園を利用している方で、長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について、「休み期間中、週に数日利用したい」の割合が約5割となっており、利用したい理由として、「週に数回仕事が入るため」、「リフレッシュ」の割合が高くなっています。

(8) 病気の際の対応について

この1年間に子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあった割合は、7割以上となっており、特に、0～2歳児で割合が高くなっています。その時の対処方法として、「母親が休んだ」の割合が約7割となっています。

また、この1年間に子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った割合が約4割となっており、「小児科に併設した施設で子どもの保育をする事業」を希望する割合が高くなっています。

(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

私用や親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業について、「利用していない」の割合が約8割となっており、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」の割合が1割となっています。利用する必要がない理由として、「特に利用する必要がない」の割合が約7割と最も高くなっており、「利用料がかかる・高い」の割合が2割以上となっています。

また、私用や親の通院、不定期の就労等の目的で事業を今後利用したい割合が約5割となっており、その理由として、「私用、リフレッシュ」の割合が7割以上と高く、年間「10日～19日」の利用を希望する割合が高くなっています。また、その事業形態として、「大規模施設で子どもを保育する事業」を希望する割合が7割以上となっています。

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった割合が約2割となっており、その対処方法として「(同居を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が9割となっています。

(10) 子どもが5歳以上である方に、小学校就学後の希望する放課後の過ごし方について

小学校低学年までの放課後の過ごし方について、「自宅」の割合が約6割と最も高く、「習い事」の割合が約5割、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が約4割となっています。

小学校高学年になってからの放課後の過ごし方について、「自宅」、「習い事」の割合が約7割と高くなっており、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が約2割となっています。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい方の土曜日と日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が、土曜日は約5割、日曜日・祝日は約8割となっています。

また、子どもの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」、「低学年の間は利用したい」の割合が約3割となっています。

(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

子どもが生まれた時の育児休業の取得状況は、「取得した(取得中)」の割合は母親で約4割となっており、父親で1割以下となっています。

取得しなかった理由として、母親では、「子育てに専念するために退職した」の割合が最も高く、父親では、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が高くなっています。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせたタイミングだった割合が母親で約6割となっています。

また、育児休業から職場復帰をした時の子どもの年齢は、「実際」、「希望」とともに、母親で「7か月～12か月」の割合が高くなっていますが、「希望」に比べ「実際」で10.3ポイント高くなっています。「希望」より早く職場復帰した理由としては、「希望する保育所・認定こども園に入るため」の割合が6割以上と高くなっており、遅く復帰した理由は、「希望する保育所・認定こども園に入れなかったため」の割合が9割と高くなっています。

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用した割合は母親で5割以上となっていますが、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が2割以上となっています。

(12) 厚木市の子育て環境について

住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、“満足している”の割合が5割以上となっており、“満足していない”の割合は約1割となっています。平成25年度調査と比較すると、“満足している”の「4」と「5」の割合は19.3ポイント増加しています。

また、以前（5年前程度）に比べ、市の子育て環境が“良くなったと思う”の割合が31.8%となっており、“悪くなったと思う”の割合が1.5%となっています。

2 就学児童

(1) 住んでいる地域について

住んでいる地域は、「南毛利」の割合が約2割と最も高く、次いで「厚木北」の割合が1割となっています。

(2) 子どもとご家族の状況について

子どもの子育て（教育を含む）を主に行っている人については、未就学児と同様に、「父母ともに」、「主に母親」の割合が約5割となっており、平成25年度調査と比較しても、大きな変化はありません。

家庭の現在の暮らしの状況については、「普通」の割合が最も高くなっていますが、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が約5割となっており、その理由として、「家計のやりくり」の割合が約8割と最も高くなっています。

(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるかについて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が5割以上となっていますが、一方で「いずれもない」の割合が約2割となっています。

子育てをする上で、気軽に相談できる人が「いる/ある」の割合が約9割となっており、その相談相手として、「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高くなっています。一方、「いない/ない」の割合は約1割となっており、相談できる人がいない市民がいることがうかがえます。

これまでに利用したことがある市の事業について、すべての事業において、利用したことがある割合は4割以下となっており、特に、「教育相談センター・教育相談室」の利用は1割以下となっています。今後の利用意向についても、低い割合となっています。

現時点で気になることや心配なことについて、「性格」、「行動面」、「学習面」の割合が高くなっています。

(4) 保護者の就労状況について

母親の就労状況は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休介護休暇中ではない」の割合が最も高くなっています。平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休介護休業中ではない」の割合が7.8ポイント増加しており、就労している母親が増加しています。

今後のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が6割と最も高くなっています。

(5) 病気の際の対応について

この1年間に子どもが病気やケガで小学校を休んだことがある割合は、6割以上となっており、その時の対処方法として、「母親が休んだ」の割合が6割以上となっています。

また、この1年間に子どもが病気やケガで小学校を休んだ時に、病児・病後児のための保育施設等を「利用したいと思わない」の割合が8割以上となっています。

(6) 放課後の過ごし方について

放課後の時間をどこで過ごしているかについて、「自宅」の割合が約8割と最も高く、「習い事」の割合が約6割、「放課後児童クラブ（市運営）」の割合が約3割となっています。

放課後の時間をどこで過ごさせたいかについても、「自宅」や「習い事」の割合は高くなっていますが、「放課後児童クラブ（市運営）」の割合は約1割となっています。

放課後児童クラブ（市運営）に対する要望については、「現状のままで良い」の割合が3割以上と最も高く、次いで「スタッフ体制の充実」、「利用時間を延長してほしい」の割合が約2割となっています。

(7) 厚木市の子育て環境について

地域における子育ての環境や支援への満足度については、“満足している”の「4」と「5」の割合が約5割となっており、“満足していない”の「1」と「2」の割合が約1割となっています。

また、以前（5年前程度）に比べ、市の子育て環境が“良くなったと思う”の割合が39.6%となっており、“悪くなったと思う”の割合が1.4%となっています。

II-2 調査結果

1 未就学児

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

上段：件数 下段：構成比（%）

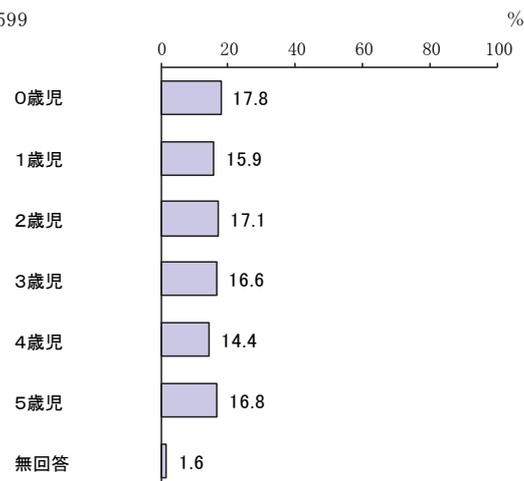
全体	厚木北	厚木南	依知北	依知南	睦合北	睦合南	睦合西	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	緑ヶ丘	愛甲	森の里	無回答
1,599	168	136	97	86	40	103	67	122	70	17	324	87	65	89	27	101
100.0	10.5	8.5	6.1	5.4	2.5	6.4	4.2	7.6	4.4	1.1	20.3	5.4	4.1	5.6	1.7	6.3

(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

「0歳児」の割合が17.8%と最も高く、次いで「2歳児」の割合が17.1%、「5歳児」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 1,599

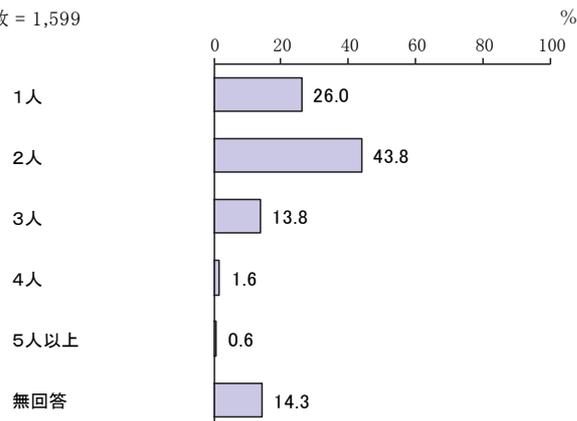


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

ア. きょうだい数

「2人」の割合が43.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が26.0%、「3人」の割合が13.8%となっています。

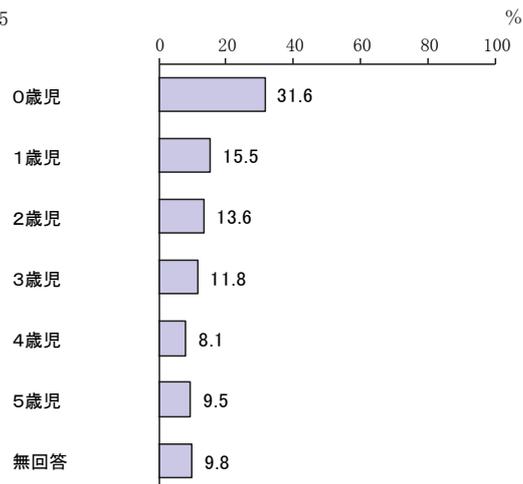
回答者数 = 1,599



イ. 末子の年齢

「0歳児」の割合が31.6%と最も高く、次いで「1歳児」の割合が15.5%、「2歳児」の割合が13.6%となっています。

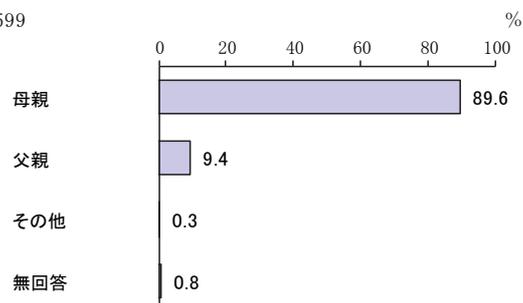
回答者数 = 955



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が89.6%、「父親」の割合が9.4%となっています。

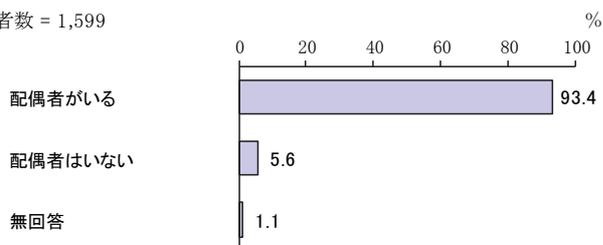
回答者数 = 1,599



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が93.4%、「配偶者がいない」の割合が5.6%となっています。

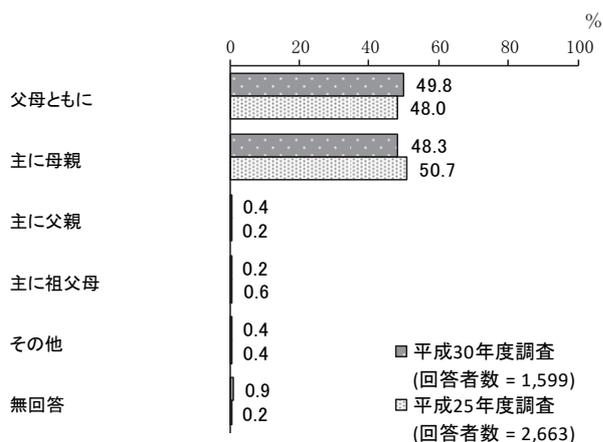
回答者数 = 1,599



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が49.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が48.3%となっています。

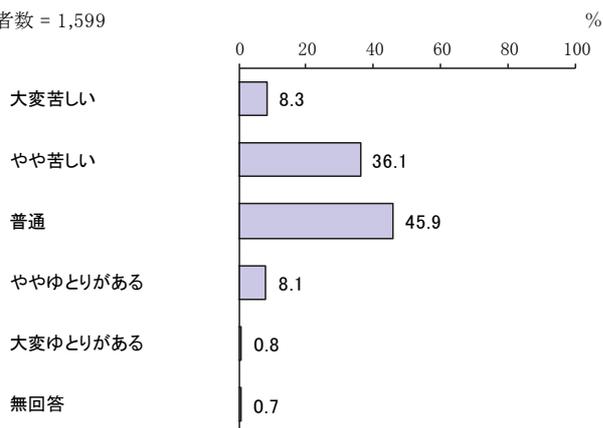
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「普通」の割合が45.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が36.1%となっています。

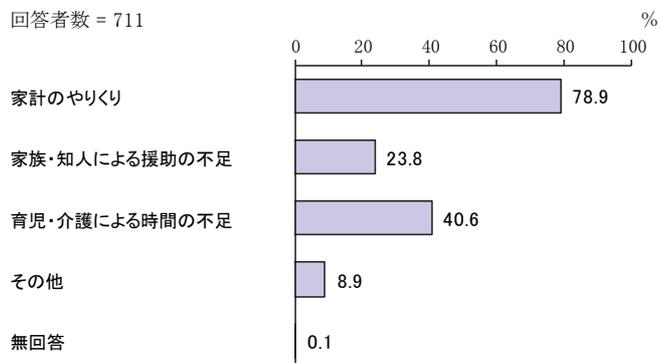
回答者数 = 1,599



問8 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家計のやりくり」の割合が78.9%と最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」の割合が40.6%、「家族・知人による援助の不足」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 711

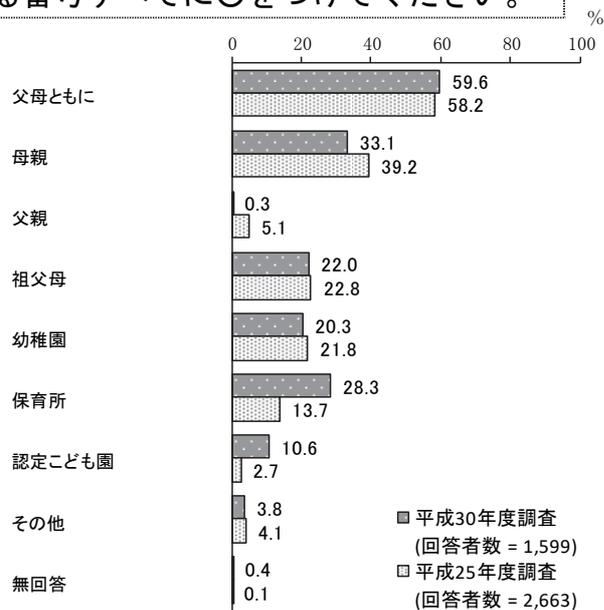


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が59.6%と最も高く、次いで「母親」の割合が33.1%、「保育所」の割合が28.3%となっています。

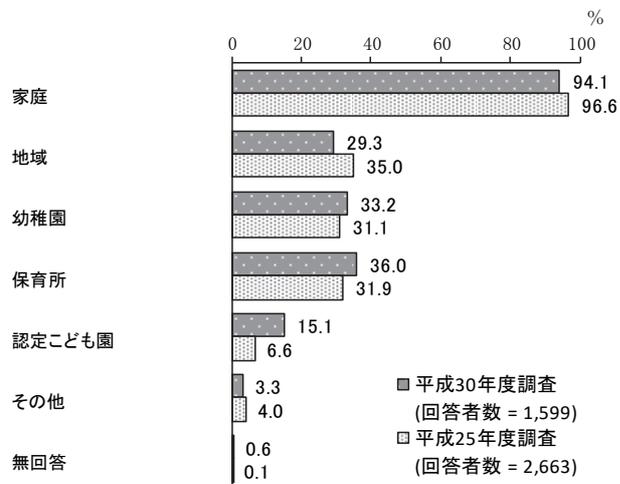
平成25年度調査と比較すると、「保育所」、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が6.1ポイント減少しています。



問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が94.1%と最も高く、次いで「保育所」の割合が36.0%、「幼稚園」の割合が33.2%となっています。

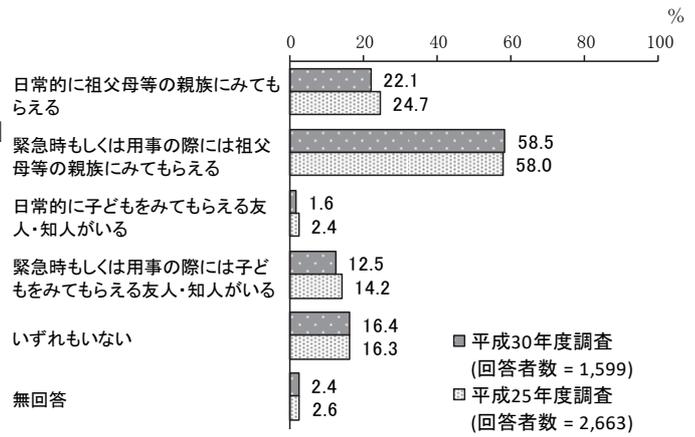
平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」、「保育所」の割合が増加しています。一方、「地域」の割合が減少しています。



問 11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

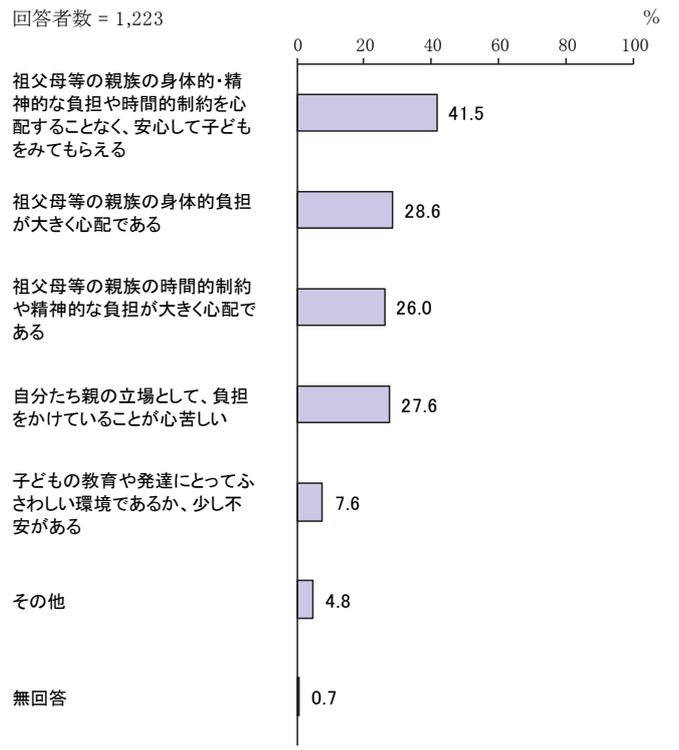
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 22.1%、「いずれもない」の割合が 16.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 11-1 問 11 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 28.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 27.6%となっています。

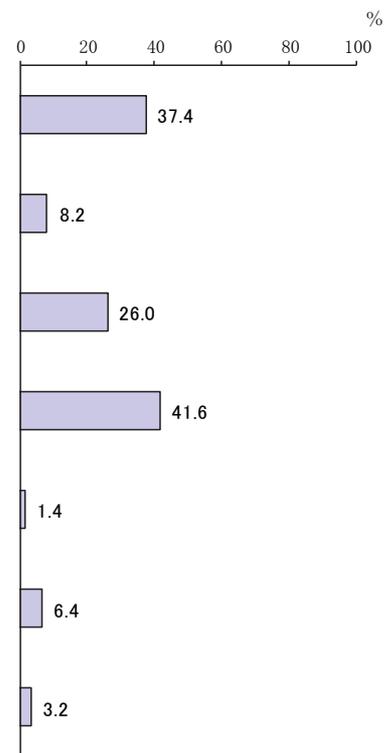


問 11-2 問 11 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 37.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 26.0%となっています。

回答者数 = 219

- 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答

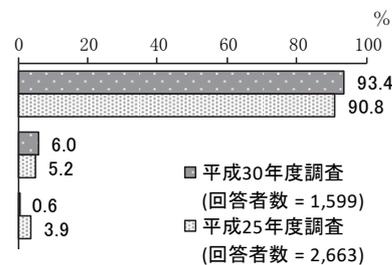


問 12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 93.4%、「いない／ない」の割合が 6.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

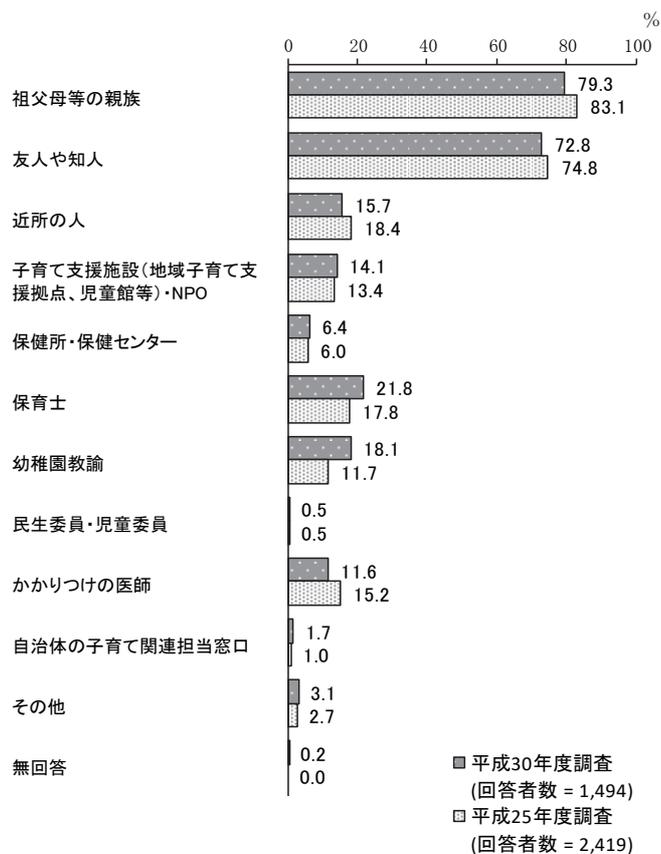
- いる／ある
- いない／ない
- 無回答



問12-1 問12で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

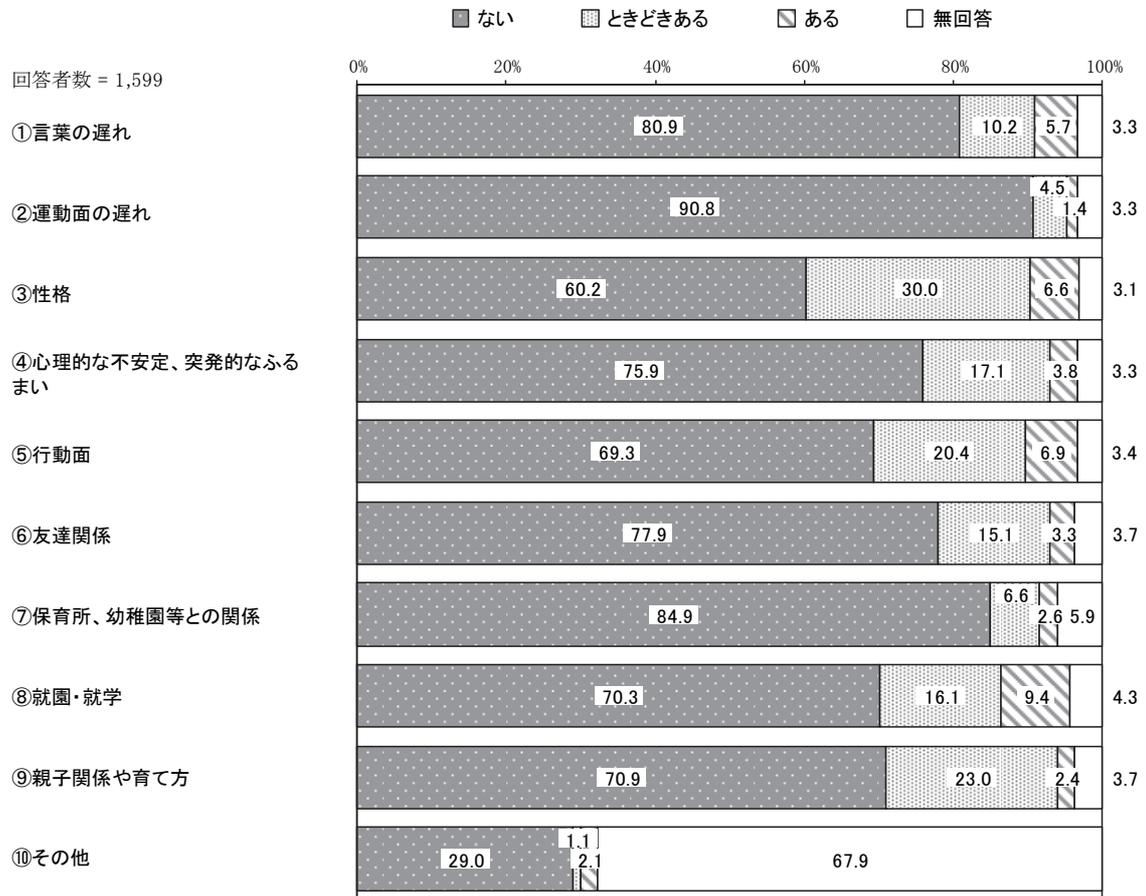
「祖父母等の親族」の割合が79.3%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が72.8%、「保育士」の割合が21.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」、「かかりつけの医師」の割合が減少しています。一方、「保育士」、「幼稚園教諭」の割合が増加しています。



問 13 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

心配なことが「ある」と「ときどきある」と回答した割合は、『③性格』『⑤行動面』で高くなっています。



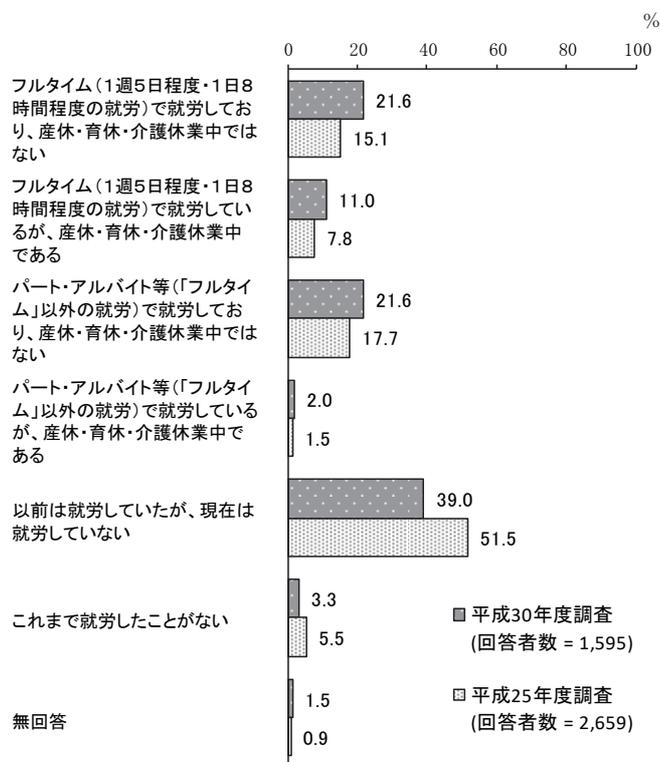
(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 21.6%となっています。

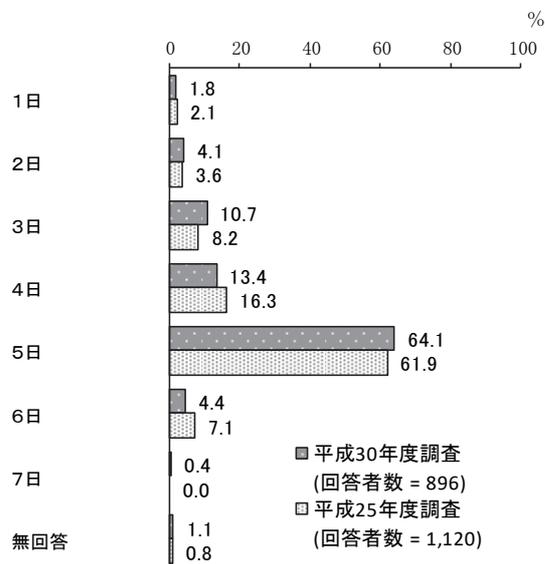
平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が大幅に減少しています。



ア. 1週当たりの就労日数

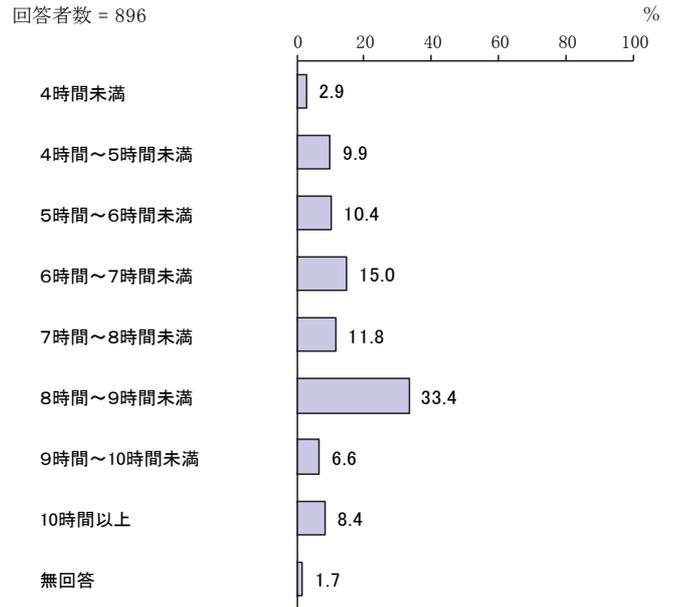
「5日」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が 13.4%、「3日」の割合が 10.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 1日当たりの就労時間

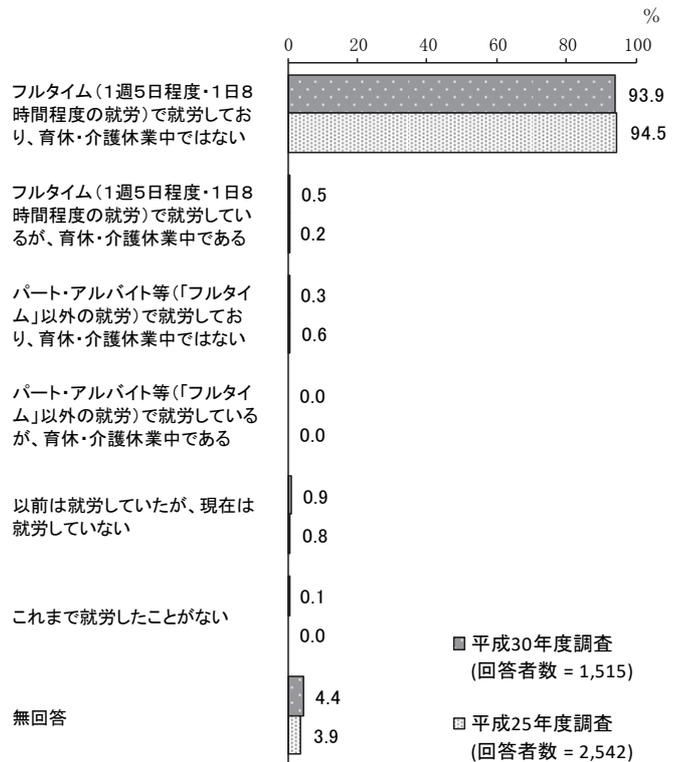
「8時間～9時間未満」の割合が33.4%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が15.0%、「7時間～8時間未満」の割合が11.8%となっています。



(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が93.9%と最も高くなっています。

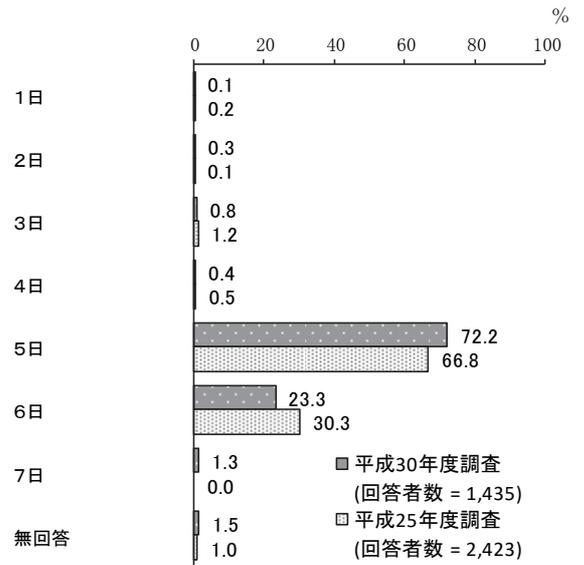
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が72.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が23.3%となっています。

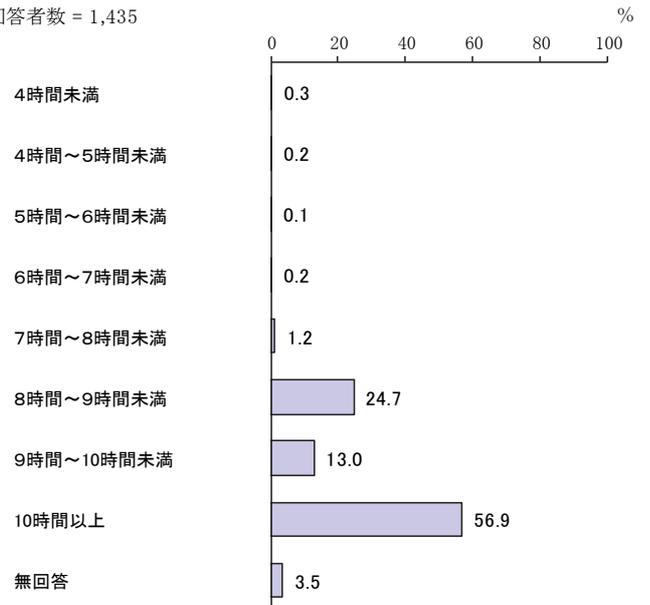
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が5.4ポイント増加しています。一方、「6日」の割合が7.0ポイント減少しています。



イ. 1日当たりの就労時間

「10時間以上」の割合が56.9%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が24.7%、「9時間～10時間未満」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 1,435

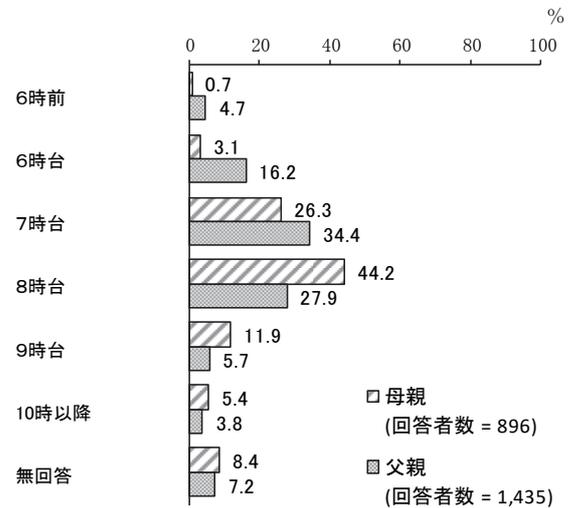


(1) - 2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

ア. 家を出る時刻

母親では、「8時台」の割合が44.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が26.3%、「9時台」の割合が11.9%となっています。

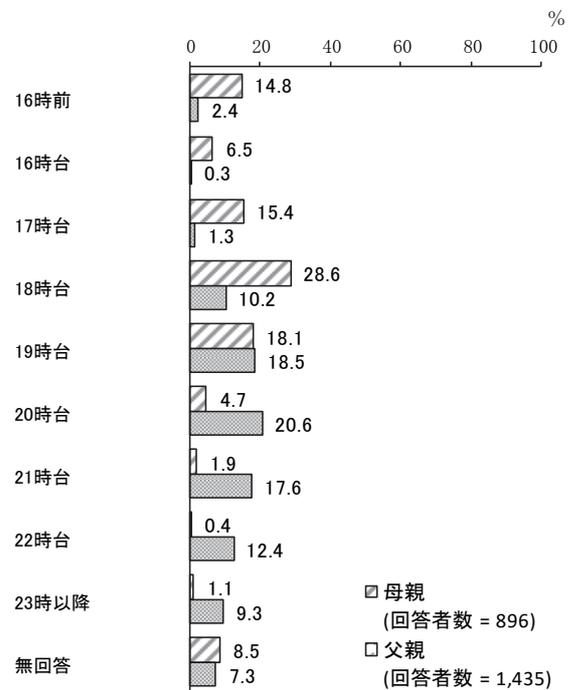
父親では、「7時台」の割合が34.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が27.9%、「6時台」の割合が16.2%となっています。



イ. 帰宅時刻

母親では、「18時台」の割合が28.6%と最も高く、次いで「19時台」の割合が18.1%、「17時台」の割合が15.4%となっています。

父親では、「20時台」の割合が20.6%と最も高く、次いで「19時台」の割合が18.5%、「21時台」の割合が17.6%となっています。

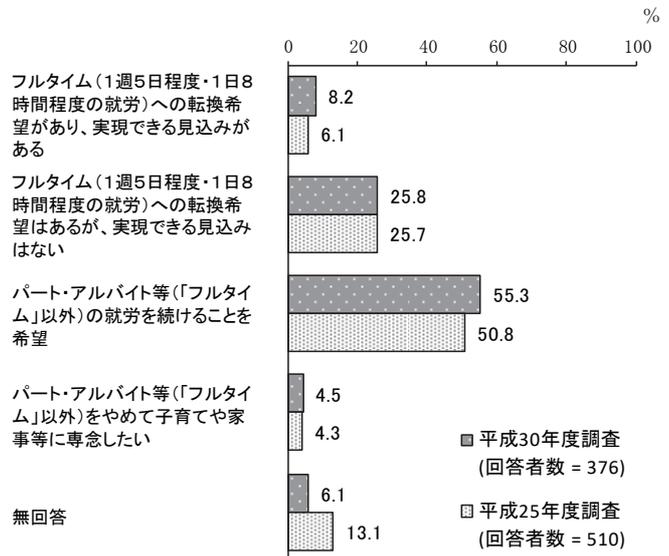


問15 問14の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が55.3%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が増えています。



(2) 父親

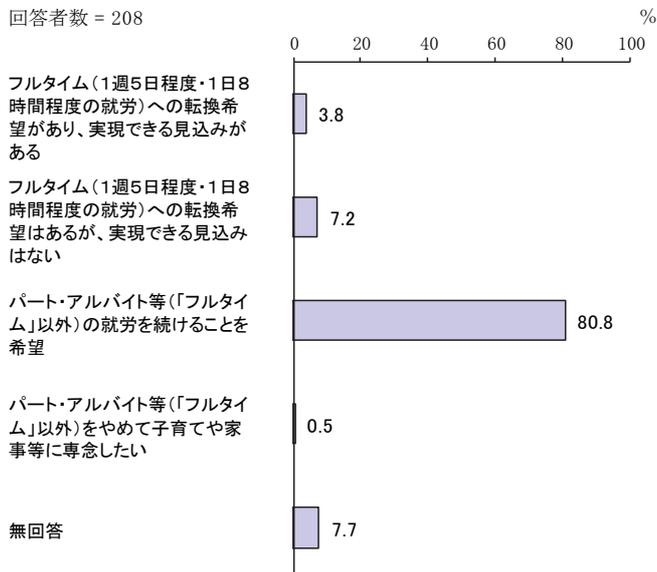
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が4件となっています。「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。

問15-1 問15の(1)または(2)で「3.パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」または「4.パート・アルバイト等やめて子育てや家事に専念したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が80.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 208



(2) 父親

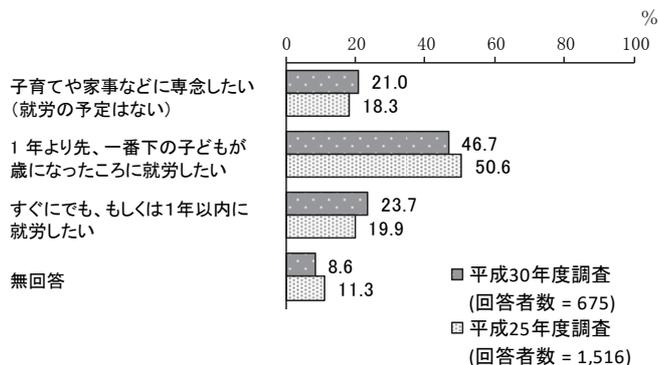
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が2件となっています。

問16 問14の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

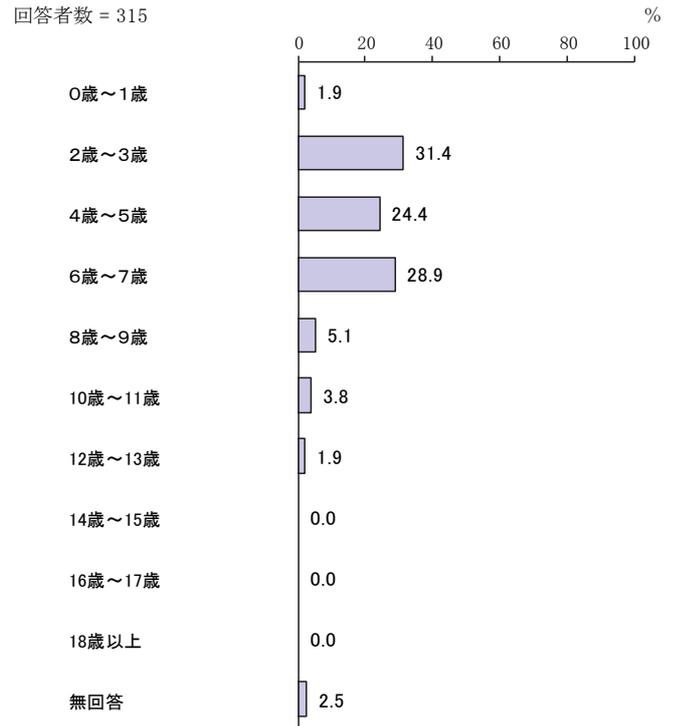
「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」の割合が46.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が23.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が21.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」の割合が減少し、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。



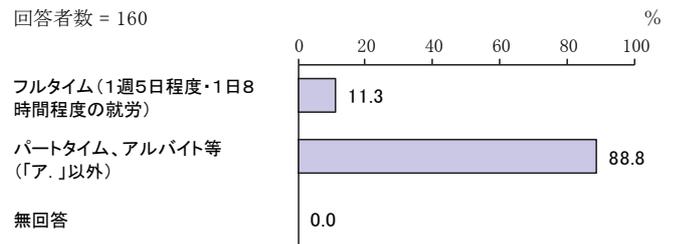
ア. 就労希望するときの末子の年齢

「2歳～3歳」の割合が31.4%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が28.9%、「4歳～5歳」の割合が24.4%となっています。



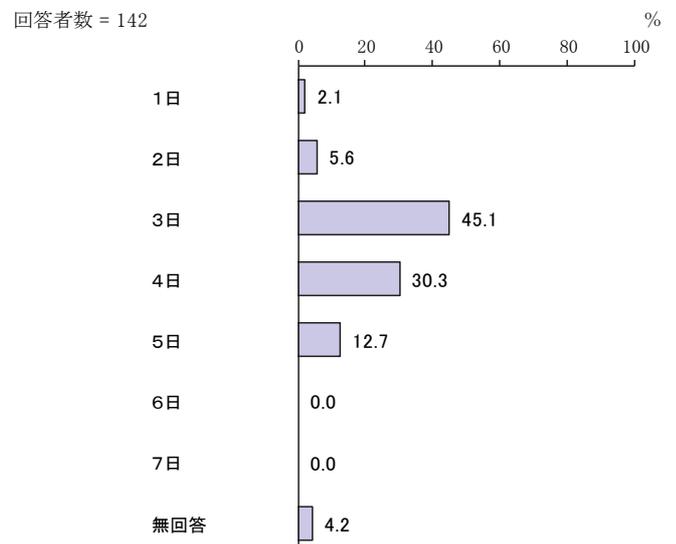
イ. 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が11.3%、「パートタイム、アルバイト等（「ア。」以外）」の割合が88.8%となっています。



①パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数

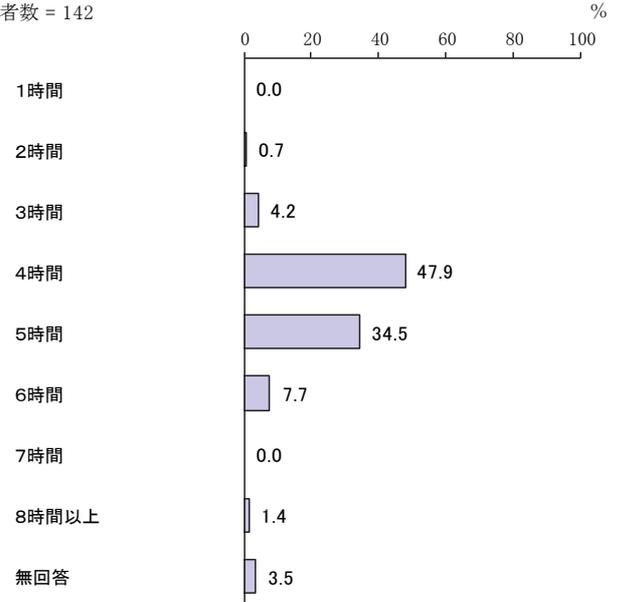
「3日」の割合が45.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が30.3%、「5日」の割合が12.7%となっています。



②パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望
就労時間

「4時間」の割合が47.9%と最も高く、次いで「5時間」の割合が34.5%となっています。

回答者数 = 142



(2) 父親

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が21.4%と最も高くなっています。

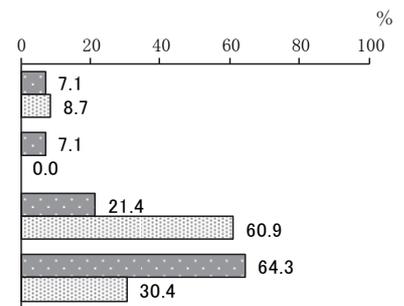
平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。一方、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が39.5ポイント減少しています。

子育てや家事などに専念したい
(就労の予定はない)

1年より先、一番下の子どもが
〇歳になったところに就労したい

すぐにも、もしくは1年以内に
就労したい

無回答



■ 平成30年度調査
(回答者数 = 14)
□ 平成25年度調査
(回答者数 = 23)

ア. 就労希望するときの末子の年齢

「2歳～3歳」が1件となっています。

イ. 希望する就労形態

「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が3件となっています。

①パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

②パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間

有効回答がありませんでした。

問 16-1 問 16 の (1) または (2) で「1. 子育てや家事などに専念したい」または「2. 1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17 へお進みください。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

「1 年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」の割合が 54.5% と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 27.4% となっています。

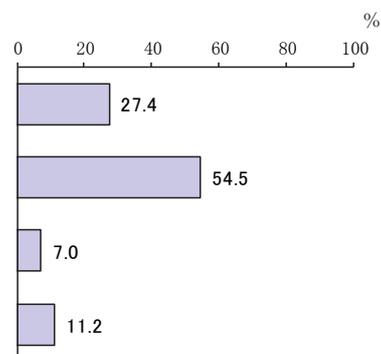
回答者数 = 457

子育てや家事などに専念したい
(就労の予定はない)

1 年より先、一番下の子どもが
歳になったところに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に
就労したい

無回答



ア. 就労希望するときの末子の年齢

「2 歳～3 歳」の割合が 31.7% と最も高く、次いで「4 歳～5 歳」の割合が 27.7%、「6 歳～7 歳」の割合が 26.1% となっています。

回答者数 = 249

0歳～1歳

2歳～3歳

4歳～5歳

6歳～7歳

8歳～9歳

10歳～11歳

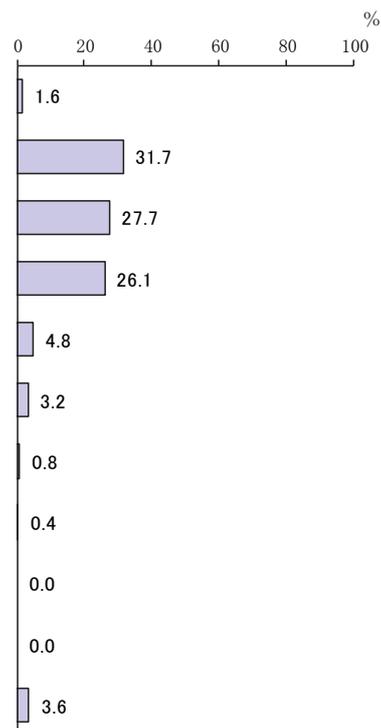
12歳～13歳

14歳～15歳

16歳～17歳

18歳以上

無回答



イ. 希望する就労形態

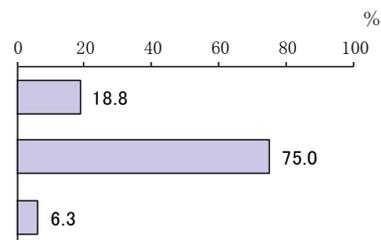
「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）」の割合が 18.8%、「パートタイム、アルバイト等（「ア。」以外）」の割合が 75.0% となっています。

回答者数 = 32

フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)

パートタイム、アルバイト等
(「ア。」以外)

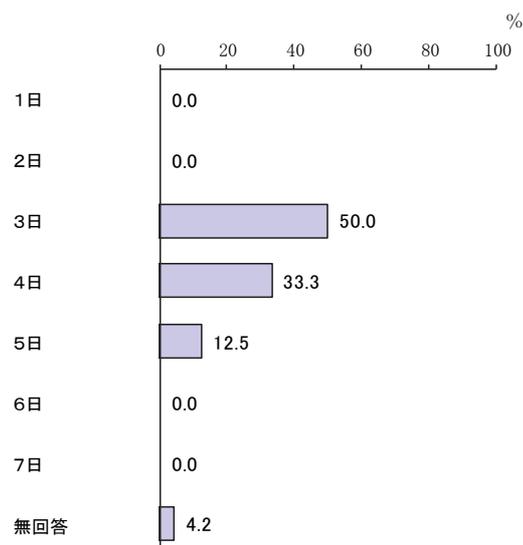
無回答



①パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望
就労日数

回答者数 = 24

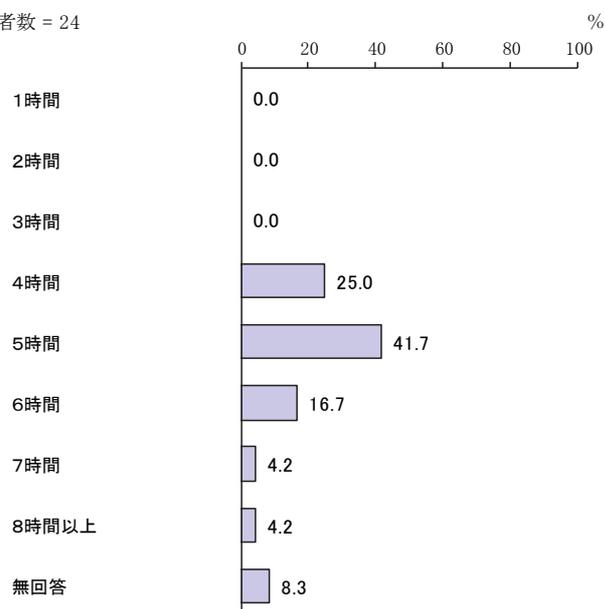
「3日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が33.3%、「5日」の割合が12.5%となっています。



②パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望
就労時間

回答者数 = 24

「5時間」の割合が41.7%と最も高く、次いで「4時間」の割合が25.0%、「6時間」の割合が16.7%となっています。



(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

ア. 就労希望するときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

イ. 希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

①パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

②パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間

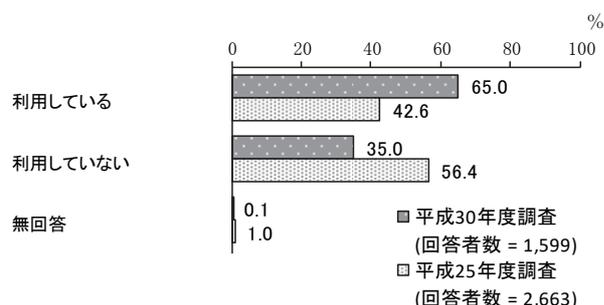
有効回答がありませんでした。

(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が65.0%、「利用していない」の割合が35.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が22.4ポイント増加しています。一方、「利用していない」の割合が21.4ポイント減少しています。

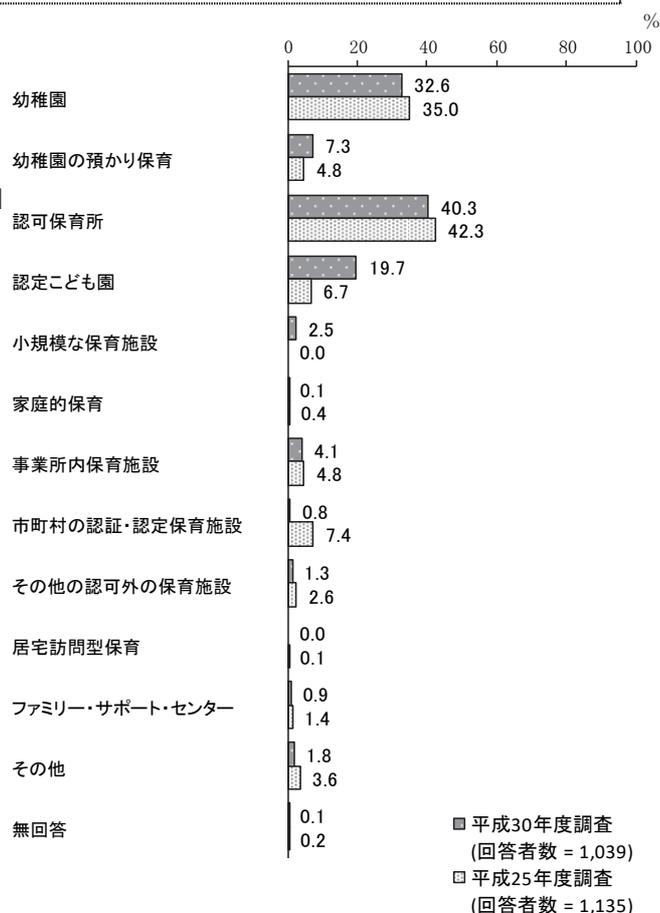


問17-1 問17-1～問17-4は、問17で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が40.3%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が32.6%、「認定こども園」の割合が19.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が13.0ポイント増加しています。一方、「市町村の認証・認定保育施設」の割合が6.6ポイント減少しています。

なお、前回調査は、「小規模な保育施設」の項目はありません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、『0歳児』～『2歳児』で「認可保育所」の割合が、『3歳児』～『5歳児』で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

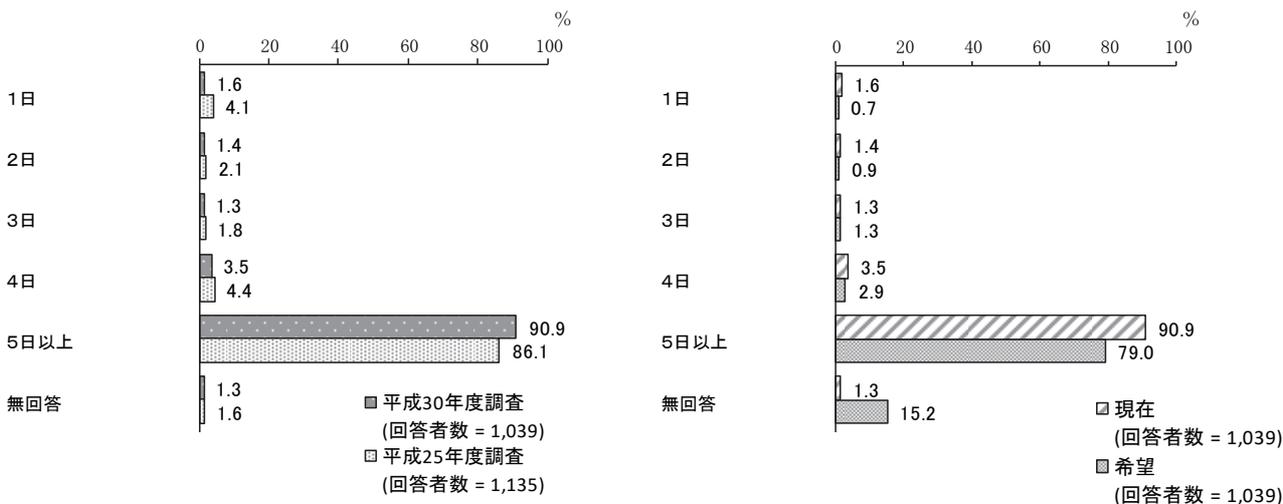
区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	市町村の認証・ 認定保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
0歳児	44	—	—	72.7	4.5	6.8	—	13.6	2.3	—	—	—	—	—
1歳児	101	1.0	—	63.4	1.0	9.9	—	14.9	2.0	5.0	—	1.0	3.0	—
2歳児	149	9.4	2.0	60.4	12.8	7.4	—	8.1	0.7	2.0	—	2.0	4.7	—
3歳児	238	41.2	7.1	33.2	22.7	0.8	0.4	2.1	0.4	1.7	—	0.4	1.3	—
4歳児	227	43.6	9.3	30.8	26.4	—	—	1.3	0.4	—	—	—	1.8	—
5歳児	264	46.6	12.9	28.8	25.0	—	—	0.8	0.4	0.4	—	1.5	0.8	0.4

問 17-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(ア) 1週当たり利用日数

現在では、「5日以上」の割合が90.9%と最も高くなっています。

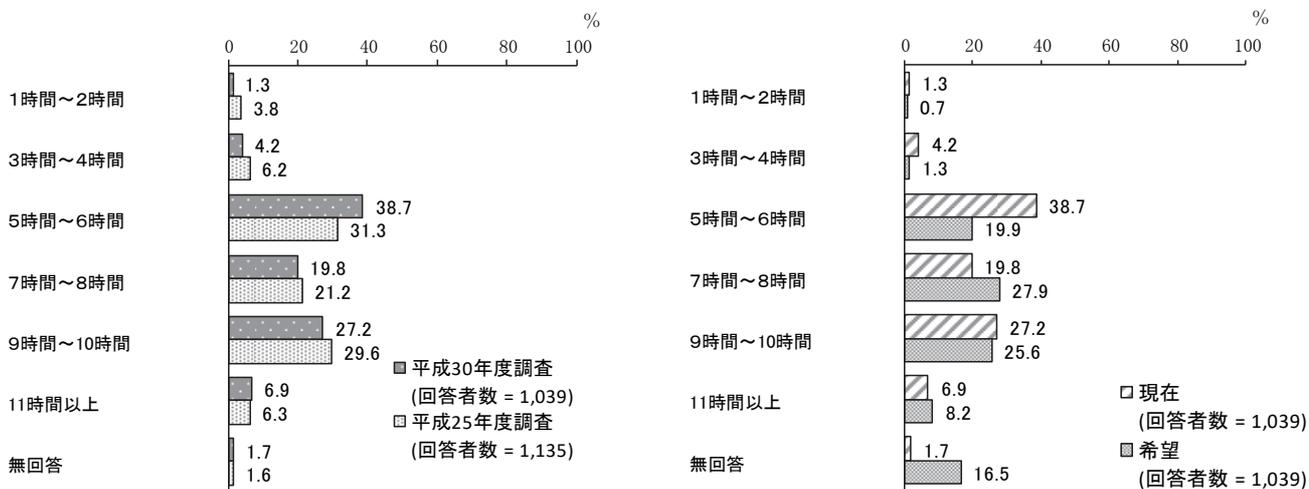
平成25年度調査と比較すると、「5日以上」の割合が増加しています。



(イ) 1日当たり利用時間

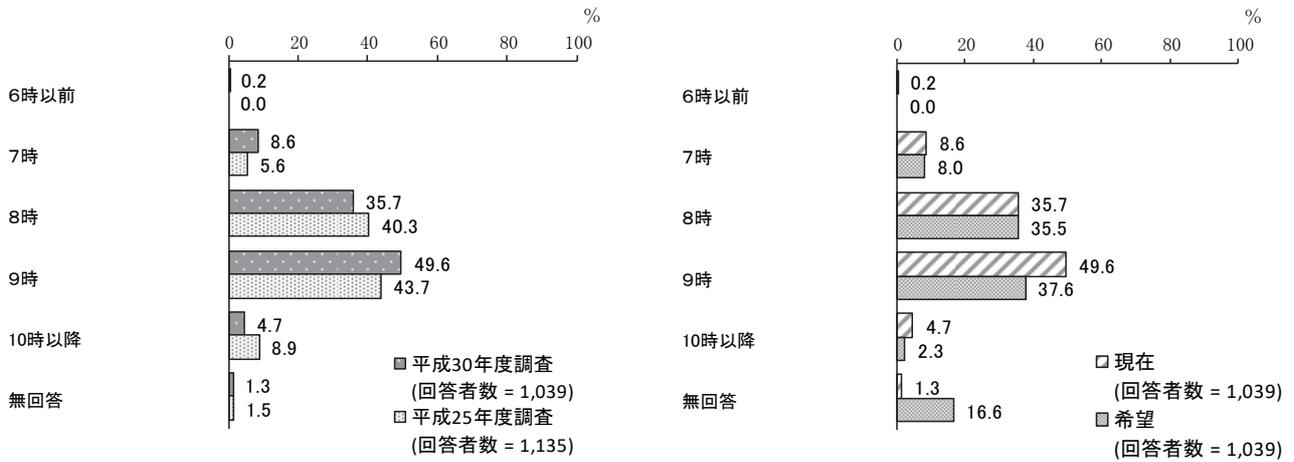
「5時間～6時間未満」の割合が38.7%と最も高く、次いで「9時間～10時間」の割合が27.2%、「7時間～8時間未満」の割合が19.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5時間～6時間」の割合が7.4ポイント増加しています。



①利用開始時刻

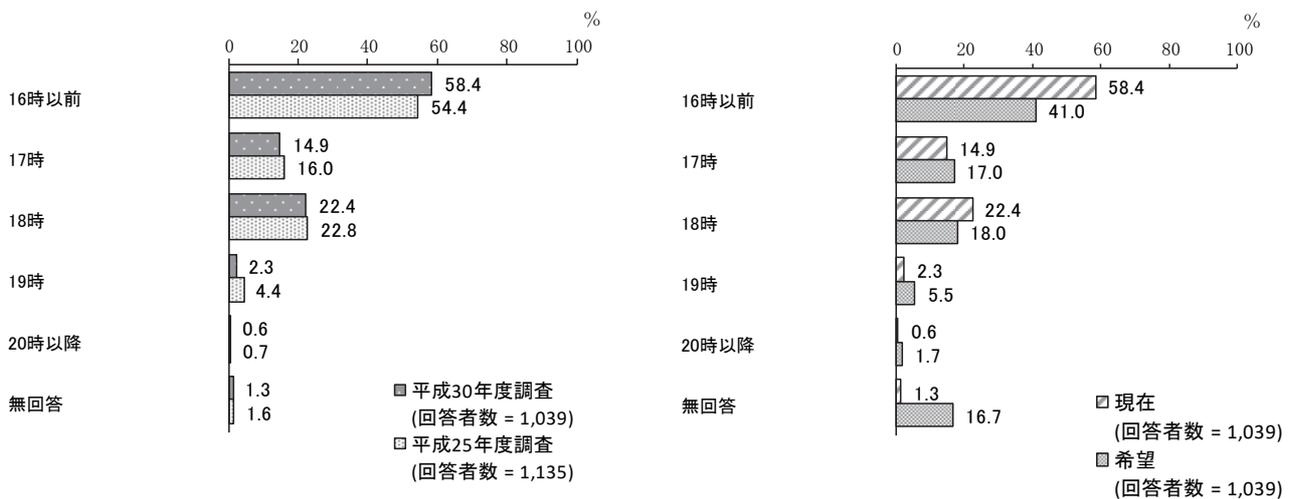
「9時」の割合が49.6%と最も高く、次いで「8時」の割合が35.7%となっています。
平成25年度調査と比較すると、「9時」の割合が5.9ポイント増加しています。



②利用終了時刻

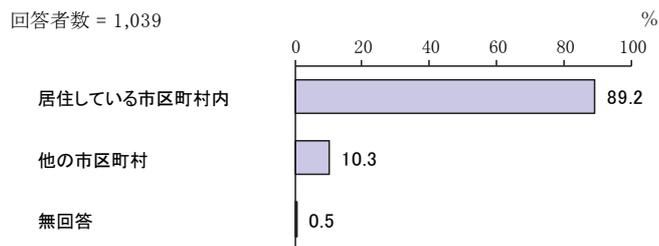
「16時以前」の割合が58.4%と最も高く、次いで「18時」の割合が22.4%、「17時台」の割合が14.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「16時以前」の割合が増加しています。



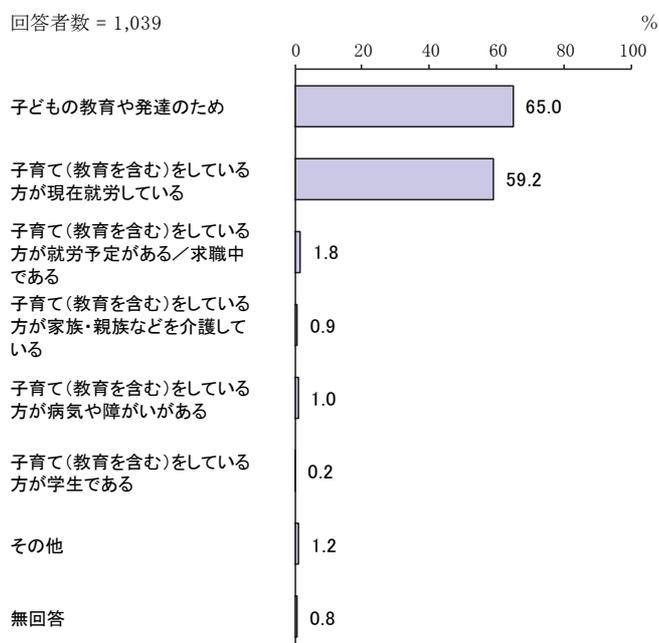
問 17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「居住している市区町村内」の割合が 89.2%、「他の市区町村」の割合が 10.3%となっています。



問 17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

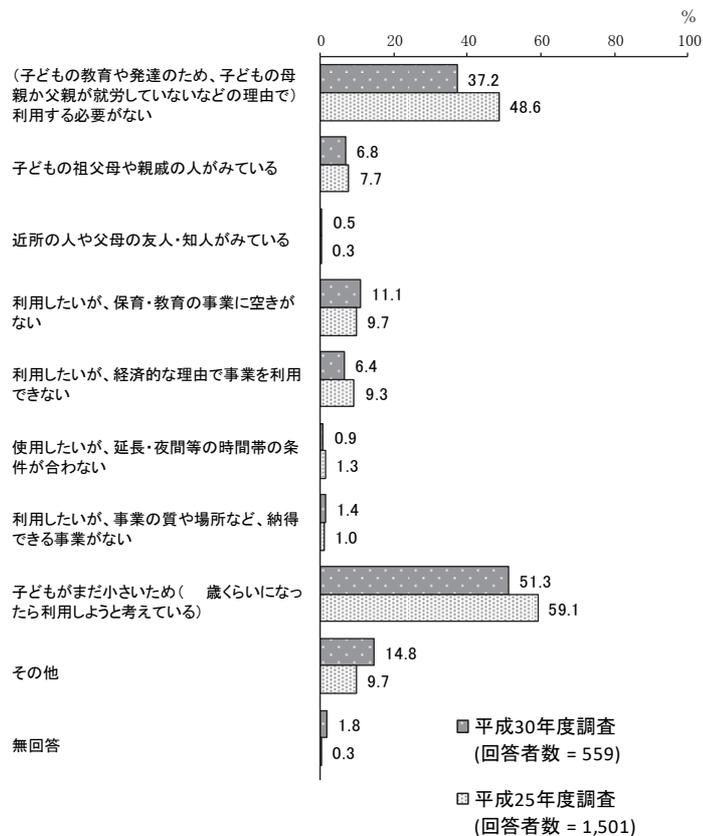
「子どもの教育や発達のため」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 59.2%となっています。



問 17-5 問 17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 51.3% と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 37.2%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 11.1% となっています。

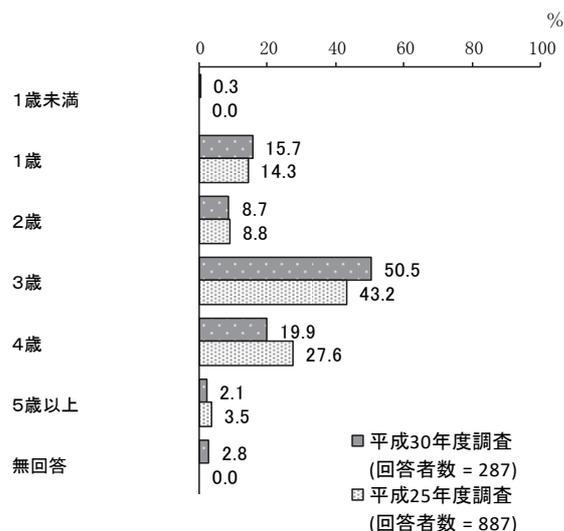
平成 25 年度調査と比較すると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」、「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が減少しています。



利用したい年齢

「3歳」の割合が 50.5% と最も高く、次いで「4歳」の割合が 19.9%、「1歳」の割合が 15.7% となっています。

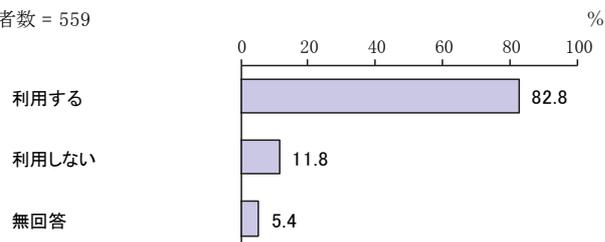
平成 25 年度調査と比較すると、「3歳」の割合が 7.3 ポイント増加しています。一方、「4歳」の割合が 7.7 ポイント減少しています。



問 17-6 問 17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、教育・保育の事業を利用しますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「利用する」の割合が 82.8%、「利用しない」の割合が 11.8%となっています。

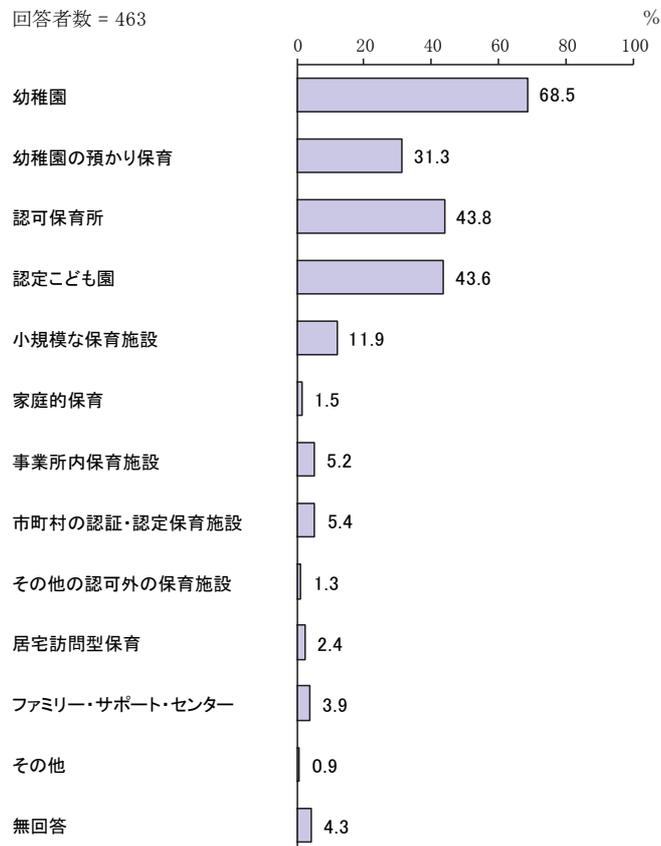
回答者数 = 559



問 17-7 問 17-6 で「1. 利用する」に○をつけた方にうかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、平日どのような教育・保育の事業を利用しますか。年間を通じて「定期的に」利用を希望する事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 43.8%、「認定こども園」の割合が 43.6%となっています。

回答者数 = 463



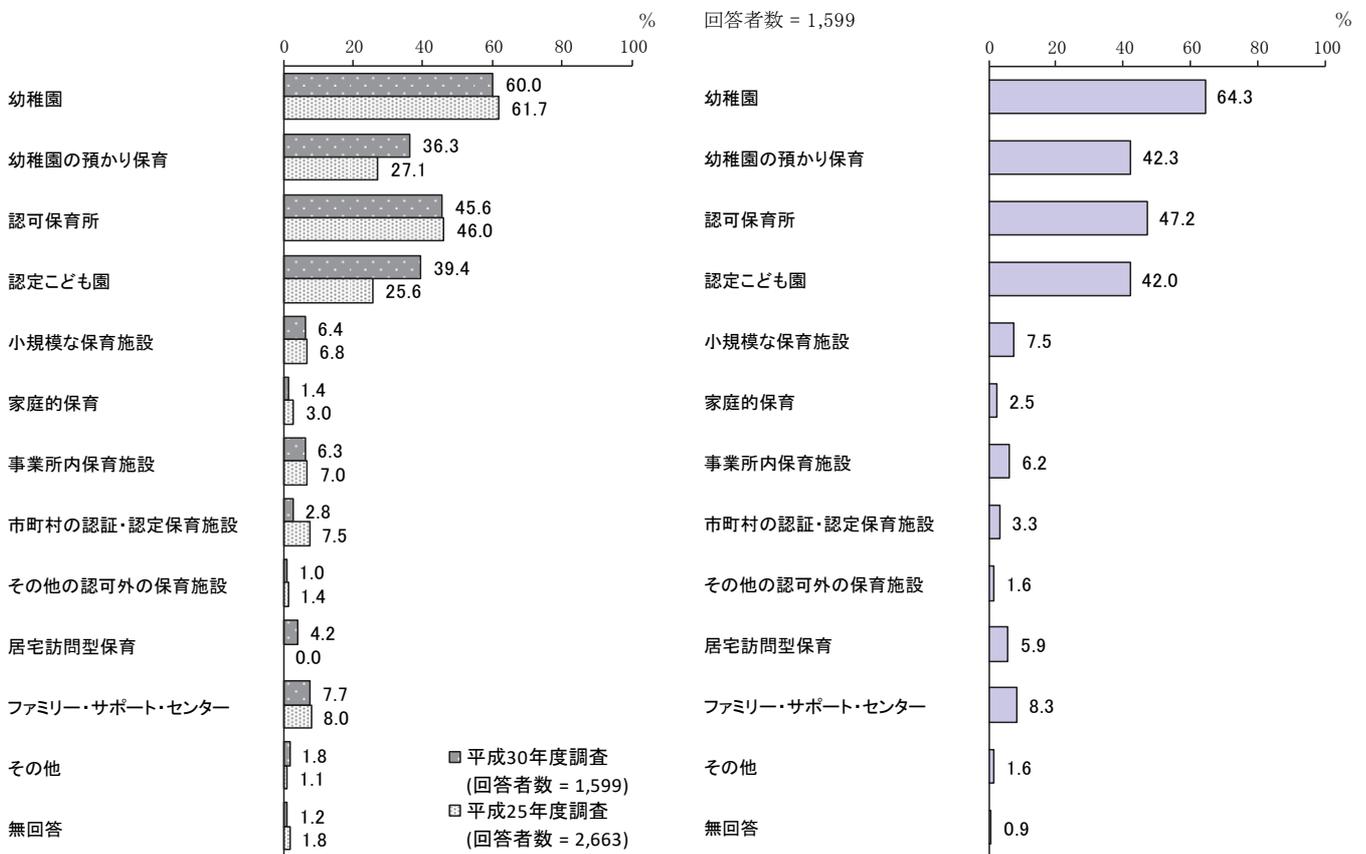
問 18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「幼稚園」の割合が60.0%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が45.6%、「認定こども園」の割合が39.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「市町村の認証・認定保育施設」の割合が減少しています。

また、幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合に利用したいと考える事業は、「幼稚園」の割合が64.3%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が47.2%、「幼稚園の預かり保育」の割合が42.3%となっています。

【幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合】



【年齢別】

年齢別でみると、『0歳児』で「認可保育所」の割合が、『1歳児』～『5歳児』で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	市町村の認証・ 認定保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
0歳児	284	56.0	33.1	63.7	38.7	13.7	1.1	9.2	5.3	1.1	2.1	7.0	2.5	2.1
1歳児	254	65.7	40.6	50.8	45.3	9.8	0.8	6.7	3.9	1.2	4.3	6.3	0.4	1.2
2歳児	273	61.2	30.4	49.1	37.7	5.9	2.6	7.3	3.7	2.6	4.4	10.3	3.3	0.4
3歳児	265	57.0	37.4	39.6	37.0	3.0	1.1	3.0	1.1	—	4.2	7.5	0.8	0.4
4歳児	230	58.3	39.1	36.5	42.6	1.7	—	5.7	0.4	0.4	6.5	6.1	2.2	0.9
5歳児	268	62.7	39.6	32.8	36.9	3.7	3.0	6.0	1.9	0.7	4.1	9.0	1.1	1.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、『以前は就労していたが、現在は就労していない』、『これまで就労したことがない』、『パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』で「幼稚園」の割合が高くなっています。また、『フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』、『フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である』、『パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である』で「認可保育所」の割合が高くなっています。

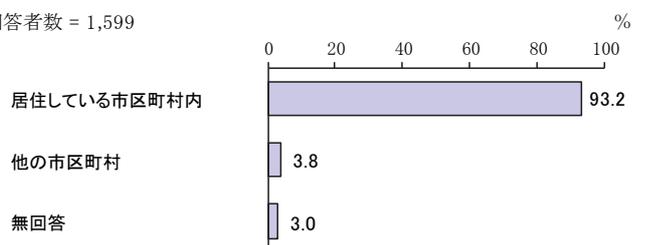
単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設・市町村の認証・	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	345	34.2	27.0	74.8	29.9	6.7	1.7	9.0	2.6	1.2	7.2	10.4	2.0	0.9
フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	175	42.9	36.6	82.9	48.6	11.4	0.6	10.3	5.1	1.7	2.9	11.4	1.7	1.7
パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	344	59.0	42.4	39.8	38.7	4.7	1.5	6.7	2.6	0.6	3.2	4.9	2.3	0.9
パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	32	50.0	28.1	65.6	46.9	9.4	3.1	9.4	3.1	—	3.1	6.3	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	622	79.3	39.2	24.0	43.9	5.9	1.4	3.9	2.3	0.8	3.7	7.2	1.6	0.8
これまで就労したことがない	53	73.6	24.5	9.4	28.3	3.8	—	—	—	1.9	—	1.9	—	5.7

問 18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「居住している市区町村内」の割合が 93.2%、
「他の市区町村」の割合が 3.8%となっています。

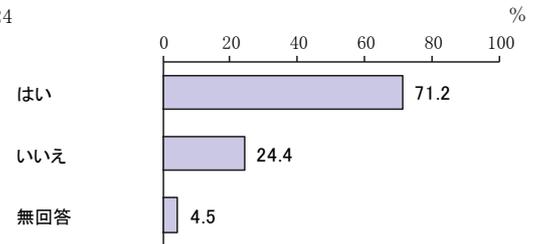
回答者数 = 1,599



問 18-2 問 18 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ~12.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「はい」の割合が 71.2%、「いいえ」の割合が 24.4%となっています。

回答者数 = 624

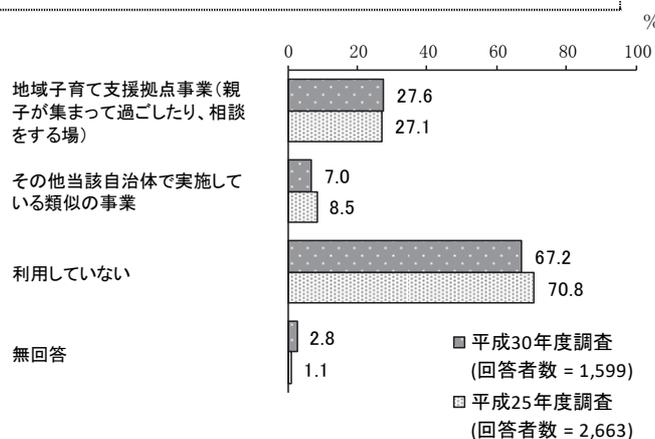


(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場（子育てサロン）」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「利用していない」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が 27.6%となっています。

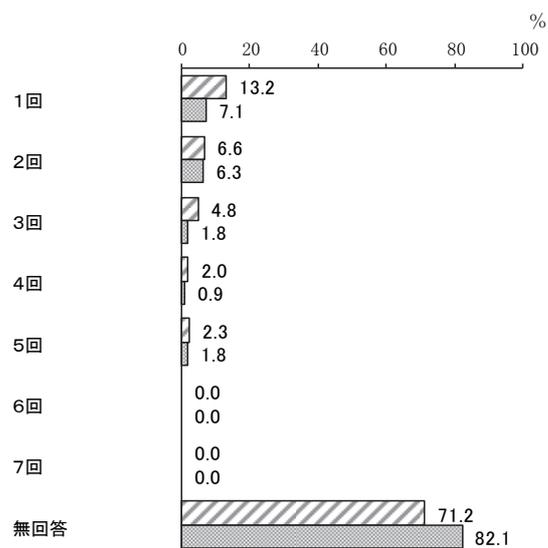
平成 25 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。



(ア) 1週あたりでの利用回数

地域子育て支援拠点事業の1週あたりでの利用回数は、「1回」の割合が 13.2%と最も高くなっています。

その他当該自治体で実施している類似の事業の1週あたりでの利用回数は、「1回」の割合が 7.1%と最も高くなっています。



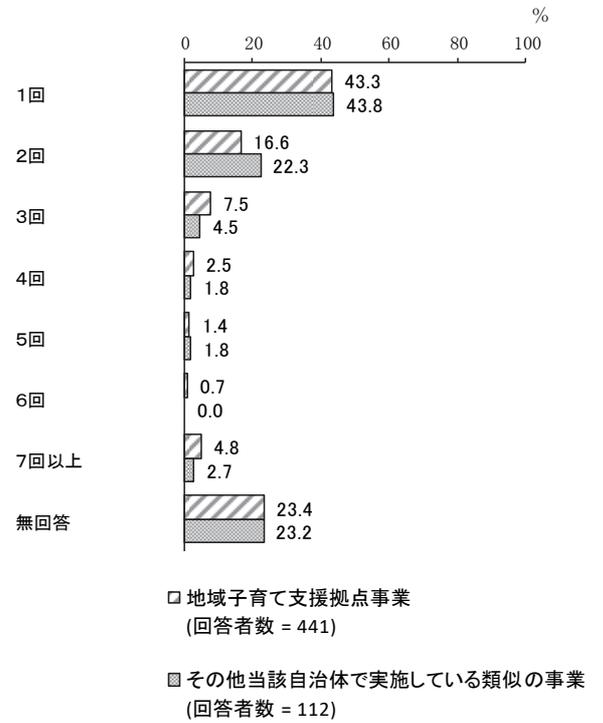
□ 地域子育て支援拠点事業
(回答者数 = 441)

■ その他当該自治体で実施している類似の事業
(回答者数 = 112)

(イ) 1か月あたりでの利用回数

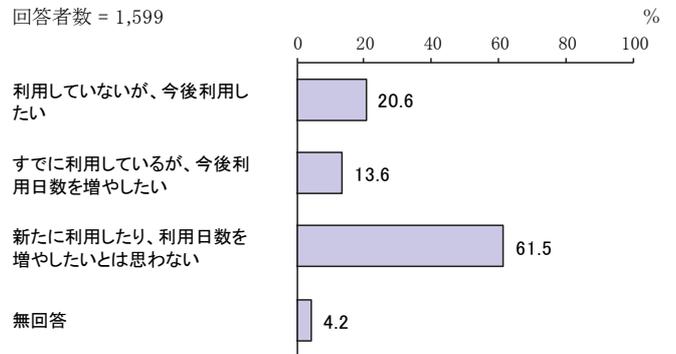
地域子育て支援拠点事業の1か月あたりでの利用回数は、「1回」の割合が43.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が16.6%となっています。

その他当該自治体で実施している類似の事業の1か月あたりでの利用回数は、「1回」の割合が43.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.3%となっています。



問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

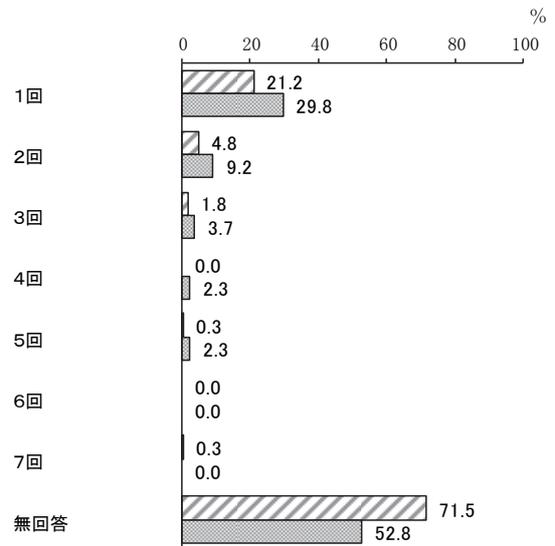
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が61.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が20.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が13.6%となっています。



(ア) 1週あたりでの利用回数

今は利用していないが、今後利用したい人の1週あたりでの利用回数は、「1回」の割合が21.2%と最も高くなっています。

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の1週あたりでの利用回数は、「1回」の割合が29.8%と最も高くなっています。

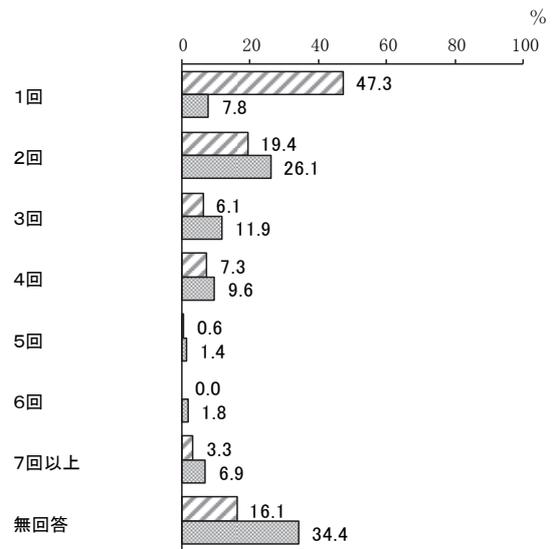


□ 利用していないが、今後利用したい (回答者数 = 330)
 ■ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい (回答者数 = 218)

(イ) 1か月あたりでの利用回数

今は利用していないが、今後利用したい人の1か月あたりでの利用回数は、「1回」の割合が47.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.4%となっています。

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の1か月あたりでの利用回数は、「2回」の割合が26.1%と最も高く、次いで「3回」の割合が11.9%となっています。



□ 利用していないが、今後利用したい (回答者数 = 330)
 ■ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい (回答者数 = 218)

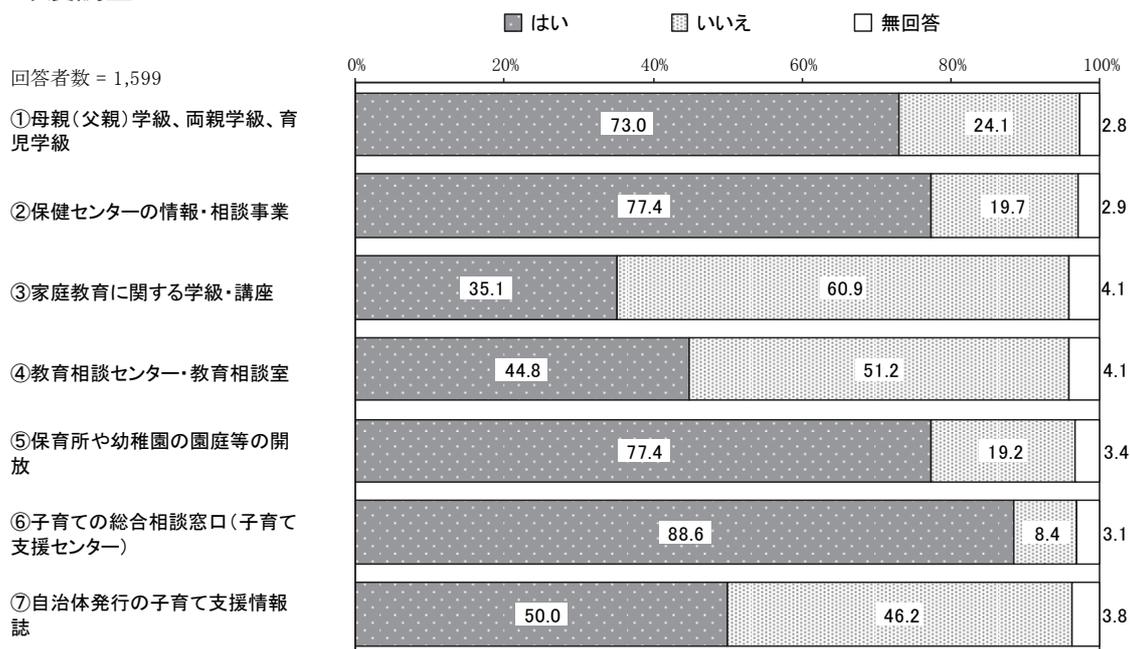
問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A. 知っている

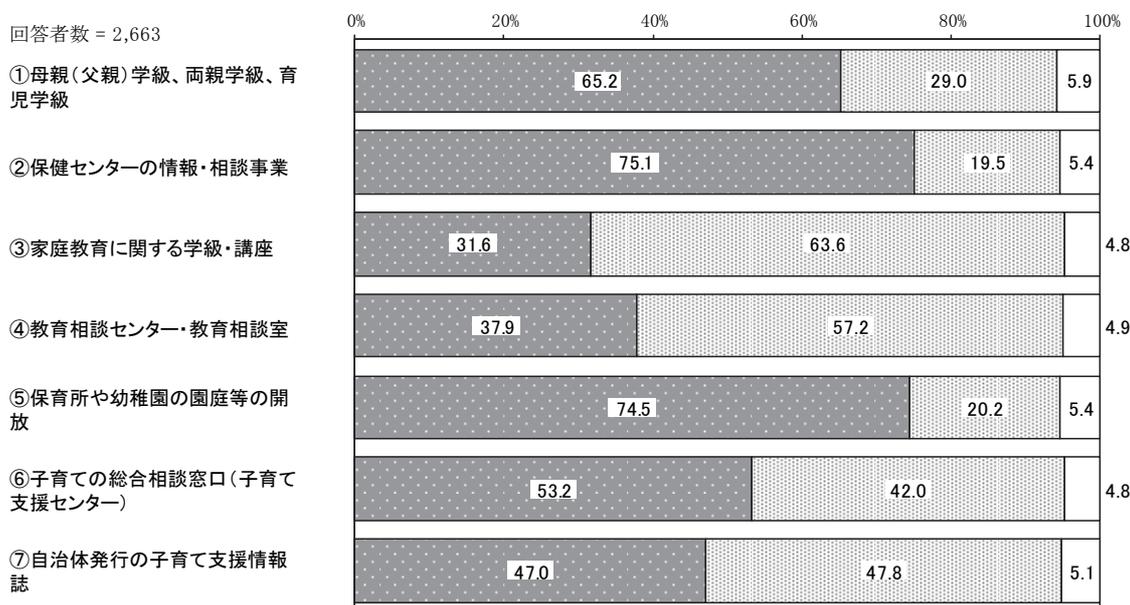
『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』で「はい」の割合が、『③家庭教育に関する学級・講座』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、全事業で「はい」の割合が増加していますが、特に『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』の割合が 35.4 ポイント増加しています。

平成 30 年度調査



平成 25 年度調査

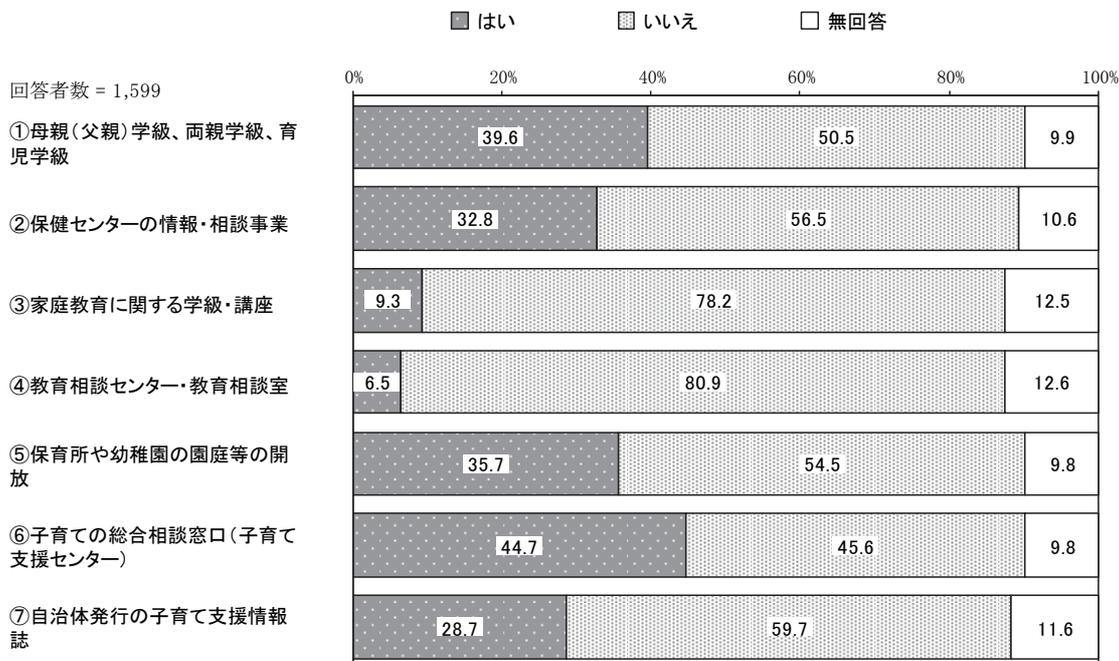


B. これまでに利用したことがある

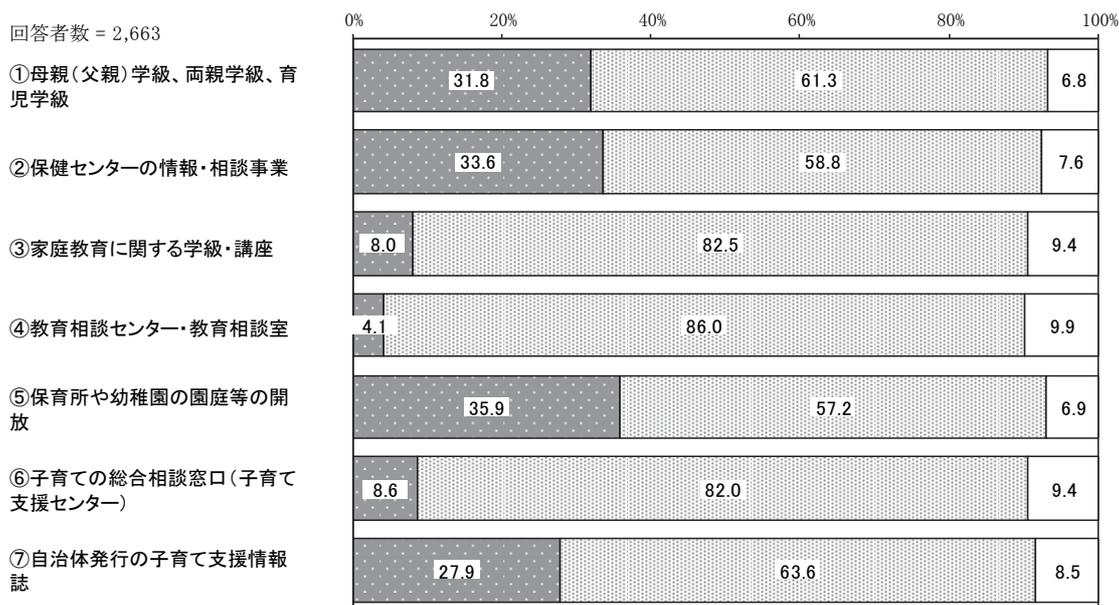
『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』で「はい」の割合が、『④教育相談センター・教育相談室』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』で「はい」の割合が増加しています。

平成 30 年度調査



平成 25 年度調査

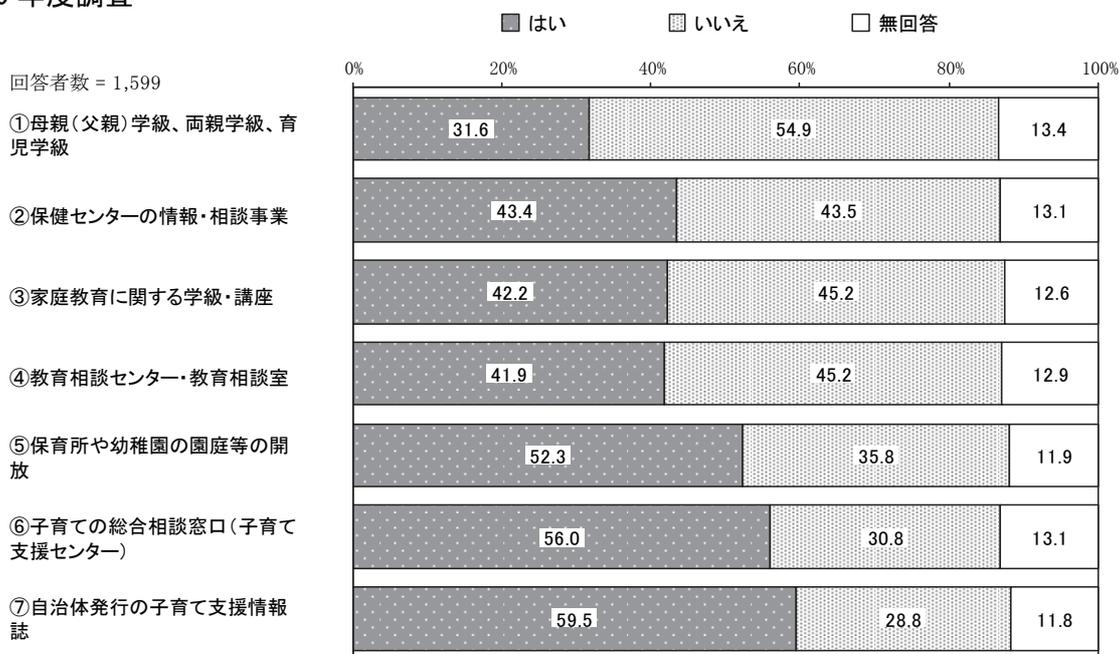


C. 今後利用したい

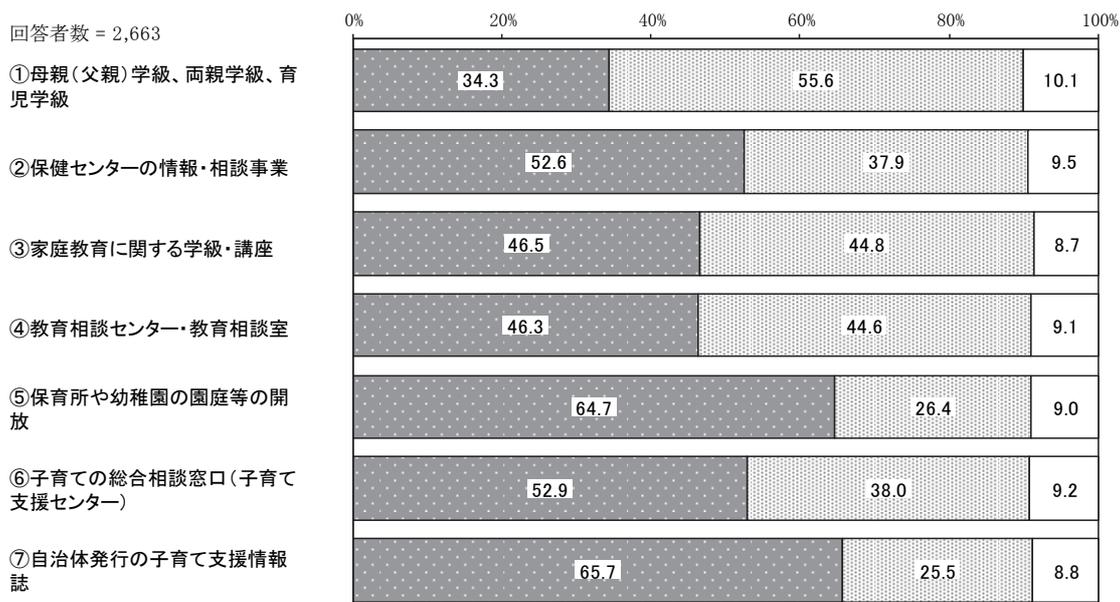
『⑦自治体発行の子育て支援情報誌』で「はい」の割合が、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』で「はい」の割合が増加しています。

平成 30 年度調査



平成 25 年度調査

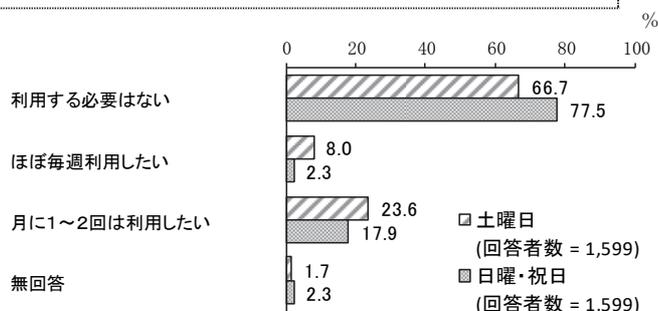


(7) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が23.6%となっています。

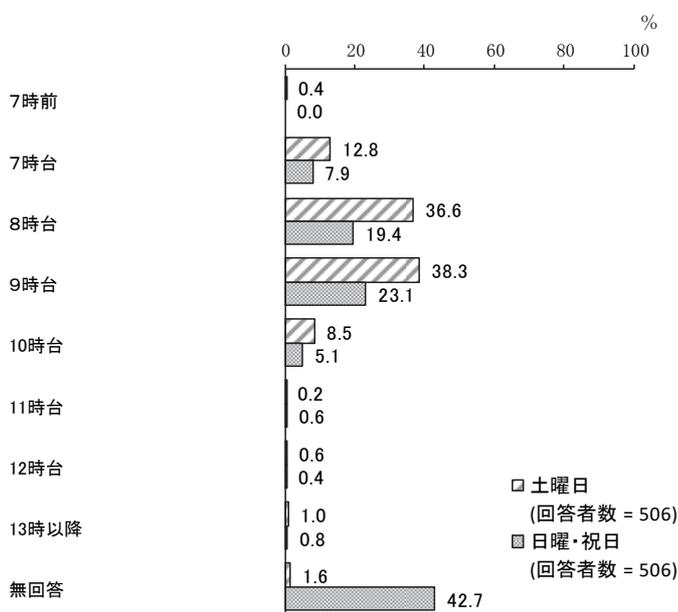
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が77.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が17.9%となっています。



ア. 利用開始時刻

土曜日では、「9時台」の割合が38.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が36.6%、「7時台」の割合が12.8%となっています。

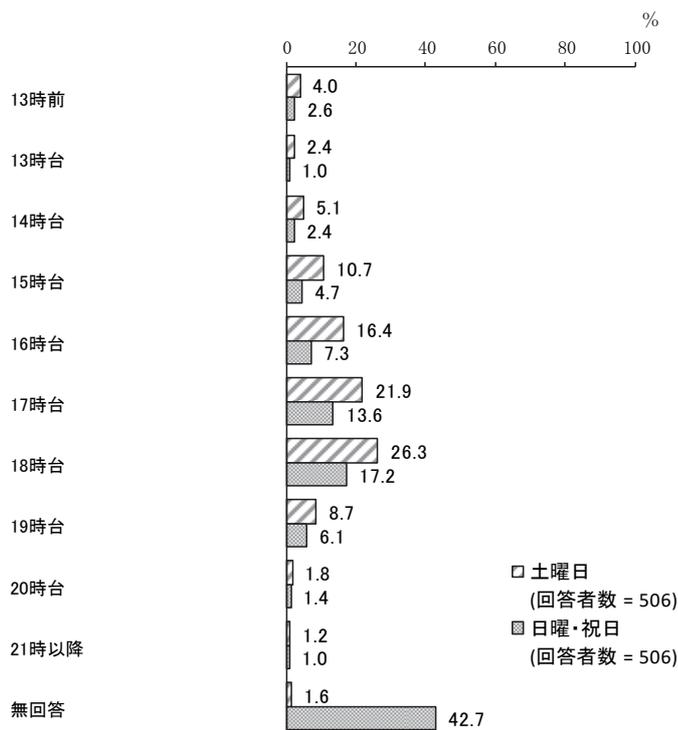
日曜・祝日では、「9時台」の割合が23.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が19.4%となっています。



イ. 利用終了時刻

土曜日では、「18時台」の割合が26.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.9%、「16時台」の割合が16.4%となっています。

日曜・祝日では、「18時台」の割合が17.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が13.6%となっています。

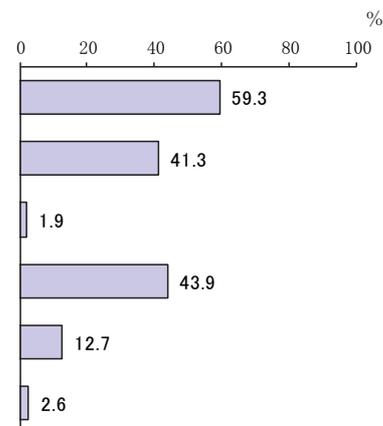


問 22-1 問 22 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1~2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「リフレッシュ」の割合が 43.9%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 41.3%となっています。

回答者数 = 378

月に数回仕事が入るため
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
親等親族の介護や手伝いが必要なため
リフレッシュ
その他
無回答

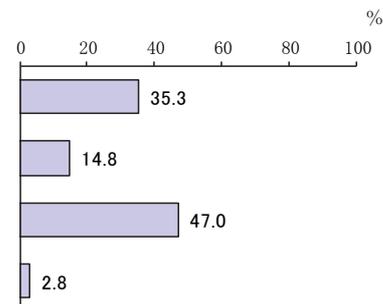


問 23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時~18 時のように 24 時間制でご記入ください (数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 35.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 351

利用する必要はない
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
休みの期間中、週に数日利用したい
無回答

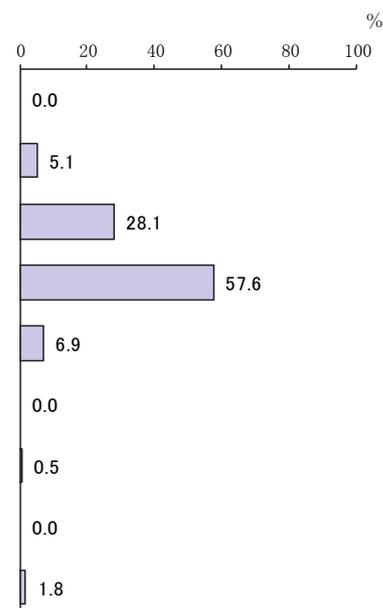


ア. 利用開始時刻

「9 時台」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 28.1%となっています。

回答者数 = 217

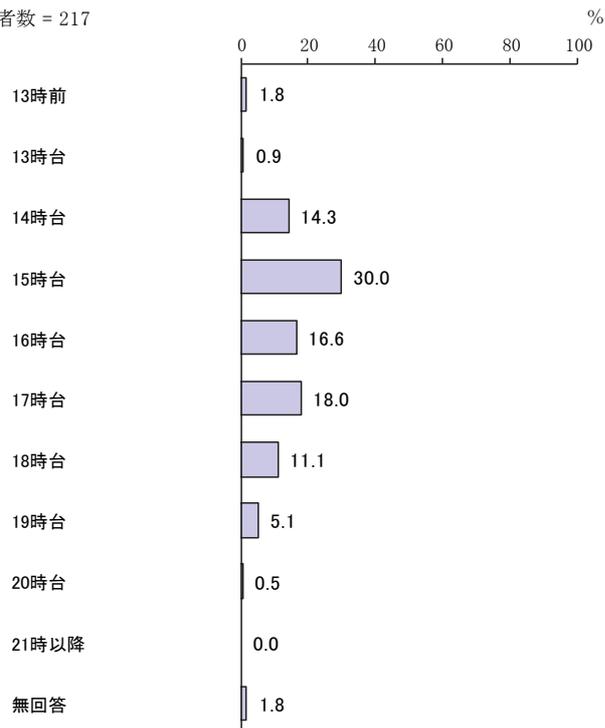
7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答



イ. 利用終了時刻

「15 時台」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 18.0%、「16 時台」の割合が 16.6%となっています。

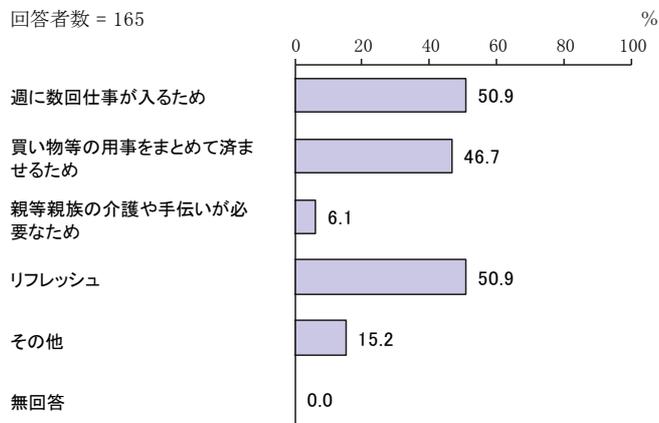
回答者数 = 217



問 23-1 問 23 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」、「リフレッシュ」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 46.7%となっています。

回答者数 = 165

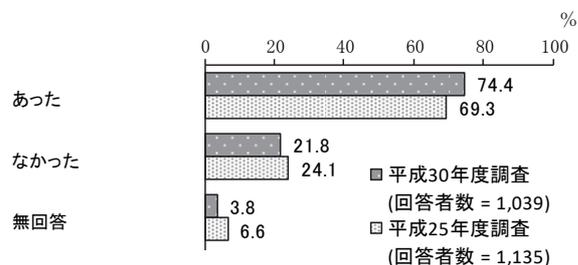


(8) 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 17 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃる方は、問 25 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が 74.4%、「なかった」の割合が 21.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「あった」の割合が 5.1 ポイント増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、全年齢で「あった」の割合が高くなっており、特に 0 歳児～2 歳児で高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳児	44	88.6	6.8	4.5
1歳児	101	87.1	11.9	1.0
2歳児	149	80.5	15.4	4.0
3歳児	238	71.4	25.2	3.4
4歳児	227	71.4	26.0	2.6
5歳児	264	69.7	25.0	5.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』で「あった」の割合が、『これまで就労したことがない』で「なかった」の割合が高くなっています。

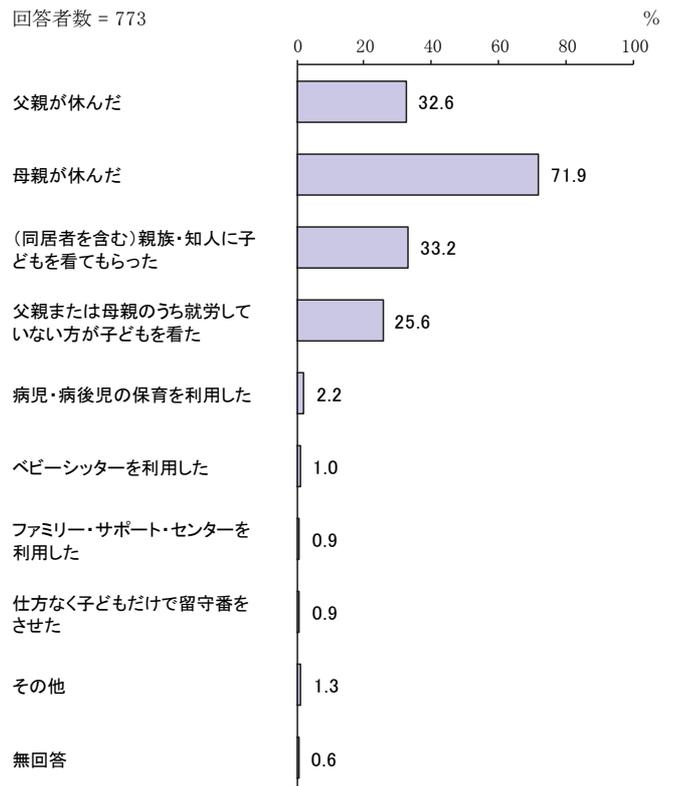
単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	335	87.8	10.1	2.1
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	61	83.6	16.4	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	304	74.0	21.1	4.9
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	75.0	16.7	8.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	281	60.5	33.8	5.7
これまで就労したことがない	30	40.0	56.7	3.3

問 24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

「母親が休んだ」の割合が71.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が33.2%、「父親が休んだ」の割合が32.6%となっています。

回答者数 = 773



【1年間の対処方法別】

1年間の対処方法別でみると、他に比べ、『カ.ベビーシッターを利用した』、『オ.病児・病後児の保育を利用した』で「1日」の割合が、『ア.父親が休んだ』、『ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった』で「2日～3日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア.父親が休んだ	252	20.2	39.7	22.2	3.6	7.1	0.8	6.3
イ.母親が休んだ	556	5.6	23.2	20.3	12.1	26.6	10.3	2.0
ウ.(同居者を含む) 親族・知人に 子どもを看て もらった	257	13.2	35.0	19.5	6.6	18.7	5.8	1.2
エ.父親または母親の うち就労していない 方が子どもを看た	198	10.1	21.2	25.8	9.1	20.2	9.1	4.5
オ.病児・病後児の 保育を利用した	17	35.3	29.4	5.9	5.9	-	-	23.5
カ.ベビーシッターを 利用した	8	37.5	25.0	-	-	-	-	37.5
キ.ファミリー・ サポート・ センターを利用した	7	28.6	14.3	-	-	14.3	-	42.9
ク.仕方なく子ども だけで留守番を させた	7	14.3	28.6	14.3	-	-	-	42.9
ケ.その他	10	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	-	20.0

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年齢で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもを看てもらった (同居者を含む) 親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳児	39	38.5	84.6	51.3	12.8	—	—	—	—	—	—
1歳児	88	53.4	92.0	45.5	10.2	6.8	—	—	—	—	—
2歳児	120	44.2	82.5	45.0	11.7	1.7	2.5	2.5	—	0.8	0.8
3歳児	170	33.5	63.5	24.7	34.1	2.4	0.6	0.6	1.2	2.9	0.6
4歳児	162	24.1	64.8	27.2	32.7	1.2	1.2	0.6	1.2	0.6	0.6
5歳児	184	19.6	65.8	29.3	31.5	1.1	0.5	0.5	1.1	1.1	1.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』、『パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』で「母親が休んだ」の割合が、『以前は就労していたが、現在は就労していない』、『これまで就労したことがない』で「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が高くなっています。

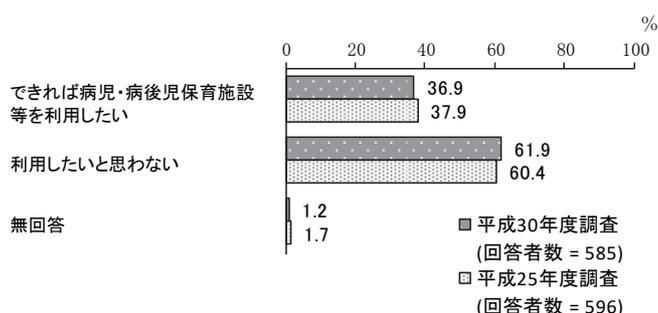
単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもを看てもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	294	48.6	92.5	49.7	5.4	2.4	1.0	1.4	1.0	1.4	0.7
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	51	49.0	76.5	35.3	25.5	7.8	3.9	—	—	2.0	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	225	24.4	92.0	31.1	7.6	2.2	0.9	0.4	1.3	0.9	0.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9	11.1	55.6	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	170	11.2	15.3	8.8	81.2	0.6	0.6	1.2	0.6	1.2	1.2
これまで就労したことがない	12	8.3	8.3	25.0	75.0	—	—	—	—	8.3	—

問 24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

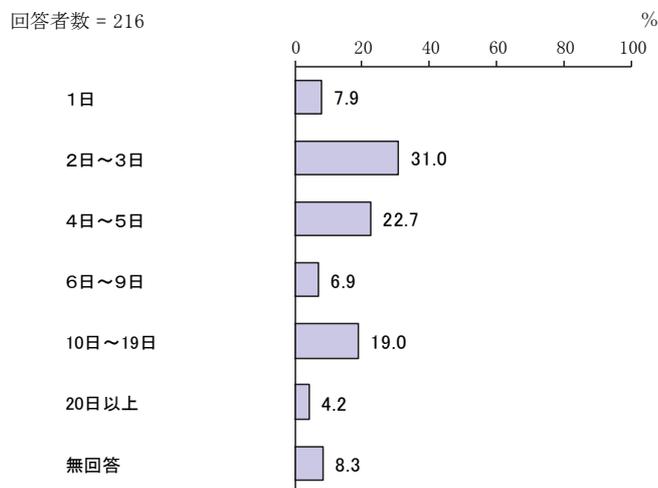
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 36.9%、「利用したいと思わない」の割合が 61.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

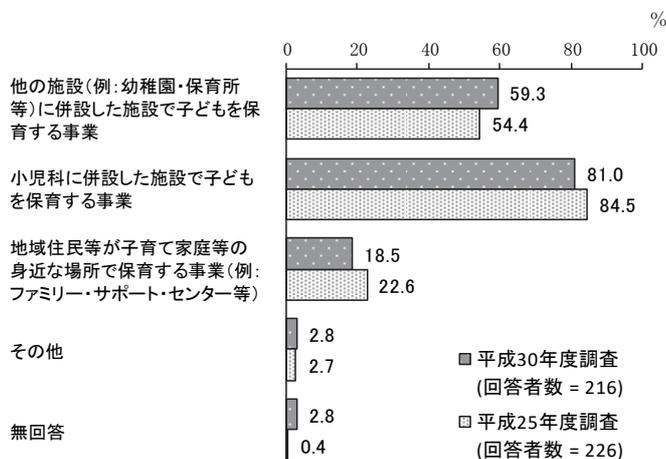
「2日～3日」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が 22.7%、「10日～19日」の割合が 19.0%となっています。



問 24-3 問 24-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 81.0%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 59.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 18.5%となっています。

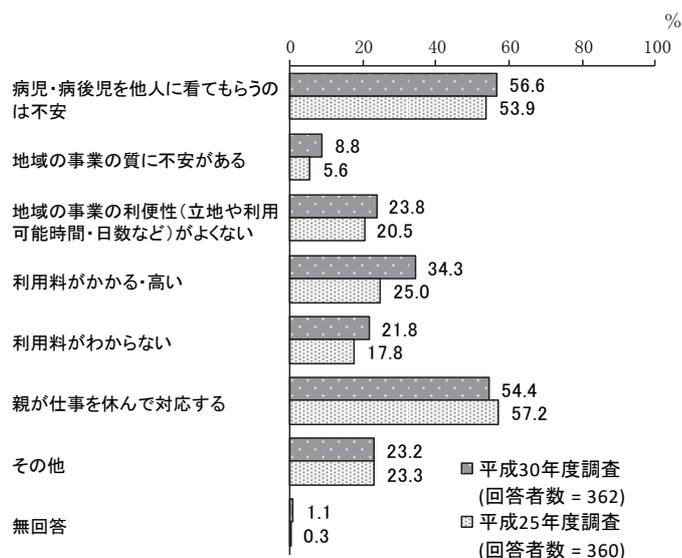
平成 25 年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



問 24-4 問 24-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

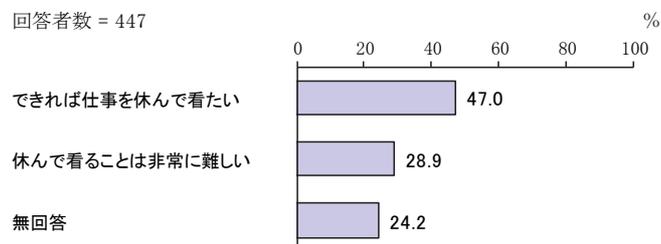
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が 54.4%、「利用料がかかる・高い」の割合が 34.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」の割合が最も増加しています。



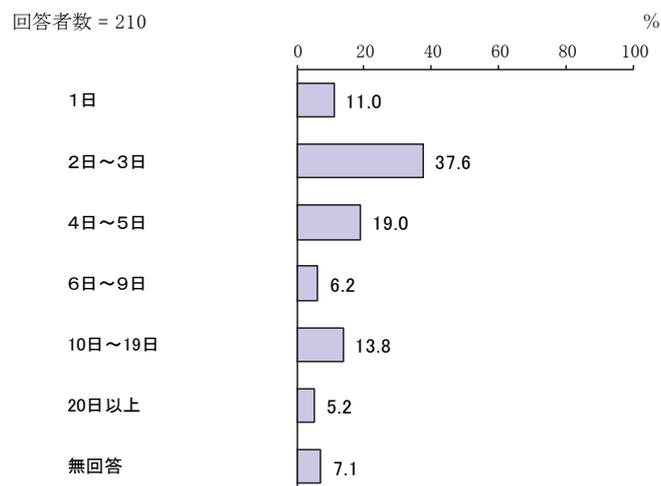
問 24-5 問 24-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した人以外で、その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 47.0%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 28.9%となっています。



仕事を休んで看たい日数

「2日～3日」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が 19.0%、「10日～19日」の割合が 13.8%となっています。



問 24-6 問 24-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 20.2%、「自営業なので休めない」の割合が 12.4%となっています。

回答者数 = 129

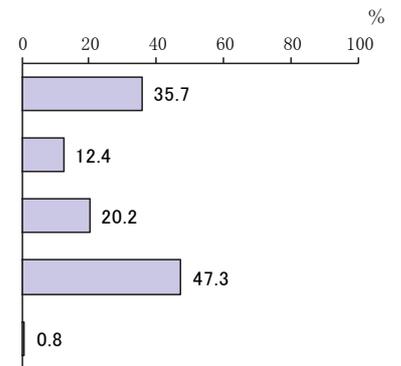
子どもの看護を理由に休みがとれない

自営業なので休めない

休暇日数が足りないので休めない

その他

無回答

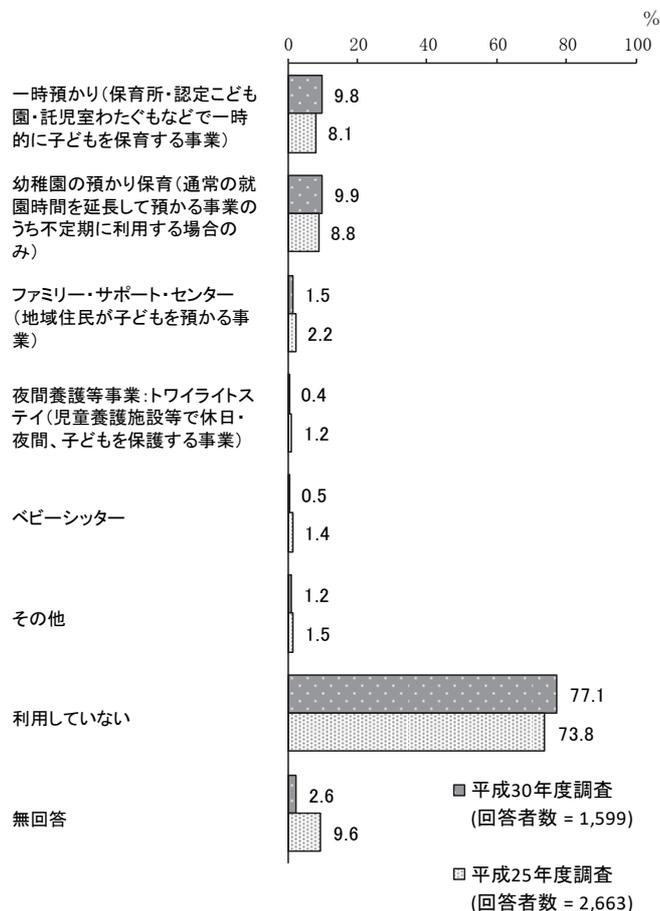


(9) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用していない」の割合が 77.1%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



【利用している事業別】

利用している事業別でみると、『3. ファミリー・サポート・センター』、『2. 幼稚園の預かり保育』で「2日～3日」の割合が、『5. ベビーシッター』で「4日～5日」の割合が、『1. 一時預かり』で「20日以上」の割合が高くなっています。

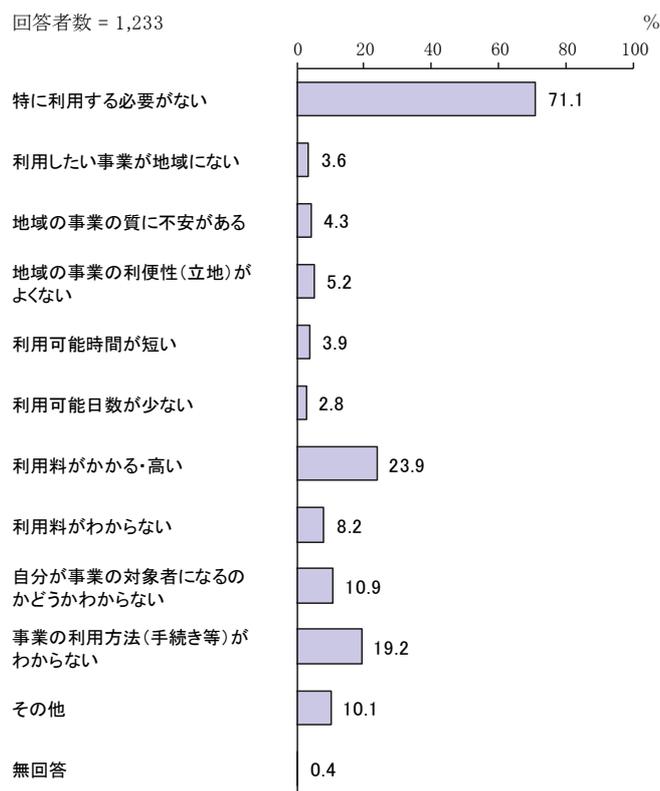
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
1. 一時預かり	156	10.9	16.7	16.7	6.4	19.9	22.4	7.1
2. 幼稚園の預かり保育	159	5.0	23.3	18.9	6.9	21.4	20.1	4.4
3. ファミリー・サポート・センター	24	4.2	29.2	12.5	4.2	8.3	16.7	25.0
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	6	-	16.7	-	-	16.7	-	66.7
5. ベビーシッター	8	12.5	12.5	25.0	-	-	-	50.0
6. その他	19	5.3	21.1	15.8	5.3	-	21.1	31.6

問 25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 23.9%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 19.2%となっています。

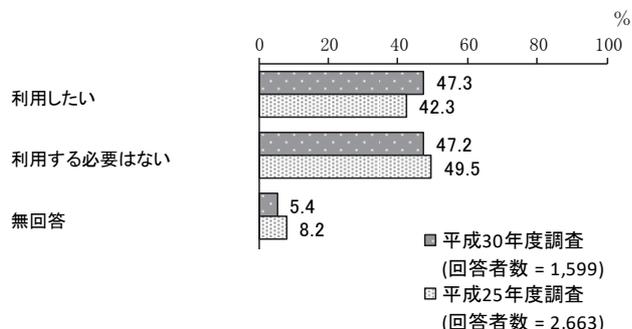
回答者数 = 1,233



問 26 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 47.3%、「利用する必要はない」の割合が 47.2%となっています。

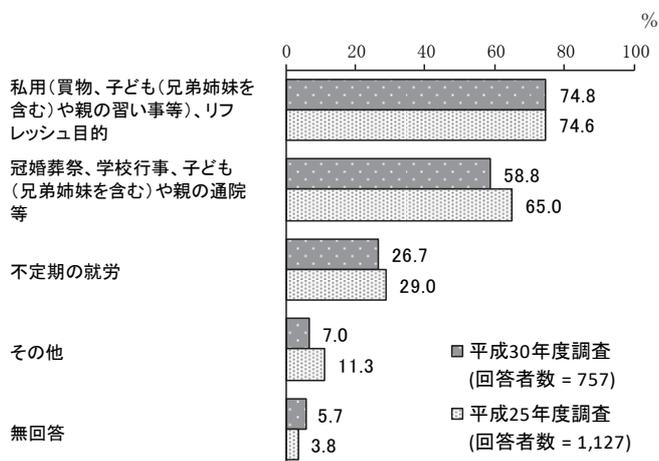
平成 25 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が 5.0 ポイント増加しています。



ア. 利用したい

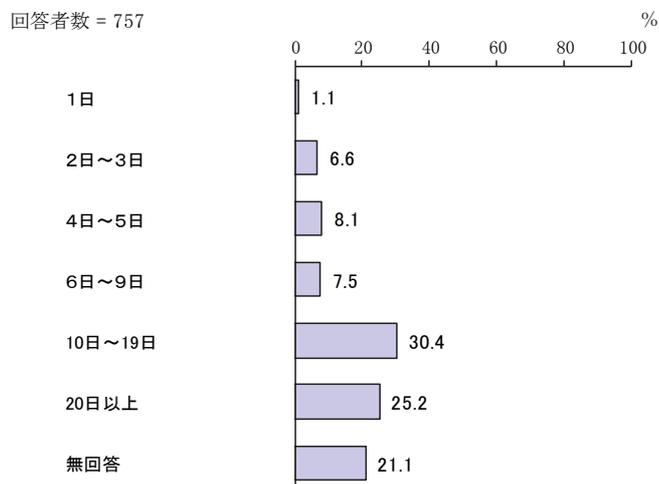
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 58.8%、「不定期の就労」の割合が 26.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 6.2 ポイント減少しています。



合計日数

「10 日～19 日」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 25.2%となっています。



【利用する目的別の必要日数】

『私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的』では、「10日～19日」の割合が35.2%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が17.8%、「2日～3日」の割合が14.3%となっています。

『冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等』では、「2日～3日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が25.4%、「4日～5日」の割合が23.1%となっています。

『不定期の就労』では、「20日以上」の割合が28.2%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が25.7%、「4日～5日」の割合が17.3%となっています。

単位：%

	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
(ア)私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	566	4.8	14.3	17.8	9.9	35.2	14.0	4.1
(イ)冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	445	5.4	29.4	23.1	6.7	25.4	4.9	4.9
(ウ)不定期の就労	202	2.0	10.9	17.3	6.4	25.7	28.2	9.4
(エ)その他	53	3.8	7.5	24.5	3.8	18.9	24.5	17.0

問 26-1 問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が75.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業等）」の割合が43.5%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が31.8%となっています。

回答者数 = 757

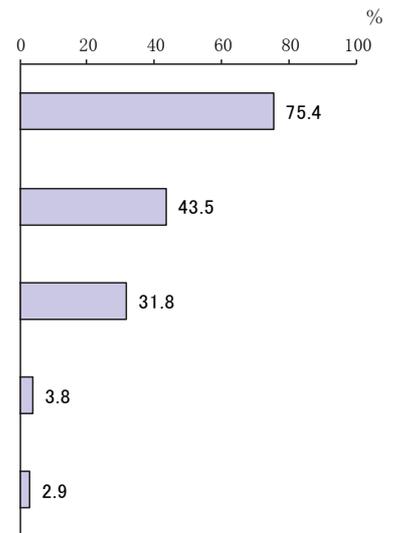
大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)

小規模施設で子どもを保育する事業(例:小規模保育事業等)

地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)

その他

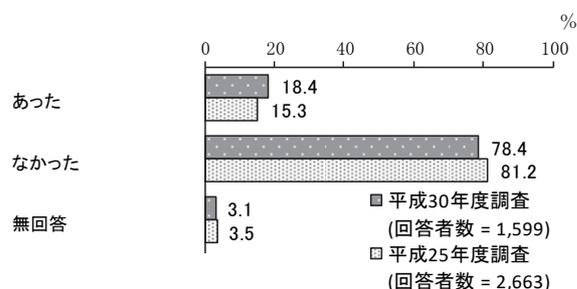
無回答



問 27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「あった」の割合が18.4%、「なかった」の割合が78.4%となっています。

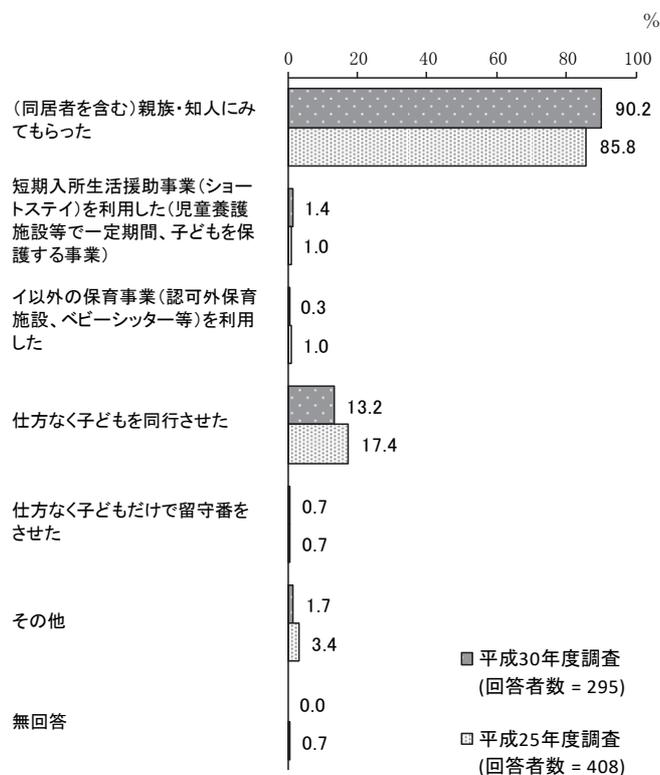
平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。



1. あった

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が90.2%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が13.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が増加しています。一方、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が減少しています。



【1年間の対処方法別】

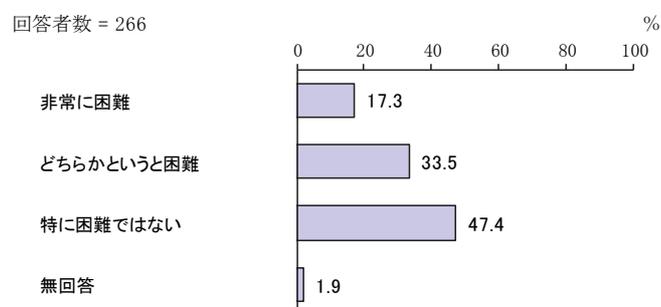
1年間の対処方法別でみると、『ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった』、『エ. 仕方なく子どもを同行させた』で「2泊～3泊」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1泊	2泊 ～ 3泊	4泊 ～ 5泊	6泊 ～ 9泊	10泊 ～ 19泊	20泊 以上	無回答
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	266	23.3	25.6	15.8	9.0	9.4	7.5	9.4
イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	4	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	1	100.0	-	-	-	-	-	-
エ. 仕方なく子どもを同行させた	39	23.1	35.9	17.9	10.3	-	2.6	10.3
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
カ. その他	5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0

問 27-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が 33.5%、「非常に困難」の割合が 17.3%となっています。



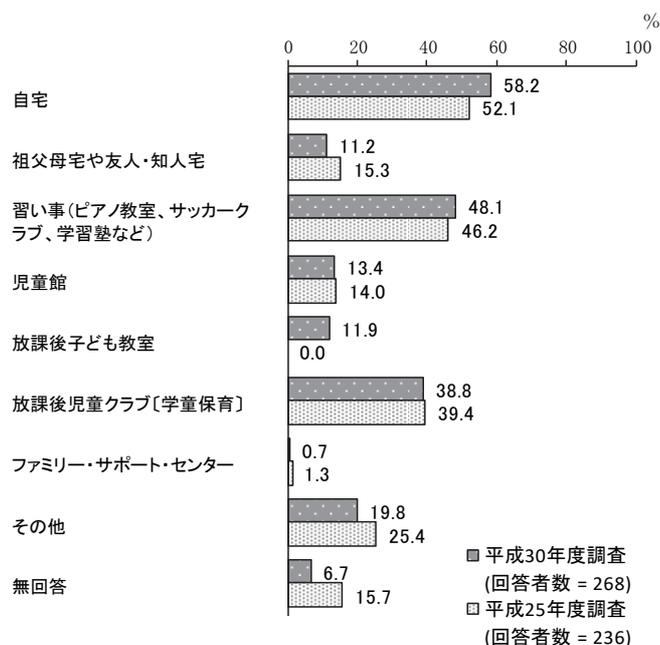
(10) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が58.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が48.1%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が38.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自宅」の割合が6.1ポイント増加しています。一方、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。

なお、前回調査は、「放課後子ども教室」の項目はありません。



【放課後の過ごし方別】

放課後の過ごし方別でみると、『5. 放課後子ども教室』、『2. 祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が、『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」の割合が高くなっています。また、『6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕』で「5日」の割合が高くなっています。

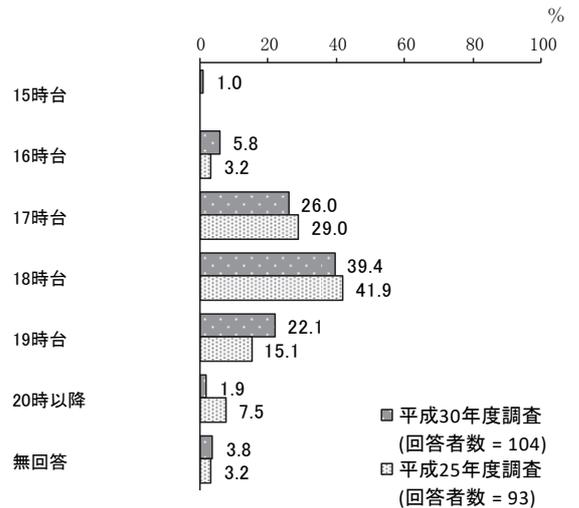
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	156	15.4	19.2	19.9	9.6	32.1	3.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	30	46.7	16.7	10.0	3.3	13.3	10.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	129	36.4	44.2	14.0	1.6	3.1	0.8
4. 児童館	36	41.7	25.0	16.7	-	11.1	5.6
5. 放課後子ども教室	32	59.4	18.8	12.5	-	6.3	3.1
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	104	1.9	7.7	11.5	9.6	68.3	1.0
7. ファミリー・サポート・センター	2	-	50.0	-	-	-	50.0
8. その他	53	26.4	30.2	24.5	-	17.0	1.9

放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.0%、「19 時台」の割合が 22.1%となっています。

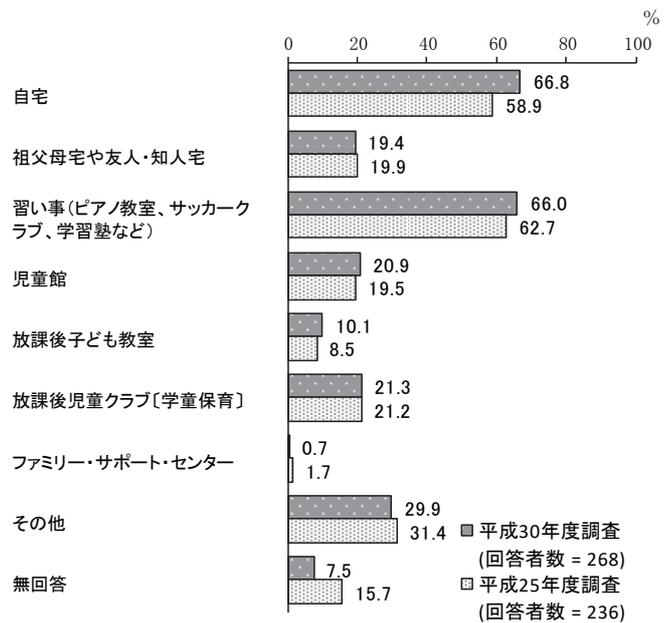
平成 25 年度調査と比較すると、「19 時台」の割合が 7ポイント増加しています。一方、「20 時以降」、「17 時台」の割合が減少しています。



問 29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 66.0%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 21.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が 7.9ポイント増加しています。



【放課後の過ごし方別】

放課後の過ごし方別でみると、『2. 祖父母宅や友人・知人宅』、『5. 放課後子ども教室』で「1日」の割合が、『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」の割合が高くなっています。また、『6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕』で「5日」の割合が高くなっています。

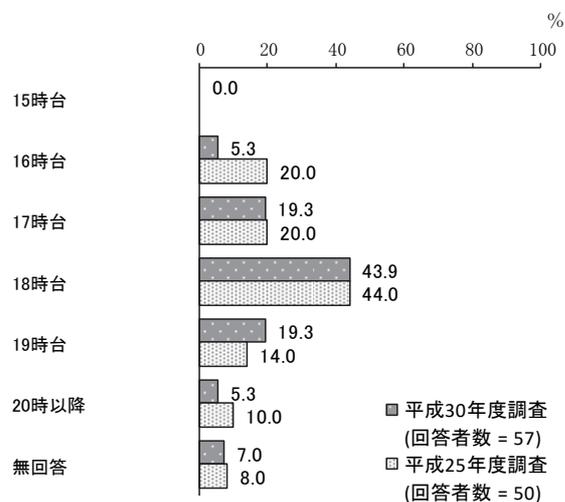
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	179	17.9	24.0	18.4	7.3	26.8	5.6
2. 祖父母宅や友人・知人宅	52	50.0	19.2	7.7	1.9	11.5	9.6
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など)	177	20.3	45.2	24.9	2.8	2.8	4.0
4. 児童館	56	39.3	25.0	17.9	-	8.9	8.9
5. 放課後子ども教室	27	44.4	29.6	11.1	-	7.4	7.4
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	57	7.0	10.5	22.8	12.3	42.1	5.3
7. ファミリー・サポート・センター	2	-	50.0	-	-	-	50.0
8. その他	80	26.3	35.0	18.8	1.3	12.5	6.3

放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

「18時台」の割合が43.9%と最も高く、次いで「17時台」、「19時台」の割合が19.3%となっています。

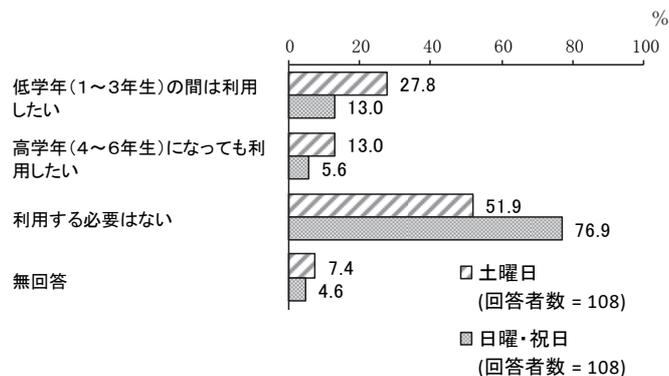
平成25年度調査と比較すると、「16時台」の割合が14.7ポイント減少し、「19時台」の割合が5.3ポイント増加しています。



問 30 問 28 または問 29 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 27.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 13.0%となっています。

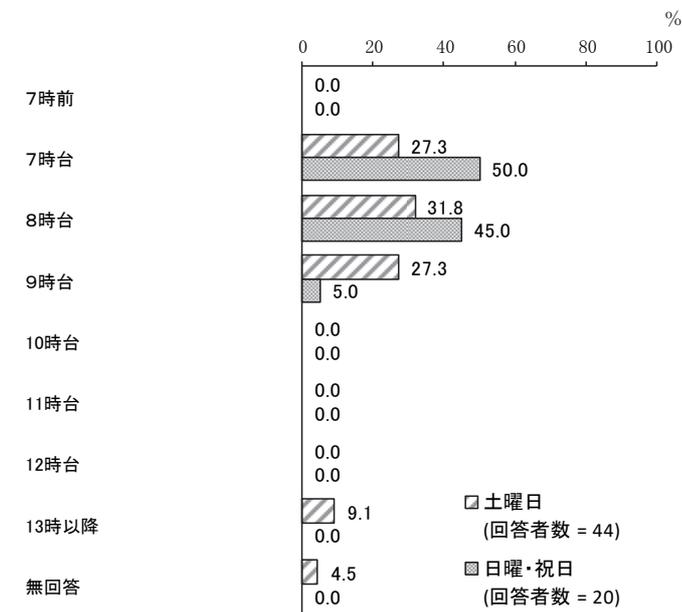
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 13.0%となっています。



ア. 利用開始時刻

土曜日では、「8 時台」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「7 時台」、「9 時台」の割合が 27.3%となっています。

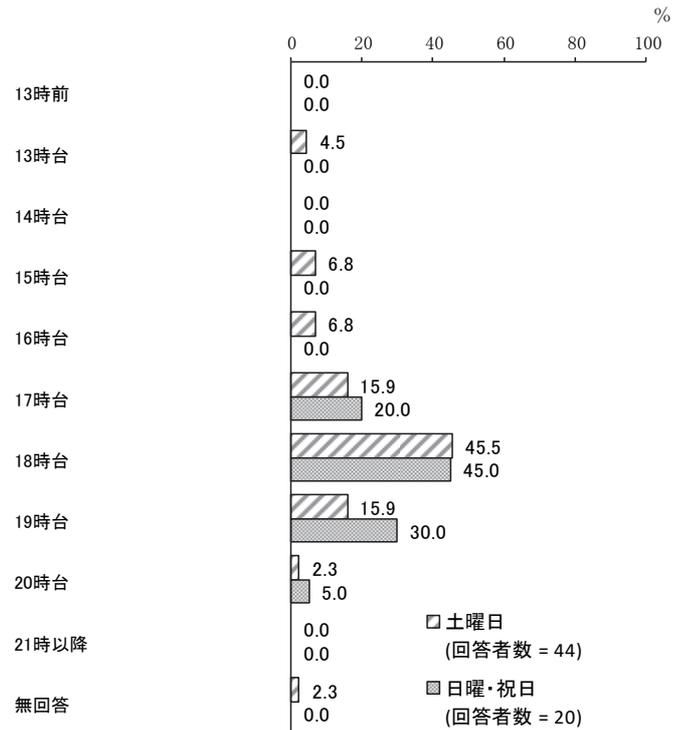
日曜・祝日では、「7 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 45.0%となっています。



イ. 利用終了時刻

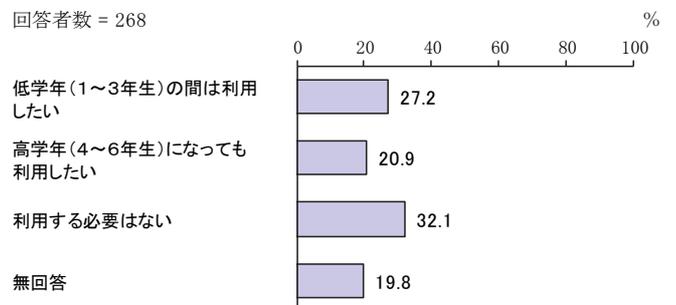
土曜日では、「18 時台」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「17 時台」、「19 時台」の割合が 15.9%となっています。

日曜日では、「18 時台」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 30.0%となっています。



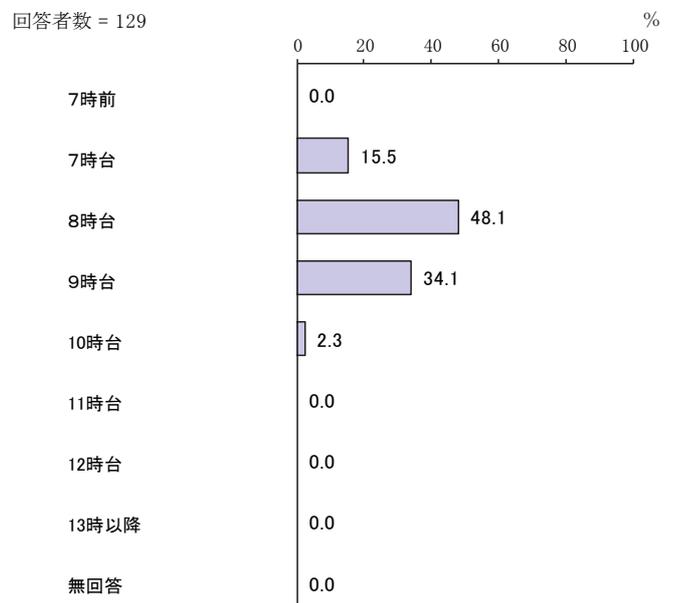
問 31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

「利用する必要はない」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 27.2%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 20.9%となっています。



ア. 利用開始時刻

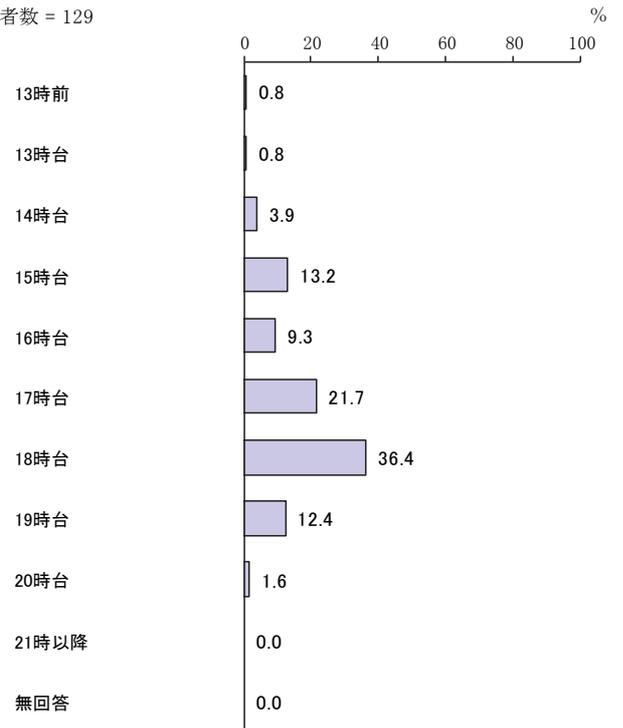
「8 時台」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 34.1%、「7 時台」の割合が 15.5%となっています。



イ. 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.7%、「15 時台」の割合が 13.2%となっています。

回答者数 = 129



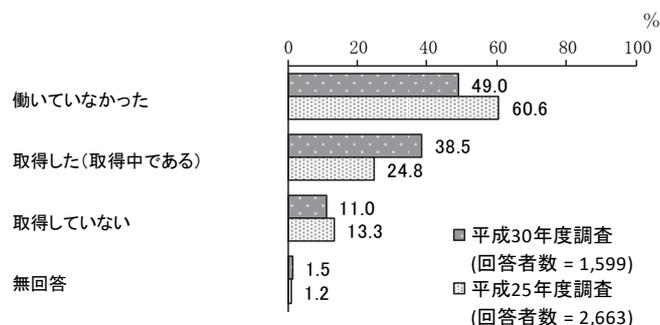
(11) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

ア. 母親

「働いていなかった」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 38.5%、「取得していない」の割合が 11.0%となっています。

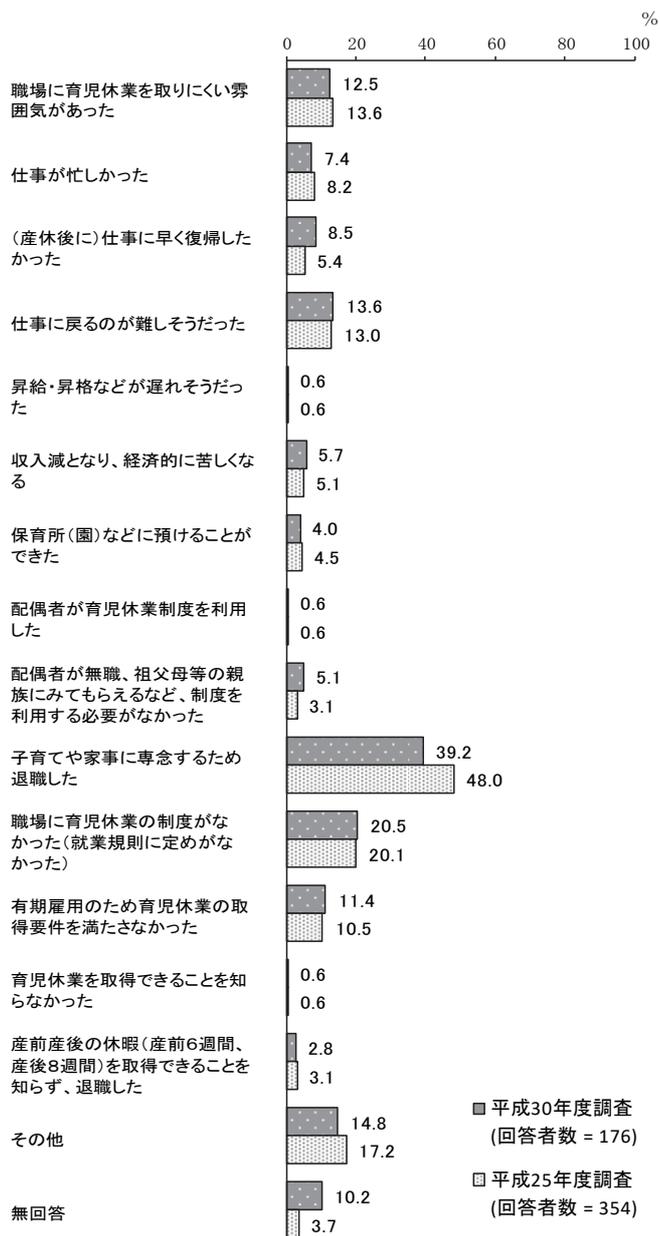
平成 25 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が 13.7 ポイント増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が 11.6 ポイント減少しています。



取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 20.5%、「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が 13.6%となっています。

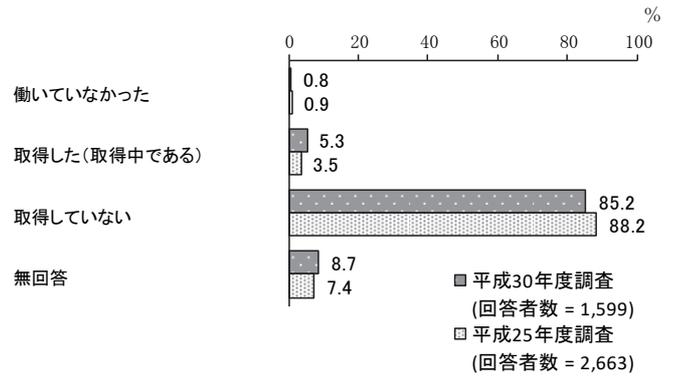
平成 25 年度調査と比較すると、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 8.8 ポイント減少しています。



イ. 父親

「取得していない」の割合が 85.2%と最も高くなっています。

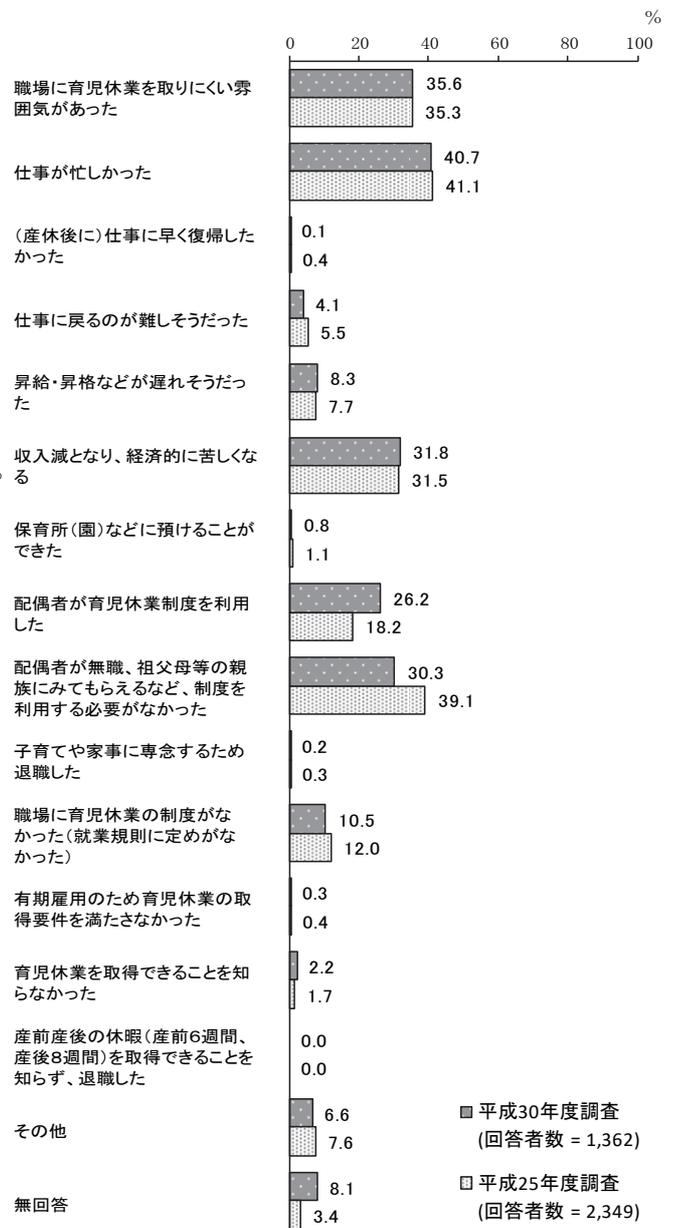
平成 25 年度調査と比較すると、「取得していない」の割合が減少しています。



取得していない理由

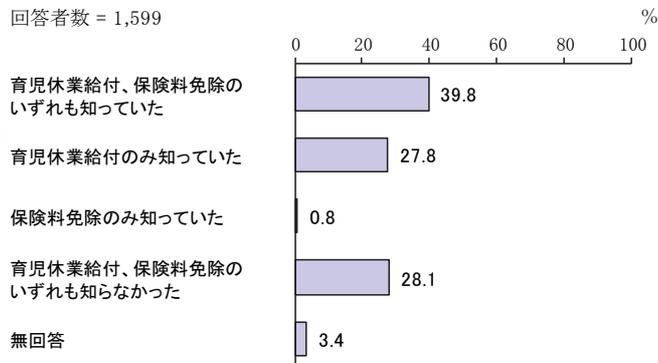
「仕事が忙しかった」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 35.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 31.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が 8.0 ポイント増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が 8.8 ポイント減少しています。



問 32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

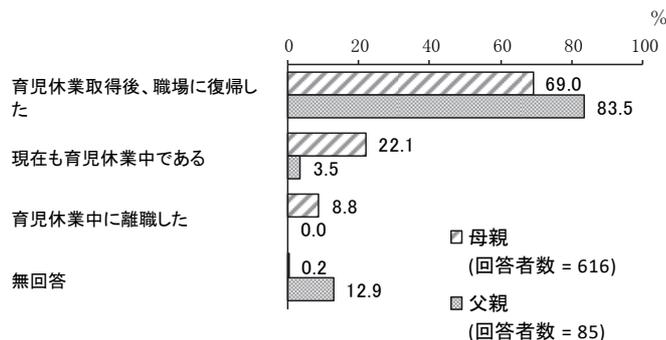
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が39.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が28.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が27.8%となっています。



問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が69.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が22.1%となっています。

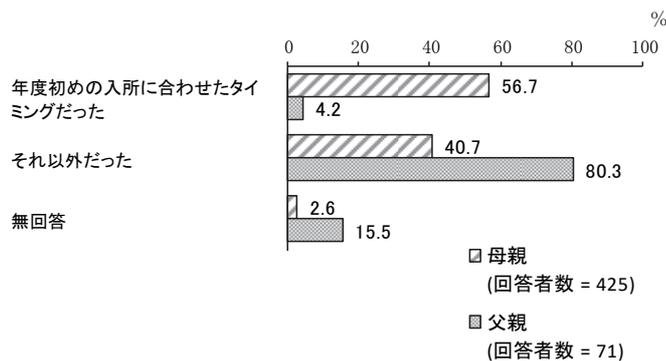
父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が83.5%と最も高くなっています。



問 32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が56.7%、「それ以外だった」の割合が40.7%となっています。

父親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が4.2%、「それ以外だった」の割合が80.3%となっています。

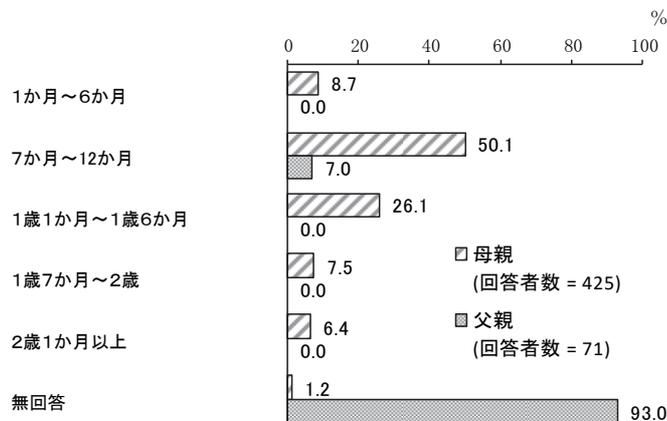


問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(ア) 実際

母親では、「7か月～12か月」の割合が50.1%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が26.1%となっています。

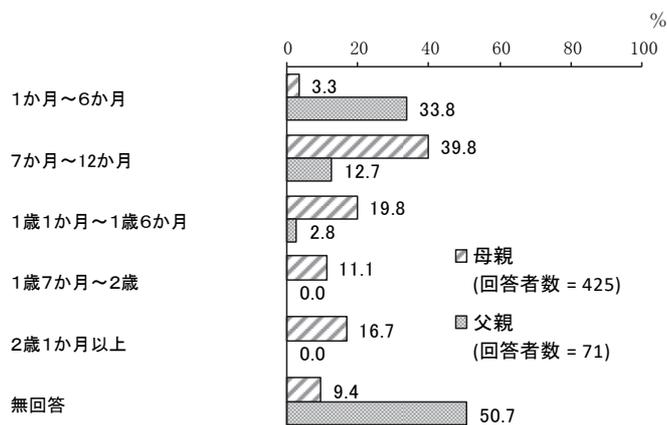
父親では、「7か月～12か月」の割合が7.0%と最も高くなっています。



(イ) 希望

母親では、「7か月～12か月」の割合が39.8%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が19.8%、「2歳1か月以上」の割合が16.7%となっています。

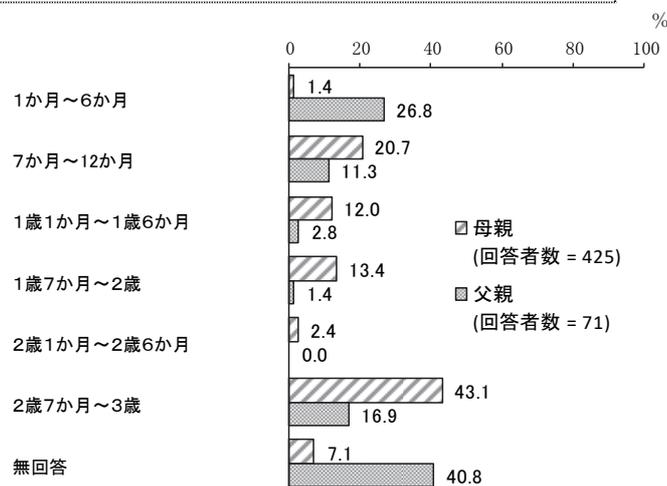
父親では、「1か月～6か月」の割合が33.8%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が12.7%となっています。



問 32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

母親では、「2歳7か月～3歳」の割合が43.1%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が20.7%、「1歳7か月～2歳」の割合が13.4%となっています。

父親では、「1か月～6か月」の割合が26.8%と最も高く、次いで「2歳7か月～3歳」の割合が16.9%、「7か月～12か月」の割合が11.3%となっています。

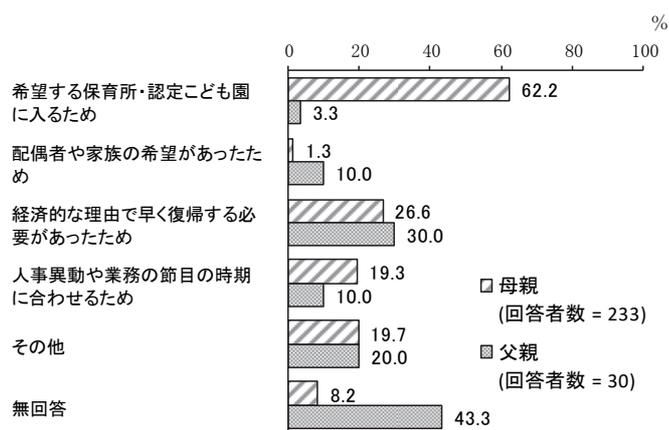


問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア. 「希望」より早く復帰した方

母親では、「希望する保育所・認定こども園に入るため」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が 26.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 19.3%となっています。

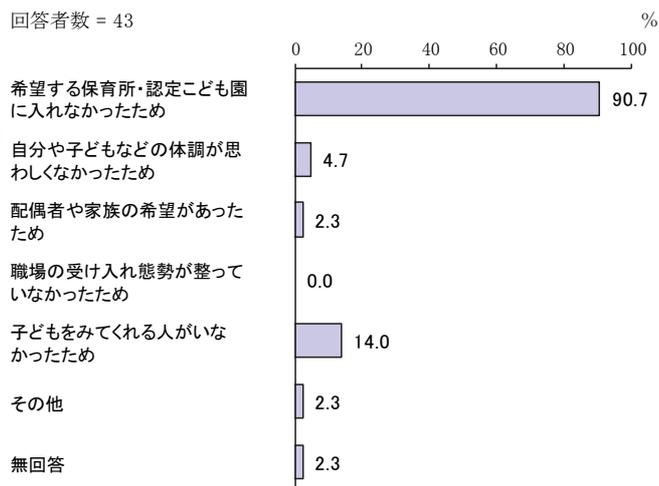
父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 10.0%となっています。



イ. 「希望」より遅く復帰した方

母親では、「希望する保育所・認定こども園に入れなかったため」の割合が 90.7%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が 14.0%となっています。

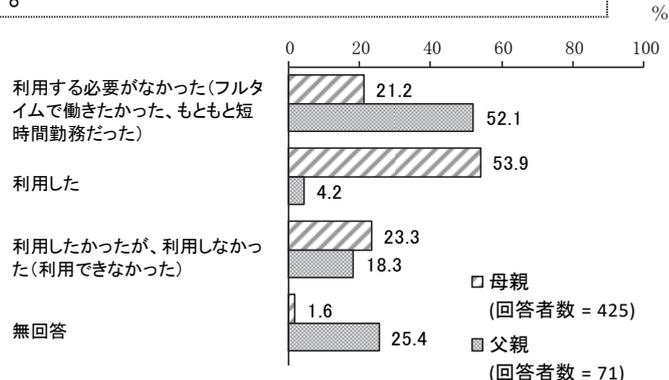
父親では、有効回答がありませんでした。



問 32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「利用した」の割合が53.9%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が23.3%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が21.2%となっています。

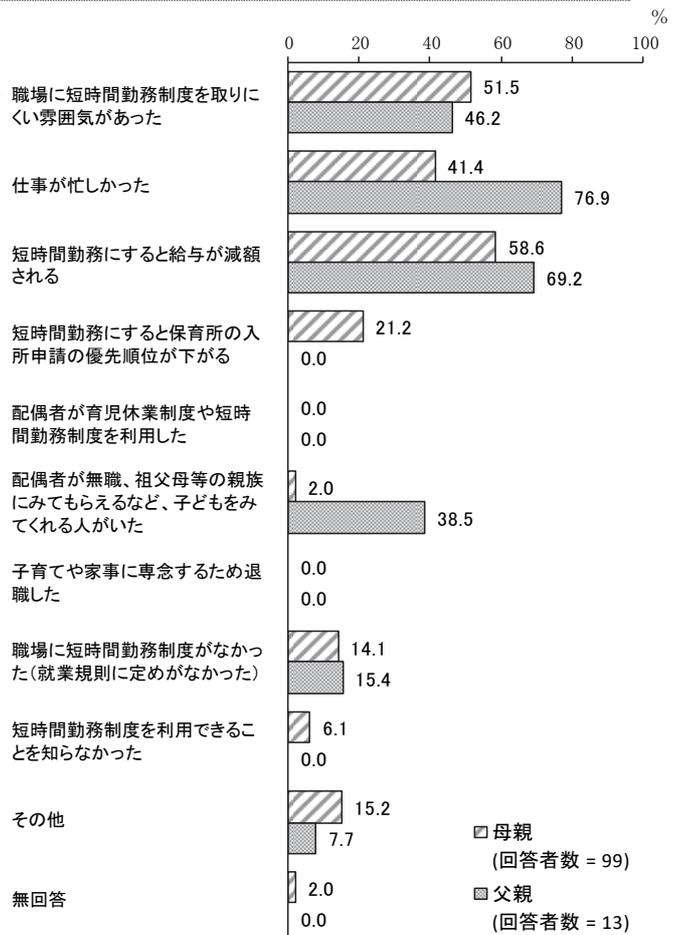
父親では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が52.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が18.3%となっています。



問 32-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 51.5%、「仕事が忙しかった」の割合が 41.4%となっています。

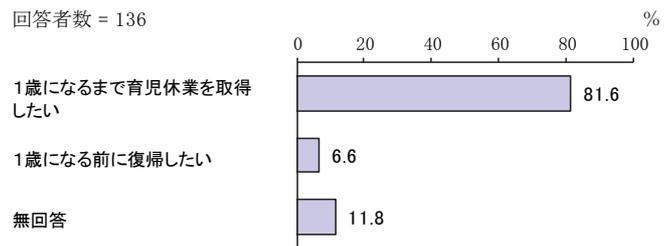
父親では、「仕事が忙しかった」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 69.2%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 46.2%となっています。



問 32-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 81.6%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が 6.6%となっています。

父親では、有効回答がありませんでした。

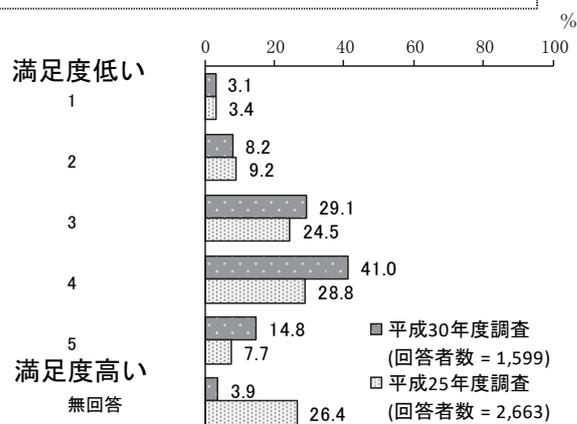


(12) すべての方に、厚木市の子育て環境について

問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「4」の割合が41.0%と最も高く、次いで「3」の割合が29.1%、「5」の割合が14.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4」、「5」の割合が合計19.3ポイント増加しています。



問 33-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

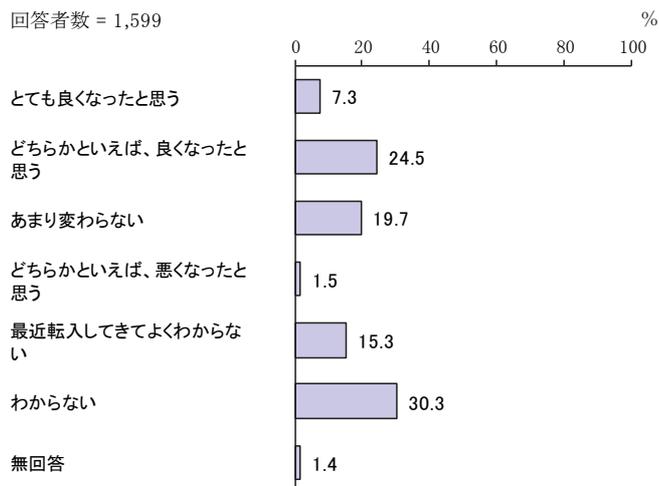
「子ども医療費助成」の件数が1,211件と最も多く、次いで「紙おむつ等の支給」の件数が999件、「子育て支援センター「もみじの手」」の件数が751件となっています。

単位：件

回答者数 (件)	幼稚園、認定こども園、保育所の充実	小規模保育、家庭的保育の充実	病児・病後児保育	幼稚園送迎ステーション	子ども医療費助成	紙おむつ等の支給	子育て支援センター「もみじの手」	託児室わたくも（一時預かり）	ファミリー・サポート・センター	ほっとタイムサポーター	移動子育てサロン	児童館おひさまタイム	療育相談センター「まめの木」	赤ちゃんの駅「ベビリア」	子育てパスポートAYUCO	子育てガイド「おおきくなあれ」	その他	無回答
1,599	692	44	80	72	1,211	999	751	161	101	25	264	409	147	145	584	198	31	41

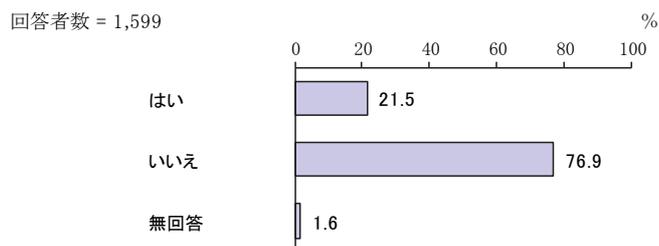
問 34 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「わからない」の割合が30.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば、良くなったと思う」の割合が24.5%、「あまり変わらない」の割合が19.7%となっています。



問 35 本厚木駅近くにある託児室「わたぐも」で朝夕子どもを預かり、利用する幼稚園や保育所等まではバスで送迎する「送迎ステーション事業」が利用できる場合、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。なお、費用は、月4,000円程度とします。

「はい」の割合が21.5%、「いいえ」の割合が76.9%となっています。



(13) 自由記述

問 36 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※主な意見は、ご記入いただいた内容をそのまま記載しています。

(1) 幼稚園について

カテゴリと主な意見	件数
時間延長 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事に戻った時に幼稚園の預かり時間が短くて間に合わないのではないかと不安なので、預かりの時間をもう少し伸ばしてもらえたら、もう少し時間に余裕をもって送迎できる。 ・幼稚園の朝の預ける時間を午前8時頃からにしてほしいです。来春入園する幼稚園が午前8時30分からの預かりですが、仕事が午前9時からなので間に合わなくなりそうで困っています。 ・幼稚園の保育時間があと1～2時間くらい長くなると働きやすいのではないかと思います。 	5
幼稚園の料金見直し <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園無償化になるならもっと早く実施してほしい。 ・幼稚園の登録料などが高すぎます。 ・子育てがしやすい街といわれていますが、私立幼稚園しかなく保育料の負担が大きすぎた。 ・幼児教育、保育無償化に伴い保育料が無料となるかもしれませんが、幼稚園へ通うには月謝以外に備品、制服、給食と出費ばかり。それらの為に働くほかならない今、幼稚園月謝も年度末に収入に応じた対応で各家庭に返ってくる分もある。今のままで十分対応が取れていると感じています。 ・幼稚園と預かり保育を利用した場合、月額料金が月5万以上かかってしまうため、2019年10月以降、3万7千円の無償化の恩恵が受けられたとしても家計の負担が残ります。そのため、現在ある厚木市の「私立幼稚園奨励費補助金」制度については、今後も継続されることを希望します。 	6
入園しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・去年の秋に息子の幼稚園探しで市内の幼稚園を色々見学しました。保育料と中身が割に合わず市外にしました。地域の環境はとても良く厚木市に越してきて本当に良かったと思っています。 	2
一時・短期・夜間・休日・長期休暇中の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・働く日数を増やしたいと思っているが、そのためには幼稚園の預かり保育を利用しようと思っている。幼稚園がそういったサービスを拡大、充実してくれるように、人手不足や先生達の働く環境などの問題を行政は考えてもらいたい。 ・来年の4月から市外の私立幼稚園に通う予定です。その幼稚園は夏休みなど長期休暇中の預かりがなく、仕事をどうするか悩んでいます。私立などに通っていないだけでも、長期休暇中だけ預かってくれる幼稚園・小学校の学童があるととても助かる。 ・幼稚園が休みの際、預かってくれる所がなかなかない為、仕事に復帰しにくい。 ・幼稚園の休みの時、仕事のため子どもを預かってくれる事業を望みます。 	6
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・戸田地区まで送迎してくれる厚木市内の幼稚園がほぼないので、幼稚園を選ぶ時に市外を考えざるを得ないのが残念です。 ・厚木にはなぜ市立幼稚園がないのか。 ・幼稚園も満3歳でないと補助金が出ないという制度は、2才児クラスを設けられていても入園させられない為、見直していただくと有り難いです。 ・私立幼稚園でも市で苦情等を受け付けたり第三者委員会のようなものを設けてほしい。 	14

(2) 保育所について

カテゴリと主な意見	件数
<p>入所しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳になったら必ず保育園に入れる様な環境があるととても良いと思います。0歳4月入園を逃したら預け先が無いので、子どもをいつ産むか等悩みます。 ・ 近くに保育園がなく職場が市外のため、別の市で保活する事になりましたが、市外からという事で優先度が低く入所が難しいです。通勤ルートには保育園がなく駅近ばかりに保育園があり、厚木の南の方は子育てが少ししづらいと思います。 ・ 入所したい時に入所できる様に保育環境を整えて頂きたいです。遅く生まれる子が不利になるのはおかしい。 ・ 希望する保育園に毎年希望を出していますが、未だ入園できていません。優先順位というものがあるとは思いますが、希望している園に入園するにはどうしたら良いのかという思いです。 ・ 認可保育園に入園させる際、待機児童の数が多く、1次選考で落ち、2次選考で入園が決まりました。そのため仕事を探したり（入園できる保育園の近くで探したかった）、面接に行ったりという行動がとても慌ただしかったです。実質、2週間くらいの間で求職活動をしなから、保育園の入園準備、説明会等に参加しないとなくなくなり、すごくバタバタしました。 ・ 認可保育所の空きがなく、1歳児クラスでの入園が困難であると判断し、復職日を早めた。会社の規定だと、1歳8か月まで育休を取得できたが、定員が少なすぎる。「0歳児クラスで復帰しなければならないため」はもはや常識になっていて、子育て支援に力を入れているとの政策とのギャップが大きい。 ・ 入園手続きがバラバラで利用者への負担が大きい。必要最小限に手続きを簡素化し、利用者の立場も考慮してほしい。 ・ 1～2才頃から保育園に通わせるのが希望ですが、0才のうちに入園しないとなかなか保育園に入園することが難しい状況です。入りたい時期に入れる環境になると仕事と育児の両立がしやすくなります。 	58
<p>入所条件見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の勤務時間は7時間45分となっているため、保育園の入所を考えた時のポイントが低くなってしまいます。厚木市は週あたりの時間数で10段階のポイント設定をしているためです。他市は月あたりの時間数で設定しているので、フルタイムの他企業（他職種）の方と同じ土台で審査してもらえます。保育園に入れず、（夫婦共に教員なので、それだけでマイナス2点です）育休を延長するしかありません。実際は7時間45分どころか、無休で時間外労働も多い職ですが、保育園に入りづらい制度にとっても困っています。 ・ 第2子以降という事で年が一人目の子と近い事もあると思うので、ポイントがもう少し増えたら良いなと感じました。少子化という割に子育ての支援に力を入れている様には思えません。 ・ 保育園を決められる点数化がおかしいと思う。第一希望の保育所内での点数の高低で決めるのはおかしい。本当に必要としている人たちの点数の高低の人たちから決定していくべきではないだろうか。 	8
<p>保育所の増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園が本厚木駅前に集中していると思います。市内にまんべんなく作って頂けると助かります。 ・ もっと保育園を増やしてほしい。4月に職場復帰が決まっていたにもかかわらず、保育園に落ちた時はどうしようかとのすごく悩みました。 ・ 子どもに対して、保育士さんの人数が足りていない事もあるように思いました。 	9

カテゴリと主な意見	件数
<p>一時・短期・夜間・休日・長期休暇中の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の一時預かり事業の利用時間が短く、利用したいが利用できないでいます。(弟、現在2歳の子について)18時頃まで利用できるようになると大変ありがたいです。 ・現在365日営業の会社で短時間のパートをしていますが、主人も同様に365日営業の会社勤めなので土日に母親が休まざるを得ない。土日でも預かってもらえる(安価で)保育所等があれば助かる。 ・一時保育の申し込みを各保育園に電話しましたが、いっぱいと言われ断られてしまいました。 ・保育料無料化になると今でも一時預かりをしてもらえない状況がますます預かってもらえないことになるので、一時預かり保育を親の状況優先を考えてもらいたいです。 ・土曜日、日曜日も預かってほしい。ほとんどのお仕事では土日もあるのに保育所や児童クラブは預かってくれない。 ・市では「一時預かり」を大々的にHPにも載せているが、実際電話をかけて予約を取ろうとすると、どこの保育園も満員だと断られます。 	16
<p>時間延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時短勤務が取得出来ない環境にあるが保育時間が延長不可能なため、預けづらいです。 ・保育所の開所が午前7時が多いので、母の就業時間に間に合わないのが今困っています。 	4
<p>保育料見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料を0～3歳までも無償化してほしい。 ・共働きで、来年から保育園を利用したいが0～2才児の保育料が高いと思います。 ・現在は収入額によって保育料が決定されていますが、自身の通院や家庭の事情などで生活に余裕がないことが現実です。保育料無償化が実現すれば我が家だけでなく生活が少し豊かになる方もいらっしゃるかと思います。保育料無償化が現実になることを切に願います。 ・保育園に入所している場合と幼稚園では待遇が違い過ぎると思います。幼稚園は補助が出たり、小学校の兄弟が居ると助成金が出たり優遇されている様に感じます。 ・幼稚園の補助金がもう少しあると嬉しい。 	10
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが心にゆとりを持って働けると子ども達にも良い影響が与えられると思います。今後も先生方が笑顔で働けるような労働環境を整えてくださることを期待しています。 ・保育士の待遇改善を望みます。 ・保育園にももう少し英語やピアノなどの幼児教育に力をいれてもらいたい。 ・保育園に入所させ、仕事を再開しようと思ったが保育無償化になり無料となると保育所の質はどうなるのかと心配になった。 	32

(3) 認定こども園について

カテゴリと主な意見	件数
<p>認定こども園の増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚木市の愛甲地区には幼稚園、認定こども園、保育園が少なく、愛甲にも教育環境の充実をさせてほしい。 	1
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園内における1号と2号の格差を大きく感じます。2号への優遇ばかりあり、1号は損をしているように感じてしまいます(保育料、給食費、預かり時間)。 ・認定こども園での預かり保育が、午後8時頃まで、夕食も付いて、延長されると助かります。現在の午後6時30分迄ですと、必ず定時退社が必要となります。 ・子どもが2歳の時に転入しましたが、2歳から預かって頂けるこども園に空きがあったおかげで仕事が続けられました。 	4

(4) 小学校について

カテゴリと主な意見	件数
教育内容の充実と見直し <ul style="list-style-type: none"> ・市内中央部の小学校に子どもが集中していて、よりよい教育環境かは疑問に思います。そろそろ新たに学区を編成すべきではないかと考えます。 ・学校教育に力を入れるべき。学力を全国の中でも上位を目指せるように。 ・小学生くらいの頃に身体を動かせる（スポーツ）（習い事）場が市内にもう少したくさんあればいい。 	7
教員体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では問題が起こった時に相談できる先生がいなくて不安です。子どもの事を考えてくれない。話をしても話にならない。頼れる先生がいらない。 	1
登下校時の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の登校班がある学校とない学校があると聞いたのですが、昔みたいにあった方が良い。 ・登園や登校・下校時の交通安全に力を入れてほしいです。 	3
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学区はもっと自由にならないのでしょうか。 ・小学生になると預け先がなく出勤が遅れてしまいます。早めに通学させるのも、低学年の時は特に心配で困ります。小学校でも早く登校が出来るか受け入れ体制を整えていただけると安心して働けます。 ・幼稚園の延長保育の様なものが小学生になってもあれば良いと思う。定期的利用はしないが、事前申請しておけば利用可能なシステムがあれば助かる。 ・児童が少ない小学校もあるとの事で、自由学区の取り入れ等を（学区の変更）検討していただきたいと思っています。 	11

(5) 児童館・学童クラブについて

カテゴリと主な意見	件数
時間延長 <ul style="list-style-type: none"> ・学童も民間は、とても高く、駅から離れている小学校は、選べる選択肢が少ないです。できれば、学校の学童の時間延長を希望します。 	1
休日・長期休暇中の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館のおひさまタイムをよく利用し、助かっています。ただ、夏休み期間などはおひさまタイムが無く、遊ばせるのに苦労しました。 	1
利用条件見直し <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ利用規定を緩和してほしい。パートでは入所困難、通年契約での就労でない駄目など。 ・現在の悩みとしては今春、小学生にあがる上の子の放課後のこと。放課後児童クラブを利用する条件を満たしていないので利用出来ないということです。下の子を保育所に通わせて今の仕事をしていきたい。 	6
利用料見直し <ul style="list-style-type: none"> ・これから小学生になるにあたって学童保育を利用します。幼保無償化から学童利用料に変化はあるのでしょうか。 ・学童保育の無償化を望む。 	3

カテゴリと主な意見	件数
実施施設の増設 <ul style="list-style-type: none"> ・地域でも児童館のおひさまタイム等自宅からアクセスしやすい所に子どもの遊び場がありとても助かります。 ・今住んでいる地域は、どの児童館も遠く子どもを遊びに連れて行った事はありません（車でなら気楽に行けますが、徒歩や、子どもが1人で自転車等で行くには遠いです）。なので、公民館にある体育館やキッズスペース等、小学生が気軽に遊びに行ける所を開放して頂けると嬉しいです。 	6
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後小学校へと進学した場合、学童の利用が出来るとは限らないので、放課後子ども教室等の施設が充実しているといいと思いました。 ・児童館の存在は大きくて助かっています。車で行ける児童館が増えればなおさらです。 ・学童にも介助員をつけてほしい。 ・学校の学童がもう少し質が上がるといい。 ・学童保育など小学生の保育環境をもっと改善してほしい。 	20

(6) 地域子育てセンター、広場について

カテゴリと主な意見	件数
地域子育て支援拠点事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・もっと駅前に、子育て支援センターを多く増やしてほしい。 ・子育て支援センターの様な場所をもっと増やしてほしい。児童館は過ごしづらい時がある。 	4
イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・出産前、市で開催している両親学級や母親学級に参加したかったのですが開催日が平日で、働いていたので参加できませんでした。せめて土曜日開催をしていただくと助かるプレママ・パパがたくさんいると思います。 ・幼児向けのものが少なく感じます。 ・子育て支援センターが出来れば祝日もやってもらえるとパパが仕事するとき、子ども2人を1人でみる大変さが軽減されそう。また、終わりの時間も午後4時ではなく、もう少し延長してもらえれば、家庭でワンオペ育児の時間が減らせそう。 ・支援センターで行われている母子ともに参加出来るイベントの回数や種類がもっとあるとよいと思っていました。 	11
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんから完全に目を離しておられる保護者もあり、子ども同士でトラブルになる場面も何度かありました。保護者同士での交流も勿論大切ですが子ども達の安全を第一に考えて頂きたいです。 ・駅近くの子育て支援センター等は、駐車場が狭く、とても利用しづらい。 	40

(7) その他の子育て支援サービスについて

カテゴリと主な意見	件数
<p>病児・病後児保育事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育施設がもっと増えてくれると有難い。 ・病児・病後児保育が対応できる施設が手薄で、祖父母等を頼れない家族は困っています。 ・病児、病後児保育が無さすぎて就労困難で困った事があった。充実してほしい。 ・病（後）児保育の利用プロセス改善をお願いします。 ・病児保育は予約なしでも、登録なしでも厚木市在住なら当日に預けられるようにしないと意味がなかったです。 	19
<p>障がい児への支援充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいと言われた親への対応がとても不十分に思います。 ・健全児にとっては良い環境といえるかもしれませんが、障がい児をもつ親にとっては全然優しくなく、むしろ厳しい環境です。保育士や看護師が少ないという理由で受け入れ拒否されてしまいます。保育所1つにつき1人看護師を入れて、障がい児が1人でも入れるような体制を整えてほしいです。 ・難聴の子どもに対しての相談できる場所が市内にあると助かる。 ・療育施設の待機が多いと聞いたので、もう少し充実すると良いと思う。 ・もっと、知的障がい児など発達障がいなどのことを広くサポート、情報の提示をしていただきたい。 	15
<p>一時預かり事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりがもっと簡単に回数等制限なく利用できる様になったら利用しやすいと思う。 ・緊急時（夜間、早朝含む）に、すぐに預けられる施設を充実させてほしい。一時預かり等、実際は定員に達しており利用出来ないという現状を改善してほしい。 ・小学生の長期休み（夏休み、冬休み）の子ども預け先がなくて困っています。 ・自宅から本厚木駅までは距離があるので、近くの公民館等で一時預かりがあると助かります。 ・急な残業や子どもの体調不良等本当に急に誰かの支援が必要になることがあるのですが、そういうときに利用できるサービスが少ないと感じます。 	25
<p>児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児とバスに乗る時の割引や回数券が欲しい。それがあると、子育て支援センターに行く回数も増えるし、検診に行きやすくなる。 ・児童手当の金額の増額希望、一律 15,000 円にしてほしい。 ・児童手当について、子どもが3人いるのに、所得によって満額支給されないのは、納得いかない。 ・オムツ支給の商品の中に粉ミルクがあれば良かったと思った事がありました。 ・おむつの支給など一番欲しいサービスが、子どもが1人しかいないと受けることが出来ない。この事は不満である。1人でも多子でも同じ様なサービスを受けられる様にしてほしい。 ・チャイルドシート助成等終了してしまったのが残念です。 ・厚木市で妊娠して子どもを産む時の補助券の金額の少なさに驚きました。子どもは欲しいと思いますが病院代が高つくので諦めます。 	58

カテゴリと主な意見	件数
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業に力を入れていて、様々な取り組みが行われている事も知っているが、厚木の中心地で取り組みが多く、森の里や少し離れた地域では不便なものが多い印象だ。 国や市が職場に対して子育てをサポートするようにより働きかけてほしい。子育て世帯以外が子どもに関わる（特に幼児）、その時期（幼児期）の大切さを知り、理解してくれるようなシステム作りや取り組み、職場環境作りを行っていくように支援してほしい。 新生児の頃にもっとサポートがあると良いと思う。1度だけ助産師さんの訪問があるが、少なくとも数回かそれ以上来てもらえると大変助かる。 小学生になった時、お迎えがあったりで仕事を変えたりする人が多いのでサポートの充実をお願いしたいです。 ファミリーサポートは初め数回利用しましたが費用が高いため、続きませんでした。 送迎ステーションは駐車場がなく、商業施設やコインパーキングに停めないといけないので不便です。 幼稚園の送迎ステーションについて、とても良い制度では是非利用したいと考えていますが、次の点が課題と考えています。園児の乗車時間が長い。片道で60分を超えることがあるとのこと。園児の体調管理や、災害発生時の対応に不安がある。 	28

(8) 子育てに関する情報について

カテゴリと主な意見	件数
<p>子育て支援に関する情報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 私はよく保健センターを利用したり市の公報等も見るので情報は多く得られていますが、周囲のママ友達は情報を知らない方も多くいるので、特に支援が必要な方に大切なお知らせが届く様に情報発信を工夫して貰えたらと思います。 厚木市のホームページがとても分かりにくいです。子育ての情報や教育現場の情報等、もっと分かりやすく載せてほしいと思います。 今後、幼稚園を利用しようと思っていますがどのように情報収集したらよいのか、見学に行ったらよいのかわからなかったので分かり易い情報誌かホームページなどがあたらいいなと思いました。 どこで子育て支援を実施しているのか、子育て支援センターなどにチラシを置くだけでなく、HP（厚木市）などでももっと広く情報を開示するべきだと思う。 	11
<p>子育てに関する相談先の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> これから就業を考えているのですが、働いている方と比べて0からスタートの方が子どもを預けて働くというハードルが高いので、相談出来る所がもっとあればと思います。 少し子どもの成長面で気になる事があるので、相談出来ると助かりますが、こちらから聞かなければいけないのが少し不安です。 子育ての相談が出来る場所がたくさんあるのは分かるが、誰もが自分たちから相談など話せるとは限らないから、特にシングルなどにはそちらからTELなどをしていった方が良いのではないかと思います。 子どもの病気や行事で仕事を休んだりするので、それ以上休むのは気が引けるし、生活費がなくなるので、土曜、もしくは日曜に相談できる日があればいいと思います。 情報が広報で知る以外、もみじの手などに行かないと分からないので、SNSやメールマガジンのようなものでお知らせがあると、早く情報を知れて参加しやすいと思います。 	13

(9) 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について

カテゴリと主な意見	件数
<p>子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園に子ども(他の子ども)がいない。公園の遊具がどんどんなくなっていく。 ・子育て環境の希望は近所に公園が無く、気軽に外遊びが出来ないのが辛いので、是非公園を作ってほしいです。 ・小学校の通学路がもう少し児童に安全なものにならないでしょうか？スクールゾーンを猛スピードで駆け抜ける自動車がとても多いです。歩道がない所も多く見通しも悪く、児童の安全に不安を覚えます。 ・駅周辺ばかり整備されていて、駅から離れた道路や公園はあまり整備されていないように感じます。 ・子どもが巻き込まれる事件、事故が毎日のようにニュースで流れるこのご時世なので、学校から学童までの間も大人の目が途切れる事のない環境であってほしいと思います。 ・公園で煙草を吸っている若者が多く安心して遊ばせる事が出来ない時が多々あります。支援事業等だけでなく、街の雰囲気も大切だと感じました。 ・もっと室内で子どもを安心して遊ばせられる場所があると助かります。 ・駅ビルや商業施設などに赤ちゃんも寝転がることが出来て大人も少し休めるような場所がもう少し欲しいです。 	119

(10) 母子の保健について

カテゴリと主な意見	件数
<p>医療費補助、医療体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費無料は本当に助かります。 ・末子(第2子)の1才まで紙おむつ支給は大変助かりました。中学3年まで医療費補助もありがたいです。 ・子どもの医療費の無償化はちょっといきすぎていると思う。ちょっとしたことですぐに医療機関を受診したり、薬をもらっておくといったことを耳にします。子どもに対する環境だけを考えると良くなっていると思うが、家族が住みやすいかどうかを考えると違う気がする。 ・もう少し、小児科を増やしてほしい。 	14
<p>健診の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診を無料にしてほしい。補助券だけでは不足。 ・2歳半健診の際も体重、身長等の測定があると嬉しいです。 	3

(11) 地域のつながり、協力等について

カテゴリと主な意見	件数
<p>地域のつながり、協力等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は近所に子どものお友達とその親も家族ぐるみでお付き合い出来る家族ができ、助け合えています。 ・子ども達と市のイベントに参加する事が増えて、いつも楽しんでいます。 ・共生社会に向けて、小さい頃から色々な人(高齢者、障がい者等)と定期的に触れ合える機会があると良いと思います。子ども食堂など地域の中の居場所が充実してくると良いと思います。 ・市が子育て支援に力を入れていても、地域住民が理解していないと、子育てしやすいと言えない。(マンションや保育園・公園といった子どもが集まる場所に対してうるさいとクレームをいれる)もちろん、子どもへ静かにしようという教育は必要かもしれないが、ある程度は寛大な気持ちを持ってほしい。 	10

(12) 子育て中の保護者の状況について

カテゴリと主な意見	件数
<p>子育てと仕事の両立について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きに出たいが育児と仕事を両立できるか不安です。どこに相談したらよいのか分かりません。 ・もう少し父親の育休取得への理解がほしい。 ・子育てしながら働ける環境を整えてほしいです。子どもが病気になると仕事を休まざるを得ないので母としても助かるし、職場にも迷惑がかからないので助かります。 ・本当は子どものためにも2～3年休職、もしくは時短を取得したいが、早く復帰するようプレッシャーがあり、難しい。もっと事業主に対して、時短や2年の育休が取りやすい環境づくりを指導してほしい。 ・3歳くらいまでの子ども連れ、もしくは在宅で働ける仕組みを作ってほしい。育休の取得中ですがスムーズに復帰出来そうもなく（前例がない）、また希望の保育園も入る事が難しい。 ・難しいとは思いますが、父親の時短勤務が実現すれば育児をもっと楽しめると思います。 	17
<p>保護者のリフレッシュ、子育て不安等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預けたいというニーズは高まっていると思います。病気や緊急でなくても、リフレッシュや子どもの遊び充実という意味でも、施設や制度が利用しやすくなるといいと思います。 ・親たちも安心して目が届き、遊ばせられ、リフレッシュ出来る場所があったら良い。 ・それぞれのイベントや通院の際は母親である私が有給休暇を取得して対応していますが、日数（有休の）が足りるか、いつも不安に思い、自分のリフレッシュのために取得することはできません。 ・子どもを預けながら講習を受けられる場所がもっと増えると良いなと思いました。以前、公民館で受けた「ママ塾」は自分の育児の糧にもなり、リフレッシュにもなったのでとてもよかったです。 ・子どものために子育ての環境や支援をして、色々な事業を利用したいと思っておりますが、自分（母）が、そのような場所へ行く勇気がなく（つらい気持ちになります。）この6年間、これでいいのかと思いながら子育てしてまいりました。子どもだけではなく、何か親のための事業があれば、もっと子育てに力が入ります。 ・教育保育の環境が充実しても、子の親の考え方、家庭環境によって子どもへの虐待や偏った子育ての（育ちの過程）価値観が生じます。子にとって安心、安全かつその子らしさを大切にしたい子育てができるよう、子を持つ親や（子を持ちたい方）などへの教育も必要です。 	27
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税が10%になることにより、家計の負担が増える可能性が高いと思います。我が家も子ども3人目を考えておりますが、家計のことを考えると躊躇してしまいます。なので、今よりも、もっと子どもを産みやすく育てやすい対策を増やしていただきたいです。 	3

(13) その他

カテゴリと主な意見	件数
<p>市政について</p> <ul style="list-style-type: none">・中高一貫の学校を厚木市内にも設けてほしいと考えています。・今後とも一層の教育・保育環境の充実に向けての政策に期待しております。・特別な理由（転勤など）がない限りは厚木に住んでいたいと思うし、歳をとって子どもの手が離れたら、若いお母さん達のサポートができたらと思います。・厚木市が子育てに力を入れて支援してくれているのを感じますが、やはり少子化になっているので「近所で」というのがなかなか満たされず、難しい問題だと感じます。・いつも、子どもたちや保護者のためにいろいろと考え、支援していただき、ありがとうございます。今後も、より良い教育・保育環境の充実を期待しています。・子ども食堂を作ってほしい。あれば利用したい。協力もしたい。・子どもの環境に、もっと力を入れてほしいです。子どもが楽しめる場所を提供してほしいです。	40
<p>アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケート項目が多かったです。夜な夜な回答しました。・このアンケートはインターネット等では実施できないのでしょうか?人件費や郵送費等税金のムダ使いのような気がします。そして、このアンケートにそれほどの意味があるのかも疑問です。・もう少しシンプルなアンケートにしないと、回収率が低いのでは。回収率の高くないアンケートを基に政策を練るのだとしたら問題だと思う。	13

2 就学児童

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

上段：件数 下段：構成比(%)

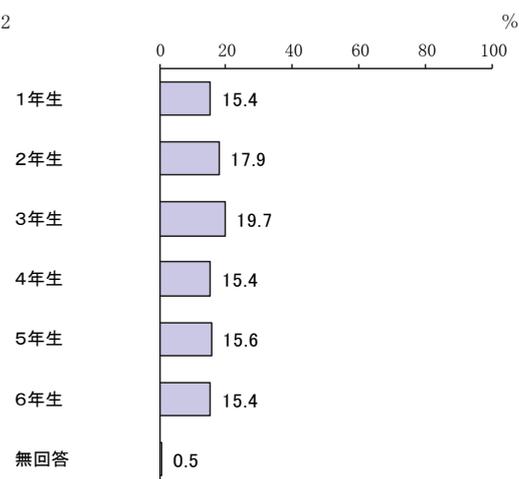
全体	厚木北	厚木南	依知北	依知南	睦合北	睦合南	睦合西	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	緑ヶ丘	愛甲	森の里	無回答
842	92	61	62	44	29	67	26	97	46	15	149	43	17	36	27	31
100.0	10.9	7.2	7.4	5.2	3.4	8.0	3.1	11.5	5.5	1.8	17.7	5.1	2.0	4.3	3.2	3.7

(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

「3年生」の割合が19.7%と最も高く、次いで「2年生」の割合が17.9%、「5年生」の割合が15.6%となっています。

回答者数 = 842

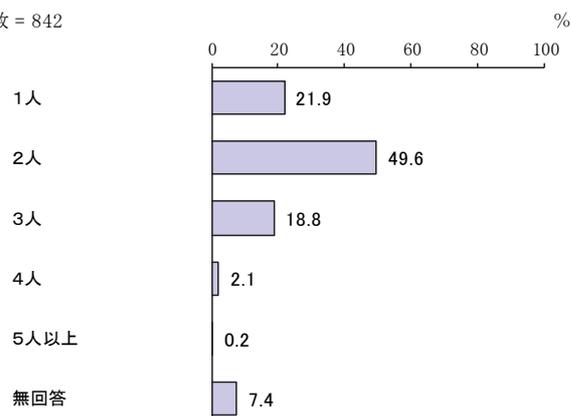


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

ア. きょうだい数

「2人」の割合が49.6%と最も高く、次いで「1人」の割合が21.9%、「3人」の割合が18.8%となっています。

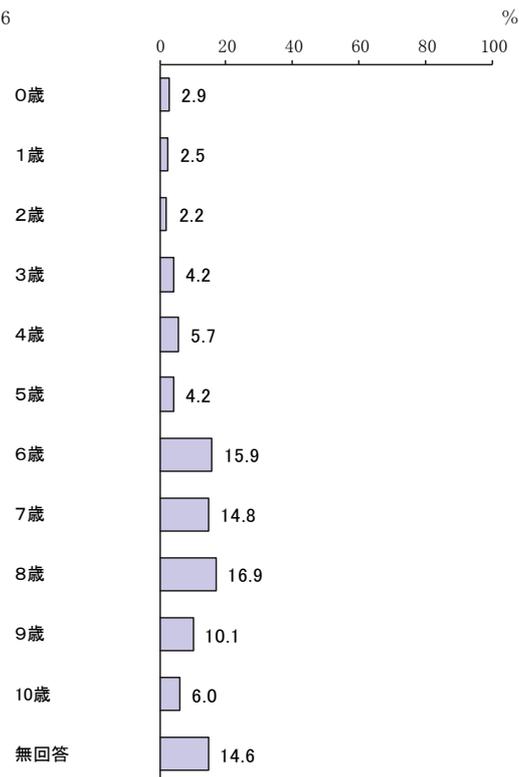
回答者数 = 842



イ. 末子の年齢

「8歳」の割合が16.9%と最も高く、次いで「6歳」の割合が15.9%、「7歳」の割合が14.8%となっています。

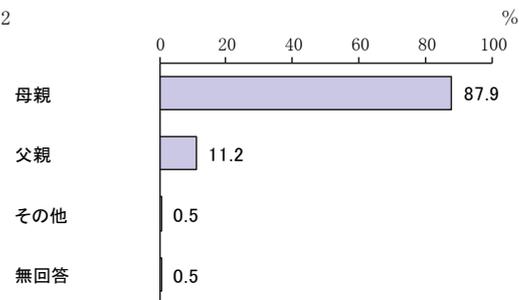
回答者数 = 596



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が87.9%、「父親」の割合が11.2%となっています。

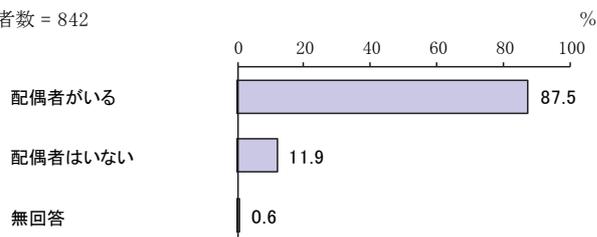
回答者数 = 842



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が87.5%、「配偶者がいない」の割合が11.9%となっています。

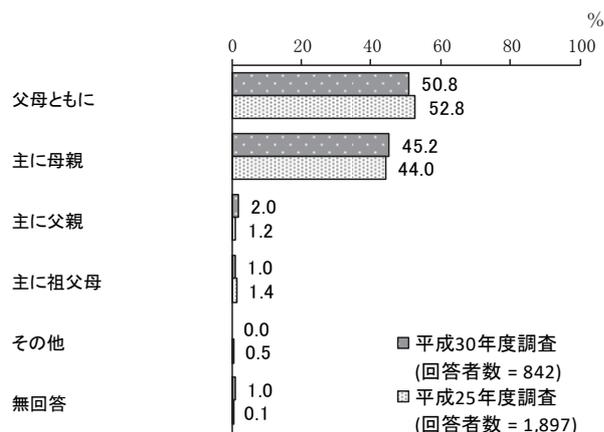
回答者数 = 842



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

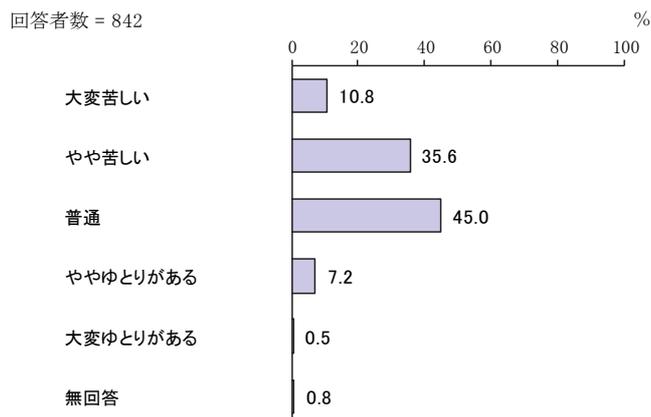
「父母ともに」の割合が50.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が45.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



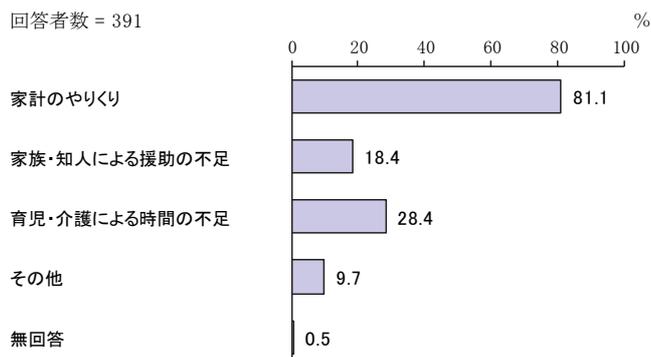
問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「普通」の割合が45.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が35.6%、「大変苦しい」の割合が10.8%となっています。



問8 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家計のやりくり」の割合が81.1%と最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」の割合が28.4%、「家族・知人による援助の不足」の割合が18.4%となっています。

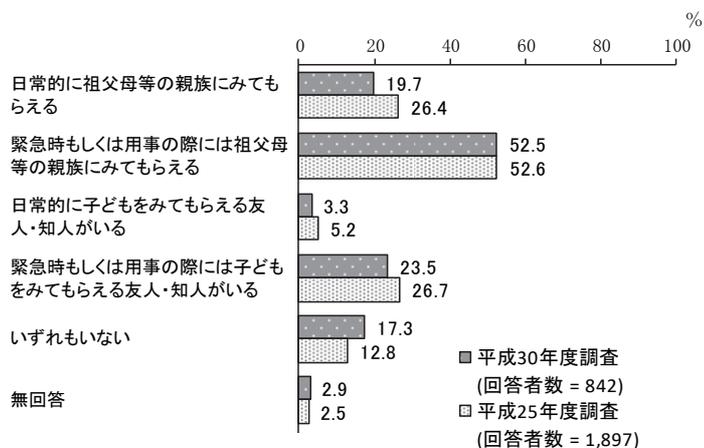


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

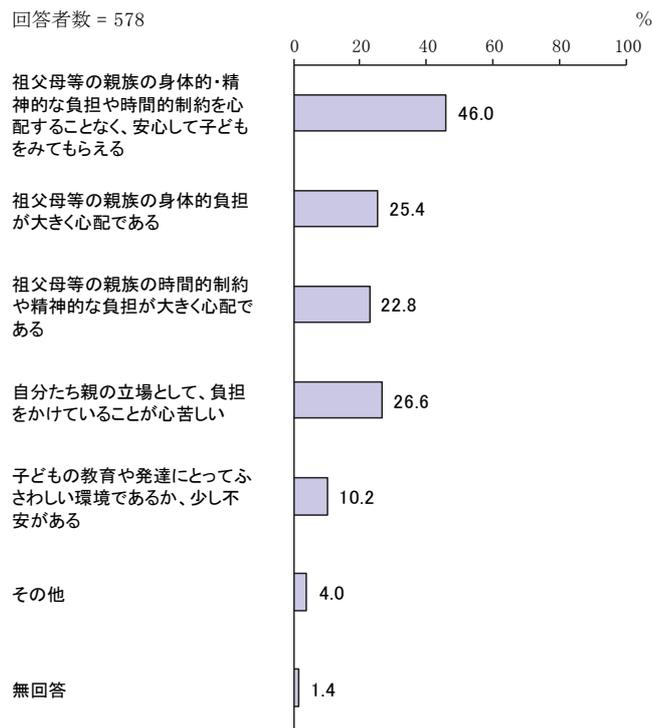
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が52.5%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が23.5%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が19.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が6.7ポイント減少しています。一方、「いずれもない」の割合が増加しています。



問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が46.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけることが心苦しい」の割合が26.6%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が25.4%となっています。

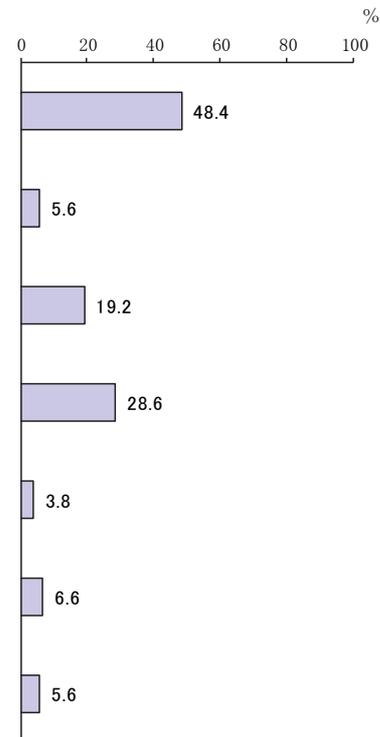


問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が48.4%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が28.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が19.2%となっています。

回答者数 = 213

- 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答

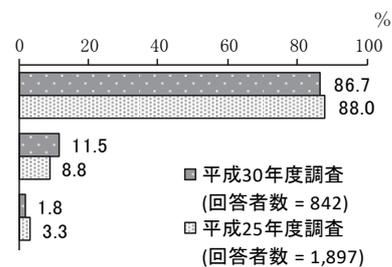


問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が86.7%、「いない／ない」の割合が11.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

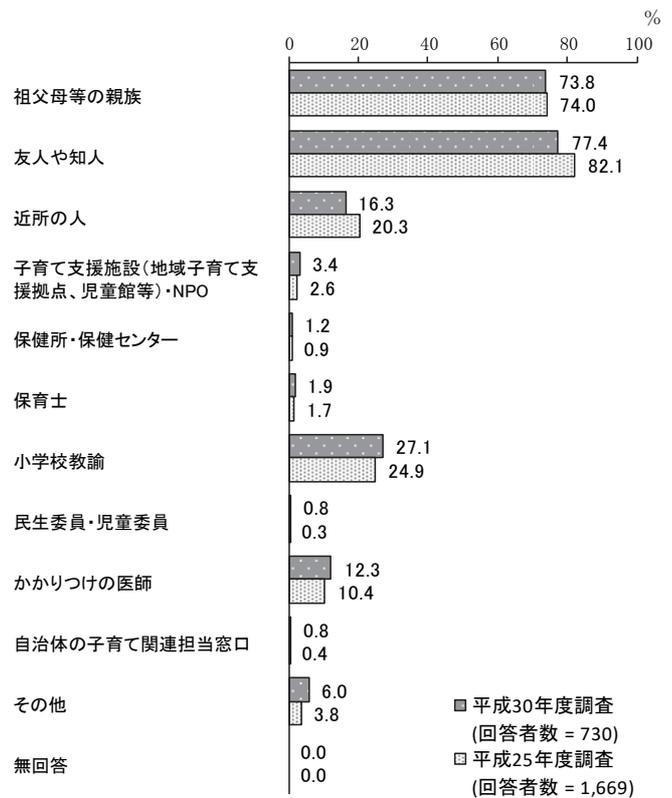
- いる／ある
- いない／ない
- 無回答



問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が77.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が73.8%、「小学校教諭」の割合が27.1%となっています。

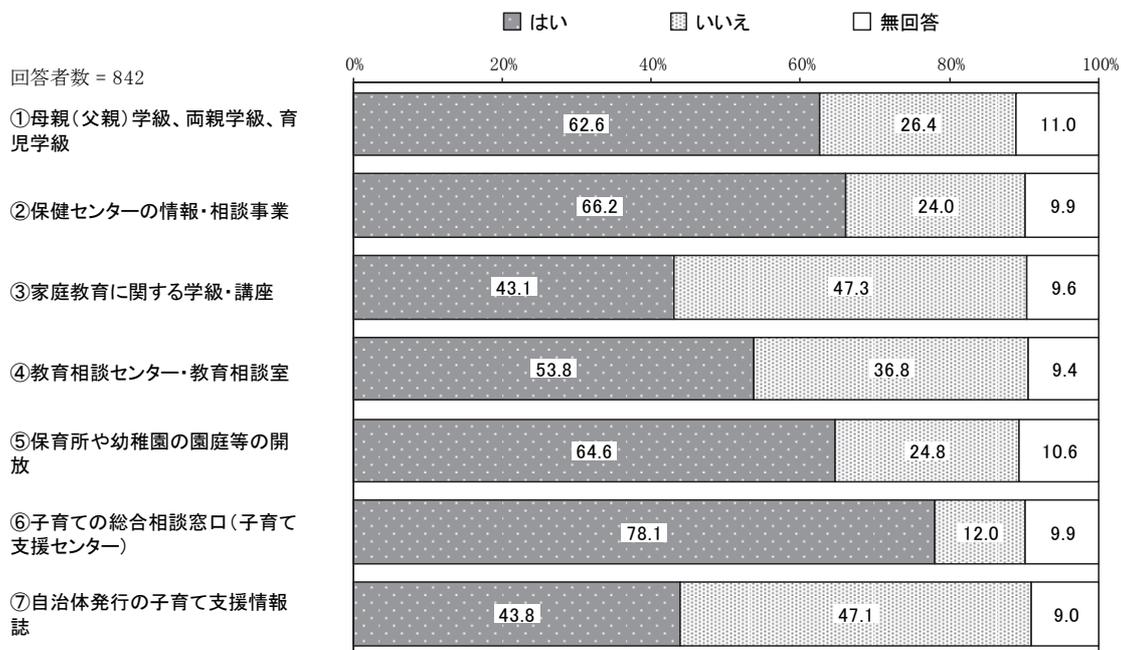
平成25年度調査と比較すると、「友人や知人」、「近所の人」の割合が減少しています。



問 11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

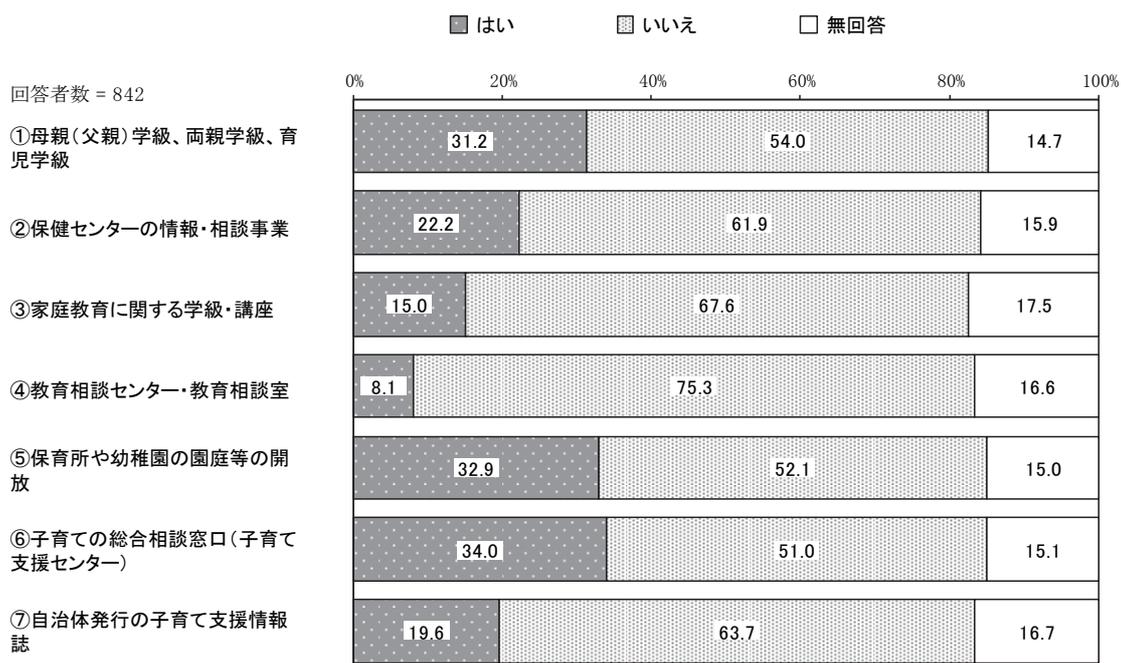
A. 知っている

『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』で「はい」の割合が、『③家庭教育に関する学級・講座』『⑦自治体発行の子育て支援情報誌』で「いいえ」の割合が高くなっています。



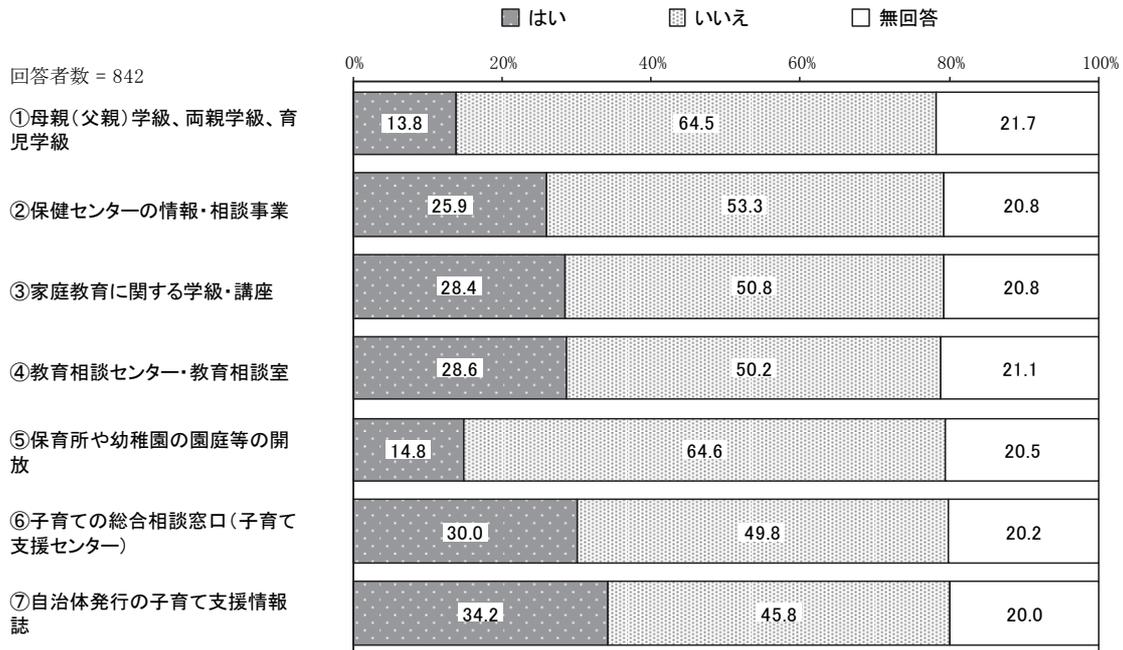
B. これまでに利用したことがある

『⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）』で「はい」の割合が、『④教育相談センター・教育相談室』で「いいえ」の割合が高くなっています。



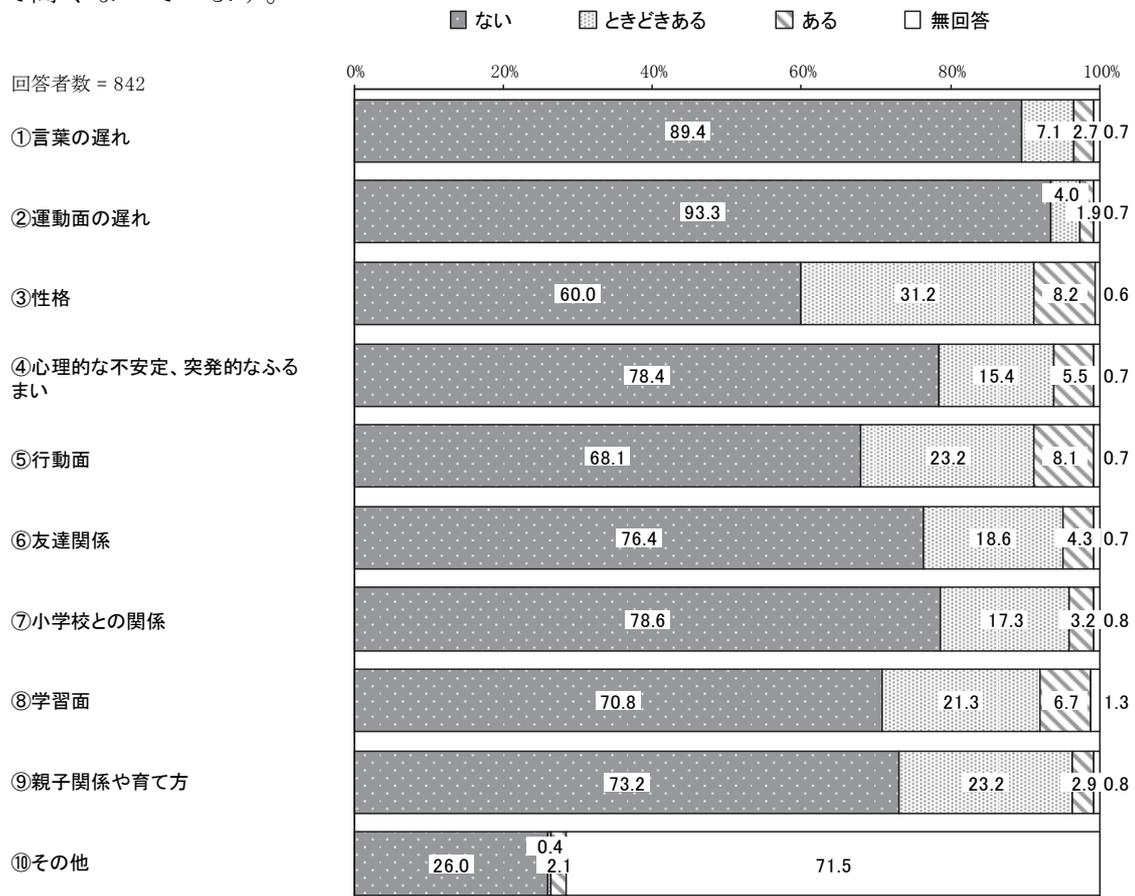
C. 今後利用したい

『⑦自治体発行の子育て支援情報誌』で「はい」の割合が、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 12 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

心配なことが「ある」と「ときどきある」と回答した割合は、『③性格』『⑤行動面』『⑧学習面』で高くなっています。



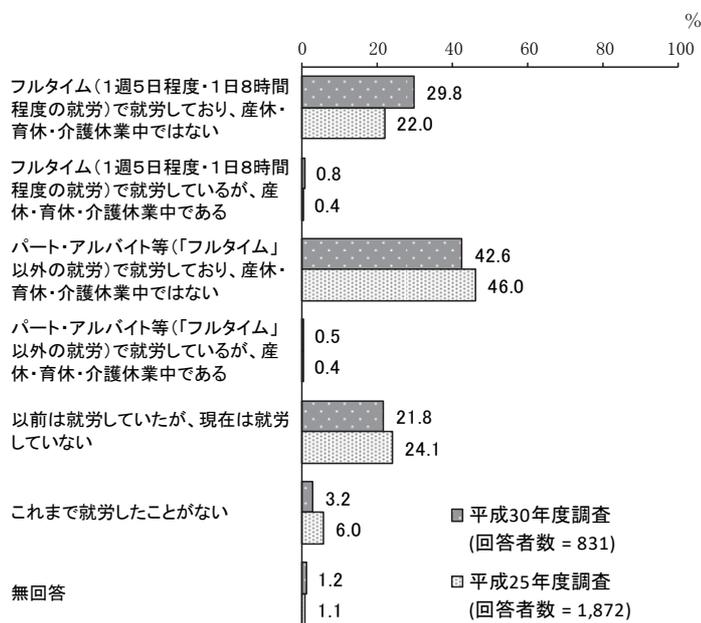
(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が21.8%となっています。

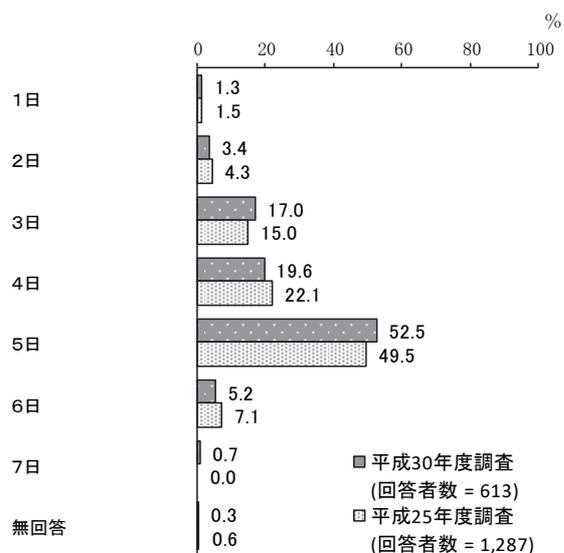
平成25年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が7.8ポイント増加しています。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



ア. 1週当たりの就労日数

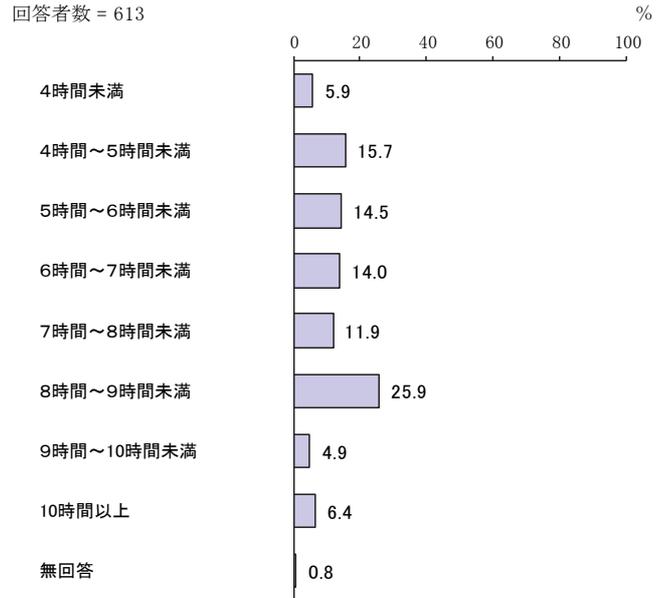
「5日」の割合が52.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が19.6%、「3日」の割合が17.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



イ. 1日当たりの就労時間

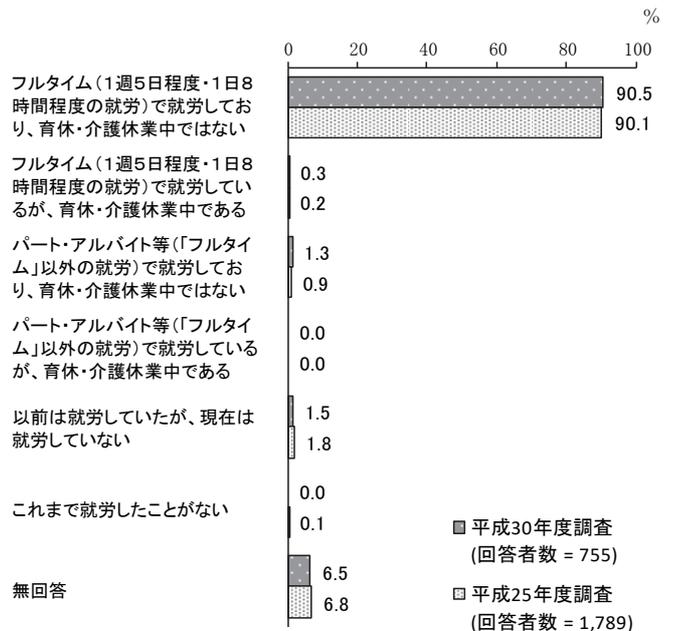
「8時間～9時間未満」の割合が25.9%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が15.7%、「5時間～6時間未満」の割合が14.5%となっています。



(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が90.5%と最も高くなっています。

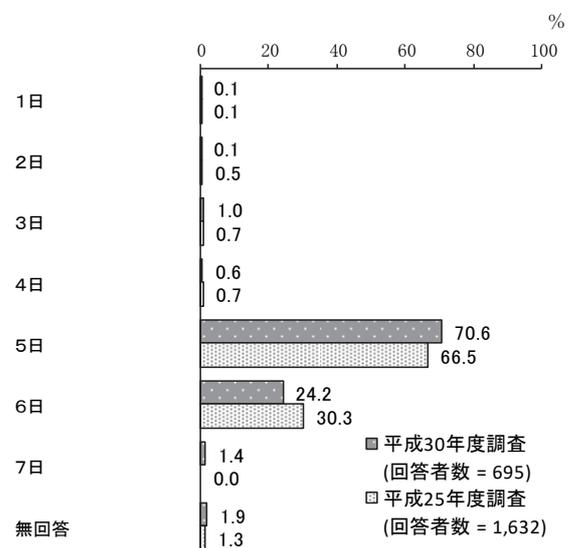
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 1週当たりの就労日数

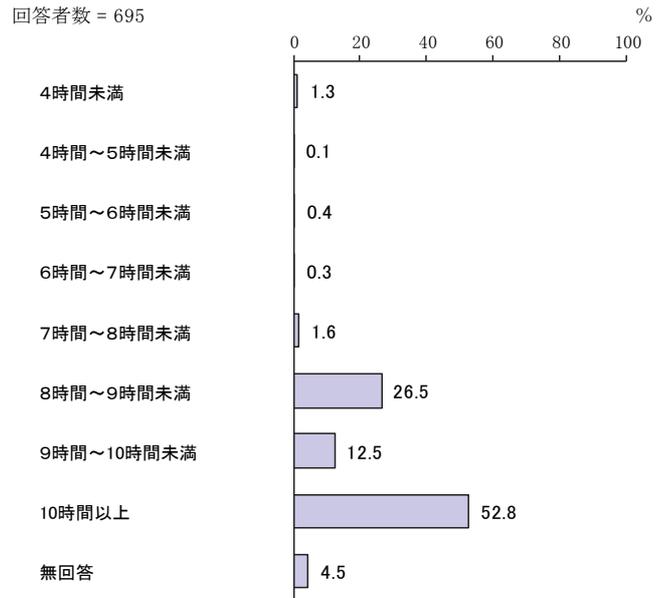
「5日」の割合が70.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が24.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が6.1ポイント減少しています。



イ. 1日当たりの就労時間

「10 時間以上」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「8 時間～9 時間未満」の割合が 26.5%、「9 時間～10 時間未満」の割合が 12.5%となっています。

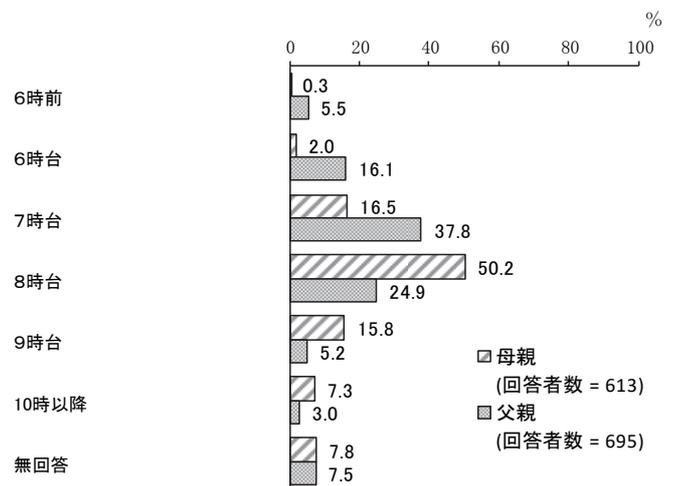


(1) - 2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

ア. 家を出る時刻

母親では、「8 時台」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「7 時台」の割合が 16.5%、「9 時台」の割合が 15.8%となっています。

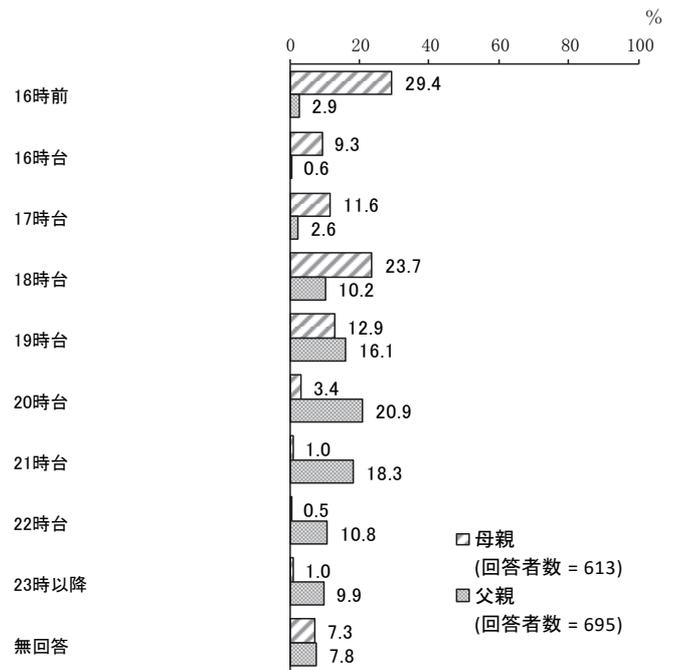
父親では、「7 時台」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 24.9%、「6 時台」の割合が 16.1%となっています。



イ. 帰宅時刻

母親では、「16 時前」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 23.7%、「19 時台」の割合が 12.9%となっています。

父親では、「20 時台」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「21 時台」の割合が 18.3%、「19 時台」の割合が 16.1%となっています。

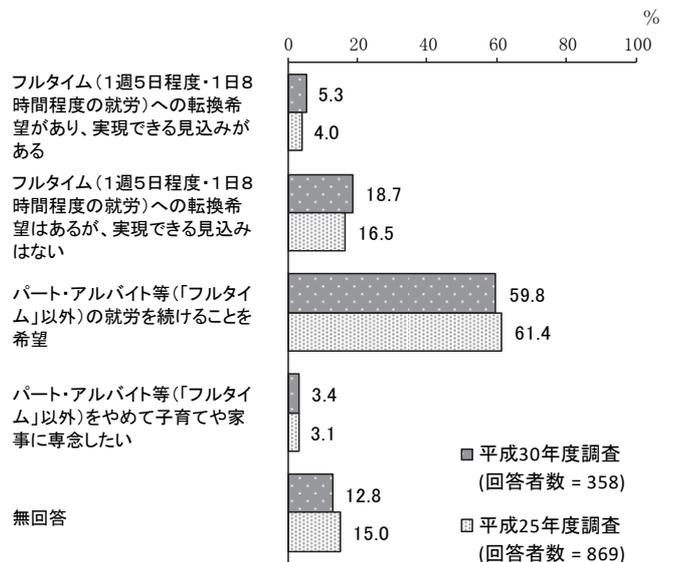


問 14 問 13 の (1) または (2) で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 18.7%となっています。

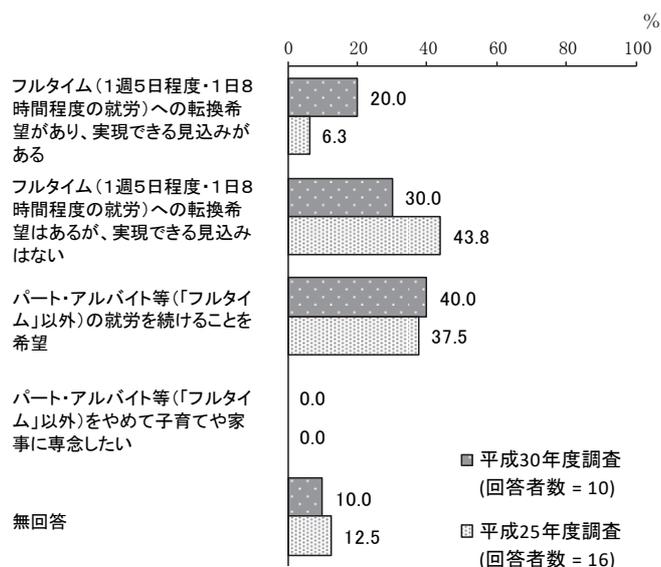
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 30.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 20.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 13.7 ポイント増加しています。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 13.8 ポイント減少しています。

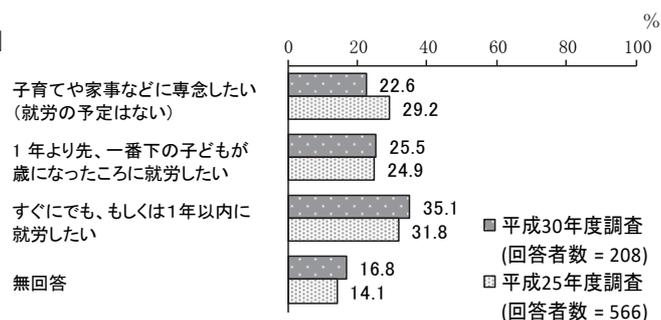


問 15 問 13 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 16 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」の割合が 25.5%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 22.6%となっています。

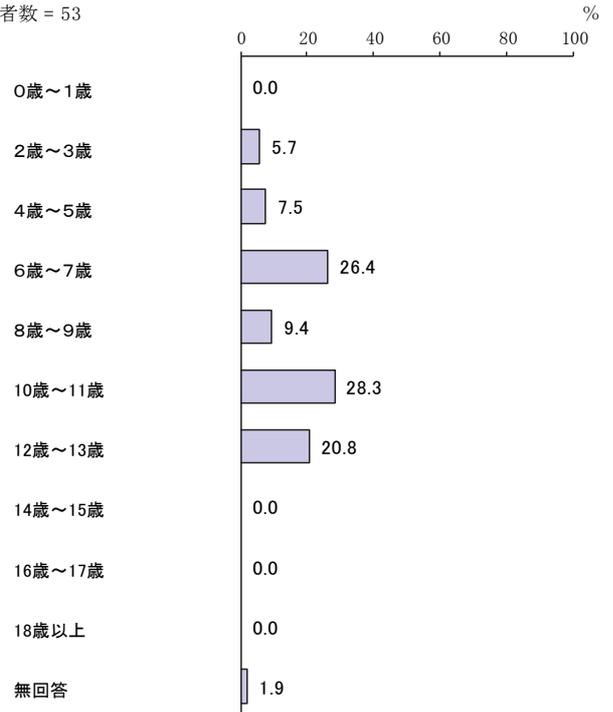
平成 25 年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 6.6 ポイント減少しています。



ア. 就労希望するときの末子の年齢

「10歳～11歳」の割合が28.3%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が26.4%、「12歳～13歳」の割合が20.8%となっています。

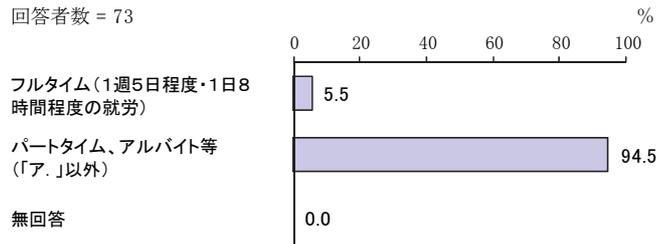
回答者数 = 53



イ. 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が5.5%、「パートタイム、アルバイト等（「ア。」以外）」の割合が94.5%となっています。

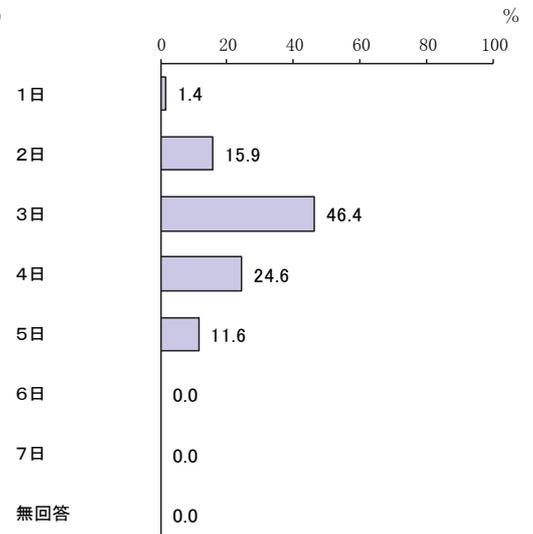
回答者数 = 73



①パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数

「3日」の割合が46.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が24.6%、「2日」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 69

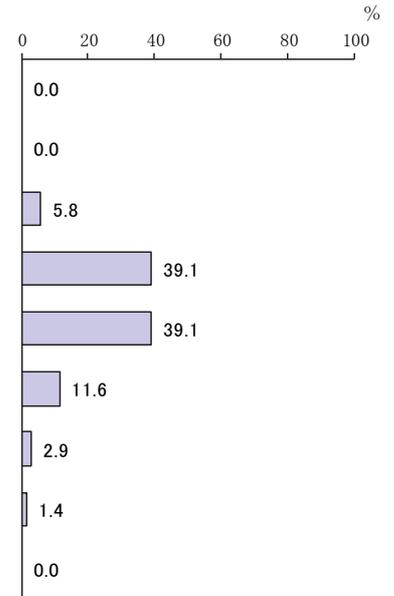


②パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間

「4時間」、「5時間」の割合が39.1%と最も高く、次いで「6時間」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 69

1時間
2時間
3時間
4時間
5時間
6時間
7時間
8時間以上
無回答



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が27.3%と最も高くなっています。

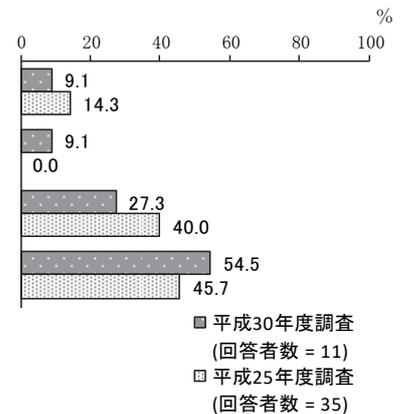
平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合が9.1ポイント増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい
(就労の予定はない)

1年より先、一番下の子どもが
〇歳になったところに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に
就労したい

無回答



ア. 就労希望するときの末子の年齢

「10歳～11歳」が1件となっています。

イ. 希望する就労形態

「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が2件、「パートタイム、アルバイト等 (「ア。」以外)」が1件となっています。

①パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数

「4日」が1件となっています。

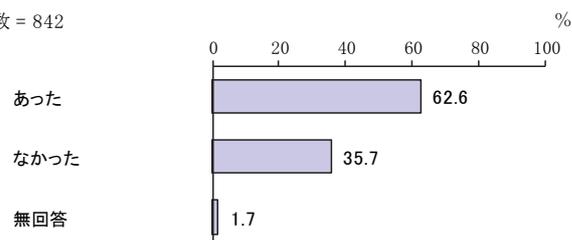
②パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間

「6時間」が1件となっています。

(5) 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。

「あった」の割合が62.6%、「なかった」の割合が35.7%となっています。 回答者数 = 842



【学年別】

学年別でみると、他に比べ、『3年生』、『4年生』で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
1年生	130	60.0	36.9	3.1
2年生	151	64.2	35.8	—
3年生	166	66.3	33.1	0.6
4年生	130	66.9	31.5	1.5
5年生	131	55.7	42.0	2.3
6年生	130	60.8	36.2	3.1

【母親の就労状況別】

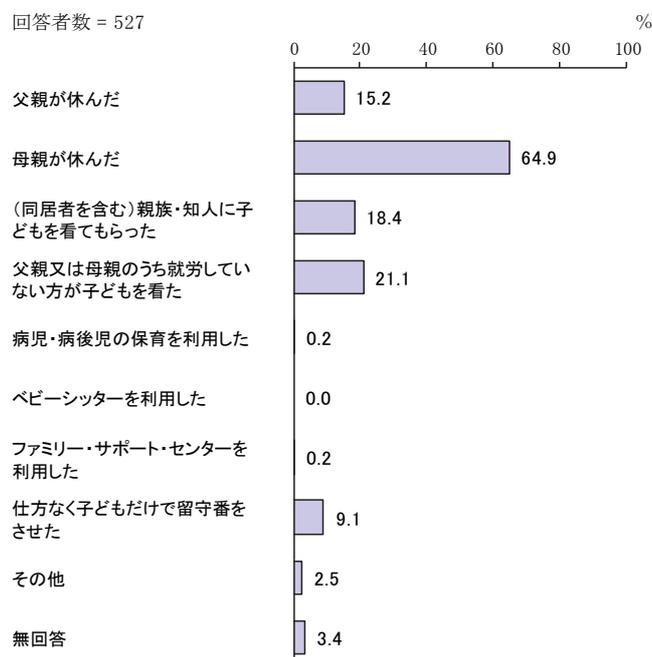
母親の就労状況別でみると、他に比べ、『パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』、『フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』、『これまで就労したことがない』で「あった」の割合が、『フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である』で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	248	64.5	34.7	0.8
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	14.3	85.7	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	354	65.5	33.6	0.8
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	100.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	181	58.0	38.7	3.3
これまで就労したことがない	27	63.0	33.3	3.7

問 16-1 宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。

「母親が休んだ」の割合が64.9%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が21.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が18.4%となっています。



【1年間の対処方法別】

1年間の対処方法別でみると、他に比べ、『ア.父親が休んだ』で「1日」の割合が、『ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった』で「2日～3日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア.父親が休んだ	80	45.0	31.3	10.0	1.3	3.8	3.8	5.0
イ.母親が休んだ	342	25.7	37.4	16.7	8.5	6.7	2.0	2.9
ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	97	26.8	48.5	11.3	2.1	6.2	1.0	4.1
エ.父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	111	17.1	30.6	18.0	10.8	16.2	4.5	2.7
オ.病児・病後児の保育を利用した	1	-	-	-	-	-	-	100.0
カ.ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
キ.ファミリー・サポート・センターを利用した	1	100.0	-	-	-	-	-	-
ク.仕方なく子どもだけで留守番をさせた	48	37.5	43.8	6.3	2.1	2.1	-	8.3
ケ.その他	13	-	23.1	15.4	15.4	-	-	46.2

【学年別】

学年別でみると、全ての学年で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
1年生	78	11.5	60.3	14.1	28.2	—	—	—	6.4	1.3	1.3
2年生	97	16.5	62.9	17.5	25.8	—	—	—	4.1	3.1	4.1
3年生	110	14.5	69.1	20.9	20.0	—	—	0.9	8.2	2.7	2.7
4年生	87	20.7	65.5	13.8	18.4	—	—	—	9.2	1.1	3.4
5年生	73	20.5	60.3	23.3	17.8	—	—	—	13.7	4.1	6.8
6年生	79	6.3	68.4	21.5	16.5	1.3	—	—	15.2	2.5	2.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、『パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない』で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。また、『以前は就労していたが、現在は就労していない』、『これまで就労したことがない』で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	160	29.4	76.3	28.8	4.4	0.6	—	0.6	10.6	0.6	3.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	232	9.9	81.0	18.5	7.3	—	—	—	12.1	4.3	2.2
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	—	75.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	105	4.8	21.0	4.8	71.4	—	—	—	2.9	—	5.7
これまで就労したことがない	17	5.9	17.6	—	64.7	—	—	—	—	5.9	5.9

問 16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

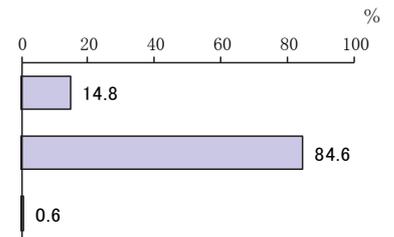
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が14.8%、「利用したいと思わない」の割合が84.6%となっています。

回答者数 = 358

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

利用したいと思わない

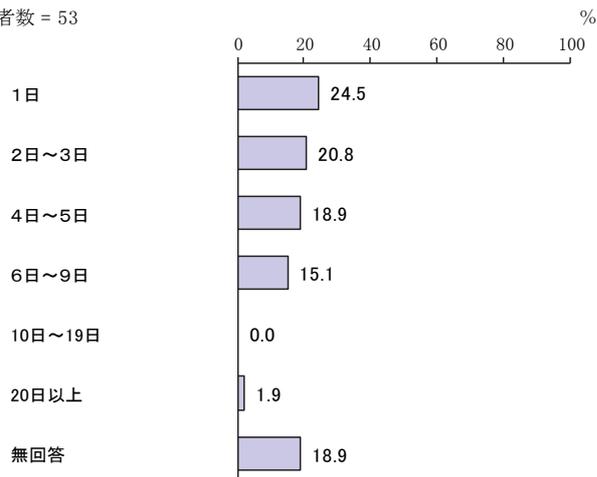
無回答



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「1日」の割合が24.5%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が20.8%、「4日～5日」の割合が18.9%となっています。

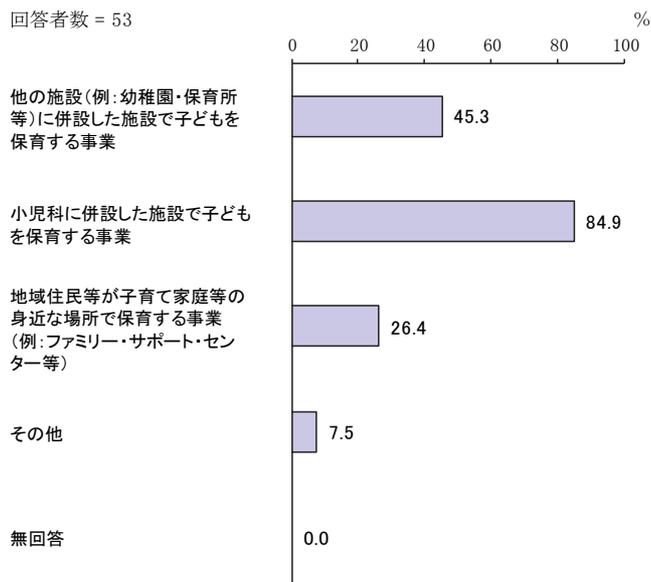
回答者数 = 53



問 16-3 問 16-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

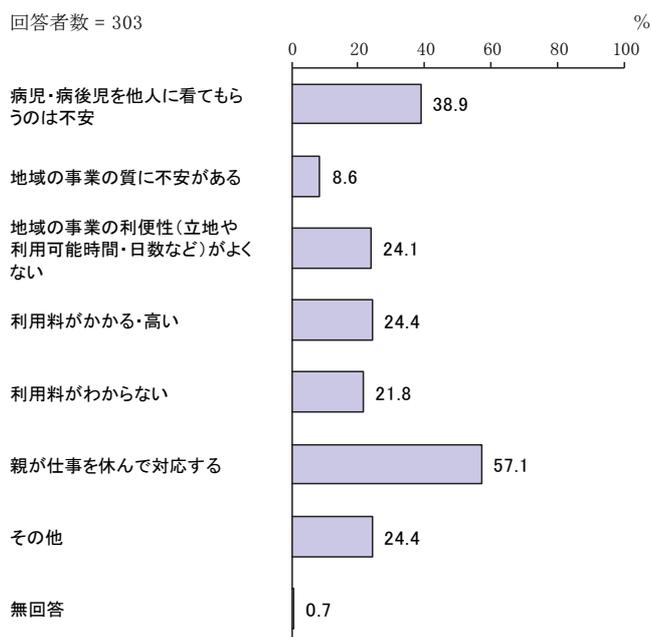
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が84.9%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が45.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 53



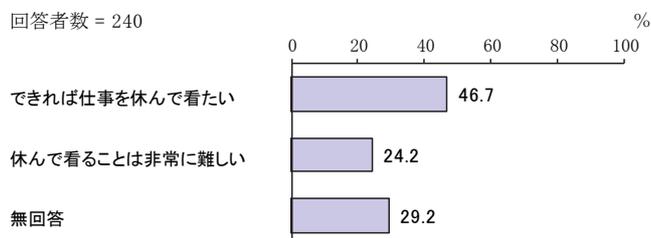
問 16-4 問 16-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 57.1% と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらおうのは不安」の割合が 38.9%、「利用料がかかる・高い」の割合が 24.4% となっています。



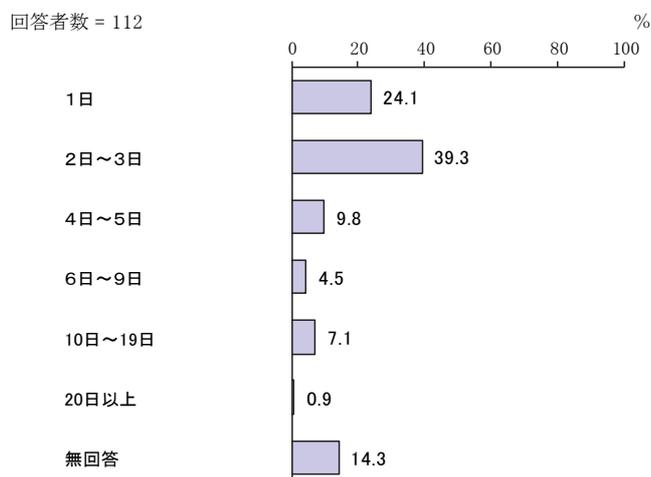
問 16-5 問 16-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した人以外で、その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 46.7%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 24.2% となっています。



仕事を休んで看たい日数

「2日～3日」の割合が 39.3% と最も高く、次いで「1日」の割合が 24.1% となっています。



問 16-6 問 16-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が51.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 58

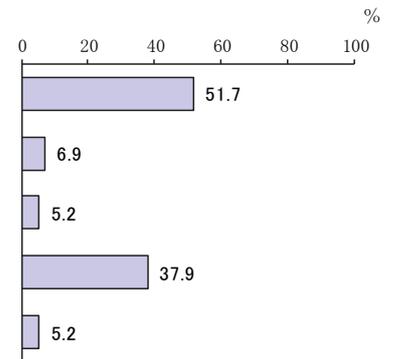
子どもの看護を理由に休みがとれない

自営業なので休めない

休暇日数が足りないので休めない

その他

無回答

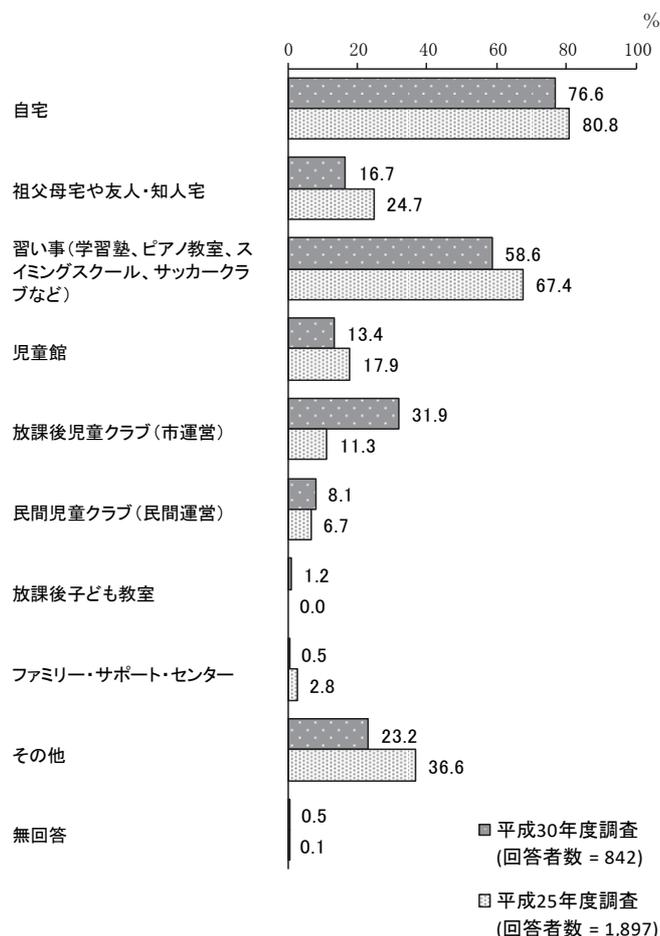


(6) 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問17 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、5・6を選んだ方は、利用している時間帯を口内に（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「自宅」の割合が76.6%と最も高く、次いで「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」の割合が58.6%、「放課後児童クラブ（市運営）」の割合が31.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（市運営）」の割合が20.6ポイント増加しています。一方、「自宅」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」、「児童館」の割合が減少しています。



【放課後の過ごし方別】

放課後の過ごし方別でみると、『4. 児童館』、『7. 放課後子ども教室』で「1日」の割合が、『6. 民間児童クラブ（民間運営）』で「5日」の割合が高くなっています。

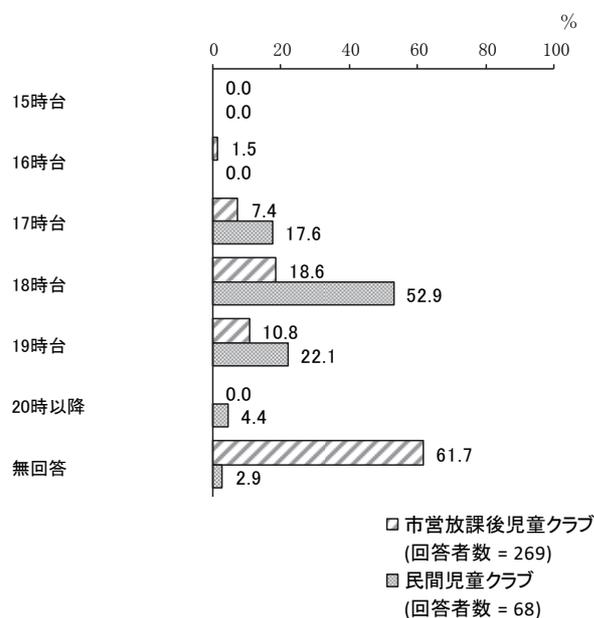
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	645	16.9	19.1	17.8	9.0	35.0	2.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅	141	44.0	27.7	8.5	6.4	11.3	2.1
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など)	493	24.9	32.5	28.8	7.9	4.9	1.0
4. 児童館	113	55.8	27.4	6.2	0.9	3.5	6.2
5. 放課後児童クラブ(市運営)	269	0.7	1.9	4.8	10.4	21.9	60.2
6. 民間児童クラブ(民間運営)	68	2.9	4.4	10.3	8.8	72.1	1.5
7. 放課後子ども教室	10	50.0	10.0	-	10.0	-	30.0
8. ファミリーサポート・センター	4	-	25.0	-	25.0	-	50.0
9. その他	195	33.3	35.4	17.9	4.6	6.2	2.6

市営放課後児童クラブ・民間児童クラブ 利用終了時刻

市営放課後児童クラブでは、「18 時台」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 10.8%となっています。

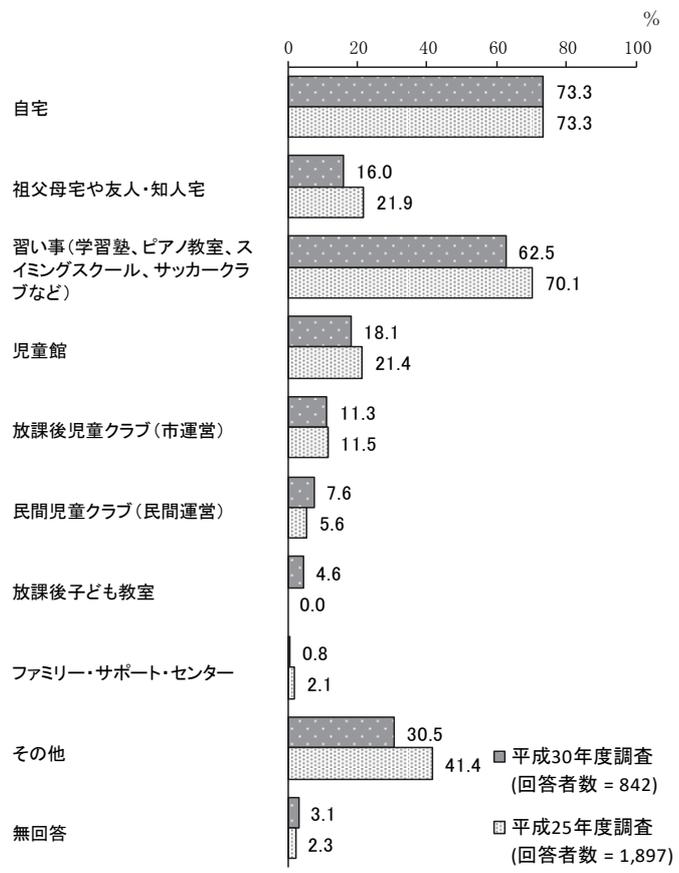
民間児童クラブでは、「18 時台」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 22.1%、「17 時台」の割合が 17.6%となっています。



問 18 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号にすべてに○をつけ、それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、5・6を選んだ方は、利用したい時間帯を口内に（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が73.3%と最も高く、次いで「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」の割合が62.5%、「児童館」の割合が18.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）」、「児童館」の割合が減少しています。



【放課後の過ごし方別】

放課後の過ごし方別でみると、『2. 祖父母宅や友人・知人宅』『4. 児童館』で「1日」の割合が、『6. 民間児童クラブ（民間運営）』で「5日」の割合が高くなっています。

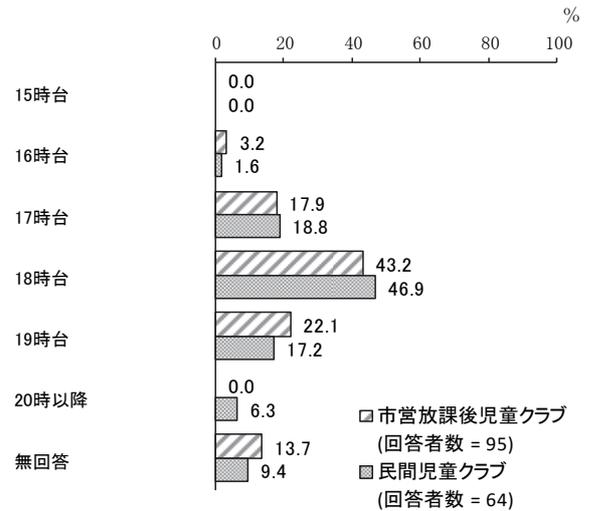
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	617	18.0	23.2	19.6	6.6	27.6	5.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	135	50.4	25.2	8.9	2.2	9.6	3.7
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	526	21.3	37.1	27.9	7.0	3.6	3.0
4. 児童館	152	50.0	28.3	11.2	0.7	2.0	7.9
5. 放課後児童クラブ(市運営)	95	4.2	6.3	10.5	28.4	44.2	6.3
6. 民間児童クラブ(民間運営)	64	-	14.1	7.8	10.9	59.4	7.8
7. 放課後子ども教室	39	48.7	23.1	10.3	-	2.6	15.4
8. ファミリーサポート・センター	7	14.3	71.4	-	-	-	14.3
9. その他	257	33.9	33.1	17.1	2.7	8.2	5.1

市営放課後児童クラブ・民間児童クラブ 利用終了時刻

市営放課後児童クラブでは、「18 時台」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 22.1%、「17 時台」の割合が 17.9%となっています。

民間児童クラブでは、「18 時台」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 18.8%、「19 時台」の割合が 17.2%となっています。

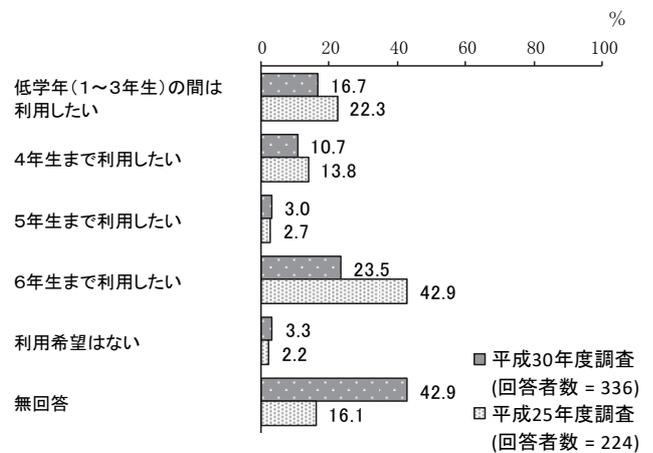


問 19 問 17 または問 18 で「5. 放課後児童クラブ (市運営)」「6. 民間児童クラブ (民間運営)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、(1)、(2)、(3)それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください (利用には、一定の利用料がかかります)。また、利用したい日数及び時間帯を口内に (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください (数字は一枠に一字)。

(1) 平日

「6 年生まで利用したい」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「低学年 (1～3 年生) の間は利用したい」の割合が 16.7%、「4 年生まで利用したい」の割合が 10.7%となっています。

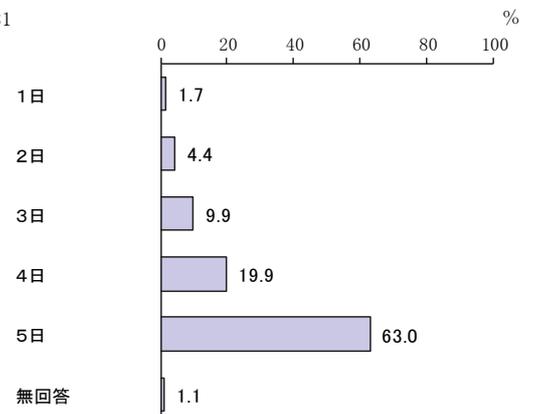
平成 25 年度調査と比較すると、「6 年生まで利用したい」の割合が最も減少しています。



ア. 週当たりの日数

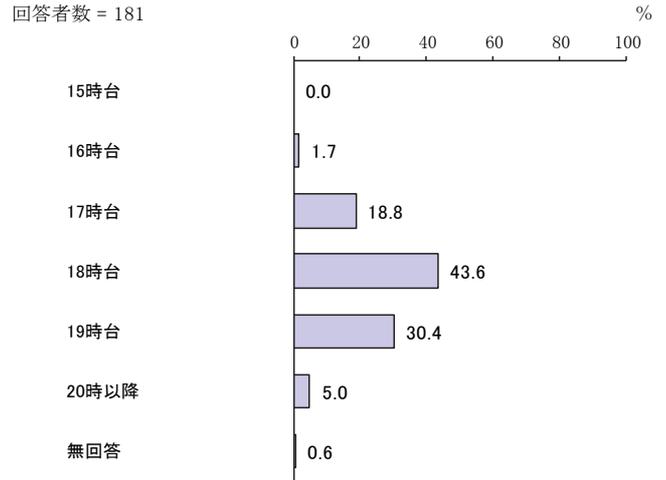
「5 日」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「4 日」の割合が 19.9%となっています。

回答者数 = 181



イ. 利用終了時刻

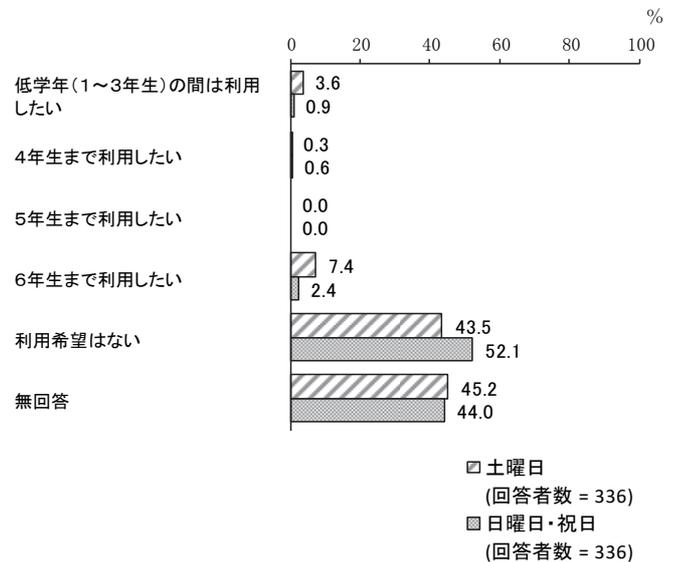
「18 時台」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 30.4%、「17 時台」の割合が 18.8%となっています。



(2) 土曜日、日曜日・祝日

土曜日では、「利用希望はない」の割合が 43.5%と最も高くなっています。

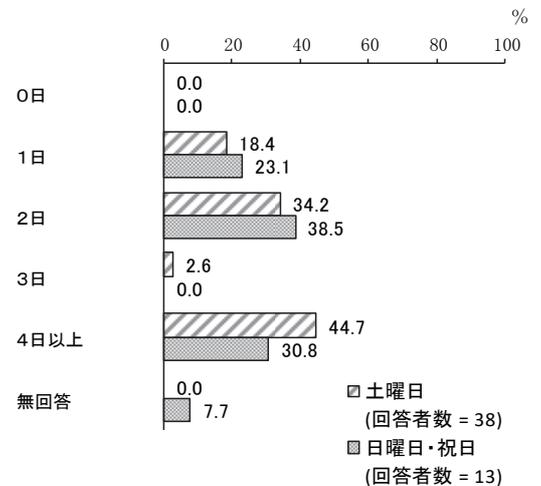
日曜日・祝日では、「利用希望はない」の割合が 52.1%と最も高くなっています。



ア. 1ヶ月あたりの利用日数

土曜日では、「4日以上」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 34.2%、「1日」の割合が 18.4%となっています。

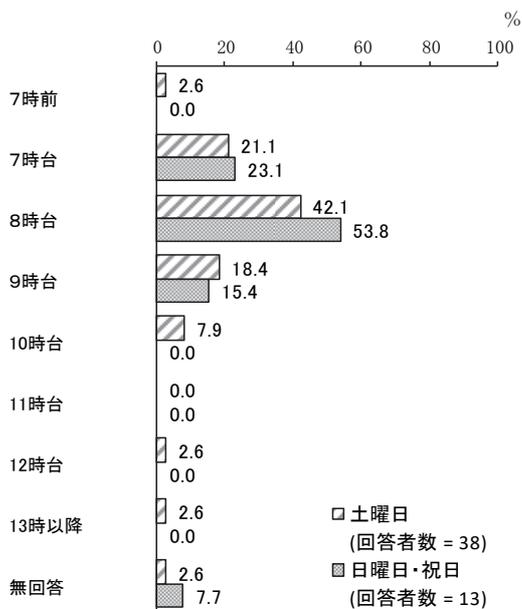
日曜日・祝日では、「2日」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「4日以上」の割合が 30.8%、「1日」の割合が 23.1%となっています。



イ. 利用開始時刻

土曜日では、「8時台」の割合が42.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が21.1%、「9時台」の割合が18.4%となっています。

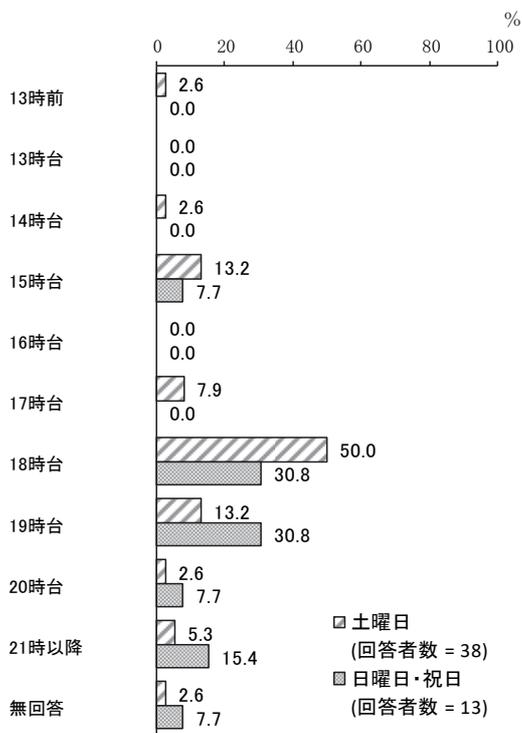
日曜日・祝日では、「8時台」の割合が53.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が23.1%、「9時台」の割合が15.4%となっています。



ウ. 利用終了時刻

土曜日では、「18時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「15時台」、「19時台」の割合が13.2%となっています。

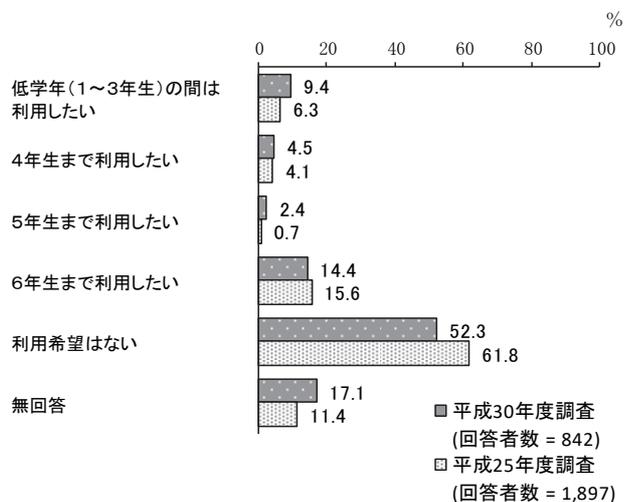
日曜日・祝日では、「18時台」、「19時台」の割合が30.8%と最も高く、次いで「21時以降」の割合が15.4%となっています。



問 20 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなど長期の休業期間中の児童クラブ（市運営・民間運営）の利用希望はありますか（事業の利用には一定の料金がかかります）。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい日数及び時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

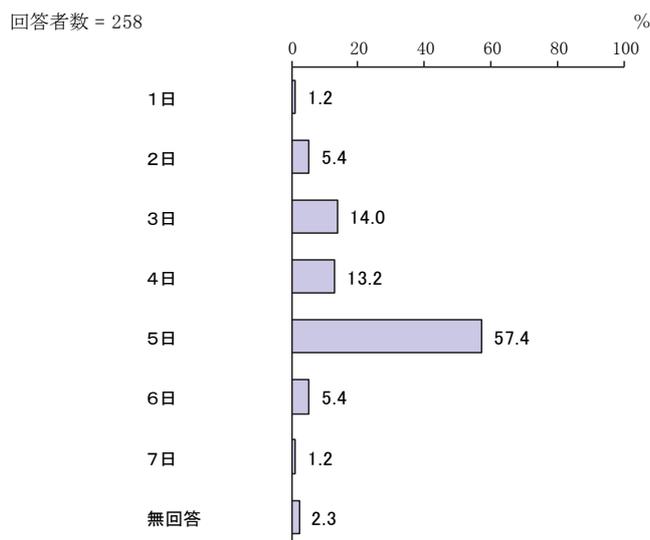
「利用希望はない」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「6年生まで利用したい」の割合が 14.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用希望はない」の割合が 9.5 ポイント減少しています。一方、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。



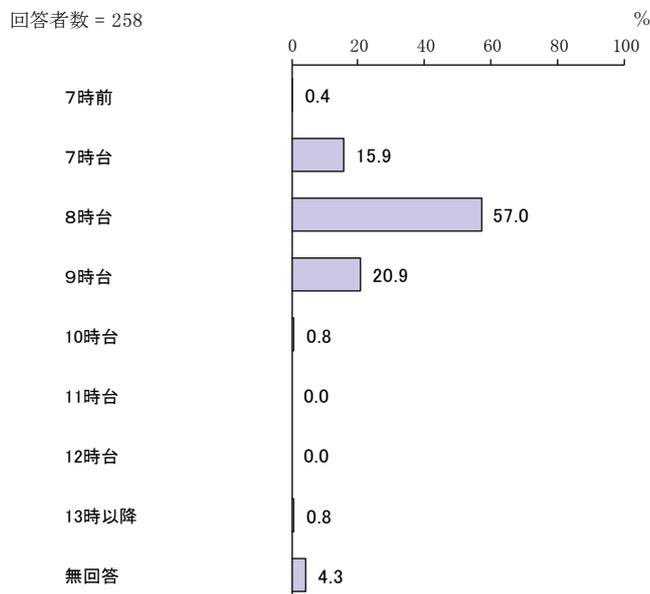
ア. 放課後児童クラブ 週当たり希望利用日数

「5日」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が 14.0%、「4日」の割合が 13.2%となっています。



イ. 利用開始時刻

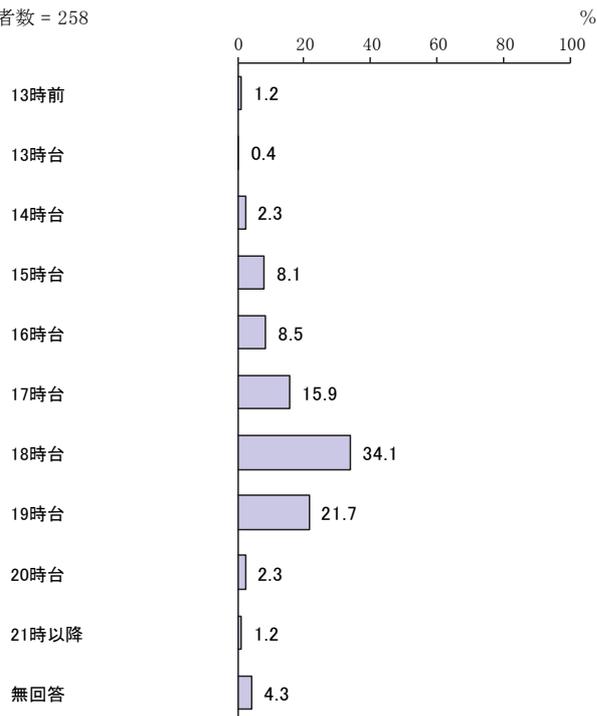
「8時台」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 20.9%、「7時台」の割合が 15.9%となっています。



ウ. 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 21.7%、「17 時台」の割合が 15.9%となっています。

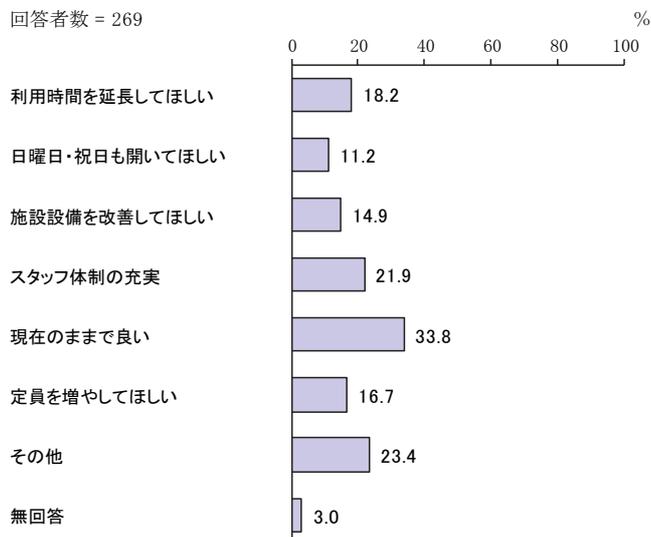
回答者数 = 258



問 21 放課後児童クラブ（市運営）を利用している、または、利用したことがある方にかかっています。放課後児童クラブ（市運営）に対して要望したいことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「現在のままで良い」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「スタッフ体制の充実」の割合が 21.9%、「利用時間を延長してほしい」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 269



問 22 放課後児童クラブ（市運営）を利用したことがない方にうかがいます。宛名のお子さんが放課後児童クラブ（市運営）を利用していない理由を次の中から1つお選びください。

「特に必要ないから（お子さんの帰る時間には大人がいる 等）」の割合が57.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 569

特に必要ないから（お子さんの帰る時間には大人がいる 等）

保護者またはお子さんが児童クラブを利用したくないから

時間が間に合わないから

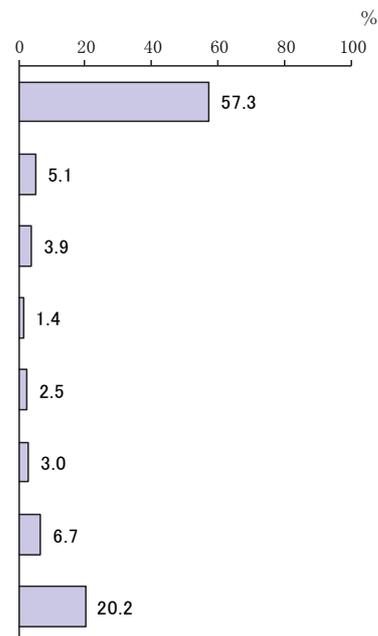
児童クラブの存在を知らない

児童クラブに入所できなかった

民間運営の児童クラブを利用したかった

その他

無回答

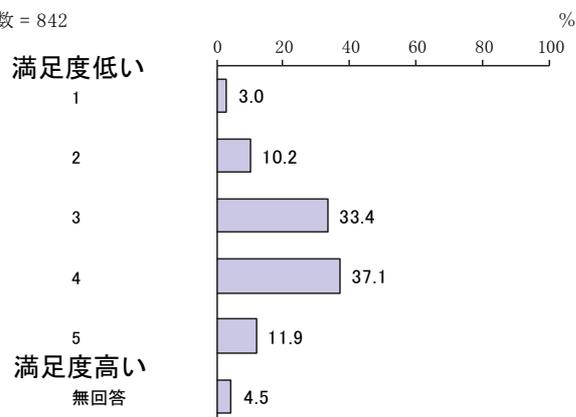


(7) すべての方に、厚木市の子育て環境について

問 23 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「4」の割合が37.1%と最も高く、次いで「3」の割合が33.4%、「5」の割合が11.9%となっています。

回答者数 = 842



問 23-1 厚木市の子育て支援事業で役に立った、満足度の高い事業は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

「子ども医療費助成」の件数が632件と最も高く、次いで「紙おむつ等の支給」の件数が484件、「子育てパスポートAYUCO」の件数が322件となっています。

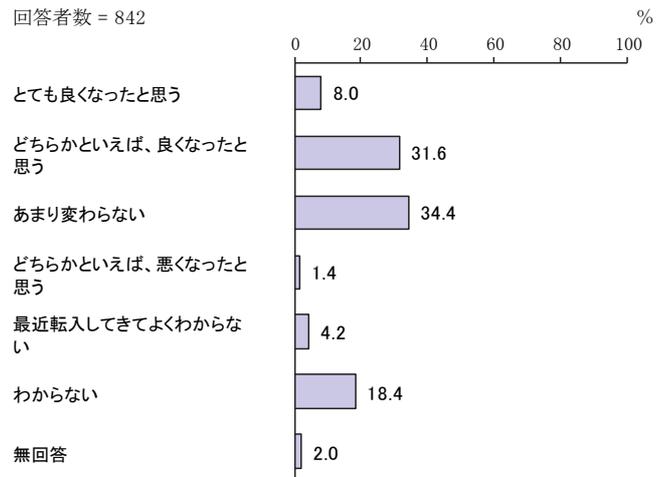
単位：件

回答者数 (件)	放課後児童クラブの充実	放課後子ども教室の充実	児童館の充実	子ども科学館の充実	幼稚園、認定こども園、保育所の充実	小規模保育、家庭的保育の充実	病児・病後児保育	幼稚園送迎ステーション	子ども医療費助成	紙おむつ等の支給	子育て支援センター「もみじの手」	託児室わたくも(一時預かり)	ファミリー・サポート・センター	ほっとタイムサポーター	移動子育てサロン	児童館おひさまタイム	療育相談センター「まめの木」	赤ちゃんの駅「ベベリア」	子育てパスポートAYUCO	子育てガイド「おおきくなあれ」	その他	無回答
842	170	40	255	162	187	17	27	18	632	484	213	37	66	4	67	118	39	14	322	58	13	42

問 24 以前（5年前程度）に比べ、厚木市の子育て環境は良くなったと思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あまり変わらない」の割合が34.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば、良くなったと思う」の割合が31.6%、「わからない」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 842



(8) 自由記述

問 25 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※主な意見は、ご記入いただいた内容をそのまま記載しています。

(1) 幼稚園について

カテゴリと主な意見	件数
幼稚園の料金見直し <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園（認定こども園）の保育料や私立高校の就学支援金など、フルパートタイマーの人とたくさん働けない人では、保育料、給食費など不公平感が強い。 ・子どもが小さい時は、それなりに環境が良いと思っていましたが、収入差による幼稚園への支払い額の違いは特に不満を感じました。 	3
幼稚園の増設 <ul style="list-style-type: none"> ・公立の幼稚園を作ってもらいたいです。 	2
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園でバス、通園できる所が少なかった。 	1

(2) 保育所について

カテゴリと主な意見	件数
入所しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・保育園待機していたが、上の子も下の子も何の連絡もなく、幼稚園に入れた。今も待機しているお母さんもいて、働きたくても働けないと聞いています。 ・他の地区では、新設されていますが、必要な人が多いところに建てないと意味がないのでは。 ・保育園に入れないから働きたくても働けないという時期があったので、保育園の受け入れ人数を増やしたり、子育て世帯への支援（お金）増やして下さい。 	6
時間延長 <ul style="list-style-type: none"> ・朝7時から受け入れ可能な保育園の増加。 	2
保育料見直し <ul style="list-style-type: none"> ・2人目は第2子なのに上の子が卒園してしまうと保育料が全額になる理由がわからない。在園でなくても第2子、第3子は割引してほしい。 	1
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・このごろ市内には小規模の保育園が続々とできてきて、働くお母さんにとってはすごく助かると思います。待機児童や少子化の解決にも繋がっていくと思います。 ・最近小さい保育園が沢山出来ているようで、2人の子どもを市の保育所に通わせていた私にとっては頼もしい限りです。市の保育所を民営化する流れとなっていますが、利用する方が不便を感じなければ良いのと思っています。 ・共働きのため、子ども3人とも保育所にお世話になった。民営の保育所に預けたこともあったが、やはり市営の方が先生の年令層の広さ、人数等のためか、ゆとりがあり、安心感があった。 	6

(3) 認定こども園について

カテゴリと主な意見	件数
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園の制服を無くすべき。 ・認定こども園など母親が働きやすくなる一方で、保護者会やPTAなどの協力が得られにくくなっていて、基本的な教育、保育、子育て環境の質は悪くなっているように感じます。 	2

(4) 小学校について

カテゴリと主な意見	件数
教育内容の充実と見直し <ul style="list-style-type: none"> ・教育面で不安があるので、授業以外でも学校でもう少し勉強を教えてもらえると助かります。 ・身を守るため、人を大切にするためにもっと性教育に力を入れていける世の中になってほしいと思っています。 ・ゆとり教育と言われているが授業が追いついていない様に思う。その分は夏休みを返上して1週間くらい午前中授業を設ける等、新学期に備えるのにも良いのではないと思う。 ・1クラスの人数を減らし、1人1人に目が届く教育・サポートをしてほしい。 ・小学校のクラスを学力ごとに細かく分けられたらいいと思います。差がありすぎる。 	11
登下校時の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の際、ご近所の方が見守りをしてくれていて、とてもありがたいです。ただ、どちらの方なのか分からない方がたまにいらっしゃいます。子どもたちの安心・安全のためにも、名前等わかるようにしてもらえるといいかと思います。 ・小学校までが遠く（通学片道約50分）、交通量の多い危険な道路を複数回横断しますが、通学路に対しての配慮が何もありません。親やボランティア任せです。距離や危険度でスクールバスを出すなど考えてほしいです。 ・小学生に対しても安心して登下校できる環境、安心して遊べる公園など、見守りを強化した環境作りに努めていただきたいと思います。 	4
英語教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・英語科が必修になりますが、学校だけの勉強でついていけるような体系化、そして、塾にいかなくても大丈夫なようにサポートを何らかの形でしてほしい。 ・全国に先がけて英語教育に力を入れてほしいと思います。 	2
校庭の開放 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後、校庭を開放してほしい。 	1
給食について <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教材費で給食費など無料にしてもらえると助かります。 ・中学校の給食を自校給食にしてほしいです。 	2
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の人数が少ないことが気がかりです。部活動なども活気ある学校になると良いです。 ・小学校のPTA活動の負担が大きい。 ・小、中学校の子どもの通学カバン（ランドセル）の重さが、異常だと思います。特に中学校は、教科書、ノートなど、全てを毎日持ち帰らなければいけないことになっているので、20kgくらいはあると思います。必要な物だけを持ち帰ればよい、という通達を全ての学校に出してほしいです。このままでは子どもの体に支障が出ます。 ・スクールカウンセラーの数が少なく（来校日数が少ない）、相談しにくいイメージがある。 ・小学生や中学生向けに「命の大切さ」についての講演を行って欲しい。 ・放課後に、学校の学習で分からないところを聞ける時間を設けてほしいです。 	17

(5) 児童館・学童クラブについて

カテゴリと主な意見	件数
時間延長 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ（市運営）に長期休業期間中のみ利用が出来たらありがたいです。 ・フルタイムで就労している母親も多いですが、民間の児童クラブは値段も高く、子どもの人数も多く、預けるのに不安があります。時間を20時まで延長して頂けるとありがたいです。 ・夏休みなどの長期休業中の学童の利用時間を7時からにしてほしい。 	4
休日・長期休暇中の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・土日仕事なので、児童クラブが日曜日でもやってもらえると助かります。 ・長期休暇時の児童クラブ枠（増員）を増やしてほしい。 	2
利用条件見直し <ul style="list-style-type: none"> ・親がフルタイム以外でも、児童クラブをもっと利用できるようにしてほしい。 ・放課後児童クラブは対象が6年生まで拡大されたが、希望者が多いと低学年優先になったり、高学年でも預かってもらえる、もらえないの判定基準が分からず「4年生の壁」がいまだ大きいように感じる。 ・児童クラブも申込んだが、6年まで受け入れると言うのに、3年で入れなくなるのはとても不安になった。学校や児童館へも距離があるので、交通面に心配が残る。 	10
利用料見直し <ul style="list-style-type: none"> ・厚木市は子育て環境が神奈川でNo.1と言っているわりにはどこがNo.1なんですか。2年前から児童クラブが4,000円から7,500円に値上げをして、どこがNo.1なのかさっぱりわかりません。 ・学童クラブが毎月18,000円かかり（子ども2人分）少ないパート代から毎月出しています。働いても意味があるのか。もう少し学年が上がれば週5日働き、学童クラブも辞め負担が減りいいのかもしれない。 ・保育料の無料化の話があるが、児童クラブの月謝を下げしてほしい。 	7
実施施設の増設 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の設置場所の見直しをしてほしいです。近くに児童館がないこともあり、放課後は公園、友人宅、自宅で遊んでいます。夏の暑い日や冬の寒い日などは公園で遊ぶことが厳しく、自宅で過ごすことが多いです。もう少し近くに児童館があったら、とても助かる。 ・近くに児童館がなく寒い時期や暑い時期に子どもたちの遊べる所が外しかないのが不満です。 	8
その他 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの先生方がもっと長く続けられるよう改善していただきたい。 ・夏休み、子ども同士で遊ぶのに児童館を使いたいのですが今年のように猛暑では、クーラーがなく、使用を禁止されました。長い夏休みを子どもたちで楽しく過ごす為にもクーラーの設置をお願いしたいと思います。 ・最寄りの児童館が交通量が多く子どもだけでも、ベビーカーでも歩くのが危ないと感じます。 ・放課後クラブを全小学校、中学校に設置してほしいです。 ・児童クラブについて（市運営）6年生まで預っていただけるようになり、また、定員も増やしていただき大変感謝しております。ただ、内容が高学年には物足りないので、今後の課題として取り組んでいただくと更に良くなっていくと思います。 	25

(6) 地域子育てセンター、広場について

カテゴリと主な意見	件数
地域子育て支援拠点事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターなどのサービスを利用できる地域が限られていると思う。 	1

(7) その他の子育て支援サービスについて

カテゴリと主な意見	件数
病児・病後児保育事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事中に子どもが学校で熱を出しました。お迎えに行けない場合の対応を出来る環境を作っていただきたい。 ・病児・病後児保育は増やしてほしい。 	3
障がい児への支援充実 <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいグレーの子どもは全て放課後デイサービスにというのは家族の送迎が慣れるまで大変です。ADHD 軽度ならば児童クラブでの対応可能にしてほしい。 ・療育の必要な子に対して、もっと色々対応出来るようにしてほしい。 ・気づきにくい発達障がい等がわかりやすい（発見しやすい）情報を家庭に配布してほしい。 ・障がい児に対する幅が大きく、本当に必要な重度の子への補助が少ない。 ・放課後デイサービスの定員がいっぱいで入れません。もっとたくさんデイサービスがあると嬉しいです。 ・障がいのある子を排除するのではなく、一緒に育てることを中心にサポートを考えるべき。他市と比べても非常に遅れている。 	13
一時預かり事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学童の子ではない子どもが急遽等で利用できる小学校の預かりがあるとすごく有難いと思います。 ・サービス業なので日、祝日、年末年始、GW、お盆などに預ける所がなくて困ります。 ・休日、祝日に預けられる場所を作ってほしいです。 	9
児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・進学時にお祝い金支給があると嬉しい。 ・子どもを預かる支援よりも子どもと一緒にいられる時間を持つだけの補助や助成がありがたいです。 ・児童扶養手当の支給額を決めるにあたり、子どもの年齢も考慮してほしい。 ・就学前の支援だけでなく、小学校入学からの方が、手やお金がかかることも多いので、支援していただきたい。 ・兄弟が多くいる家庭に補助を充実していただきたいです。 	21

(8) 子育てに関する情報について

カテゴリと主な意見	件数
子育て支援に関する情報の充実 <ul style="list-style-type: none"> 行政サービスや民間支援の情報を積極的に発信してほしい。 インターネットもしなく、外出もあまりしない私には、子育て事業のことはあまり知りません。そういう人にも、周知できるよう考えてほしい。 子育て支援事業がたくさんある印象なのですが、それぞれどのような事業なのか、具体的に分かりやすくなれば今以上に利用できるものが増えると思います。 習い事（スポーツ、その他も）の情報がほしい。 	9
子育てに関する相談先の充実 <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児のころは子育てについて相談できる場所があった（利用はしたことはない）が、小学生等になると子どものこと、学校のことと相談できる場所がない（わからない）。 ベビーシッターとか、家事代行サービスや子育ての悩み、発達障がいについて詳しい相談をもっと気軽に出来る所や、また、親自身の色々な悩みやストレスを聞いてくれたり、発散できる場所があるといい。 	7

(9) 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について

カテゴリと主な意見	件数
子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について <ul style="list-style-type: none"> 子どもがボールを使って遊べる公園がありません。放課後ボールを使ってのびのびと遊べる場所は学校の校庭しかありません。中、高学年では6時間授業の日は一度帰宅してからまた校庭に行くには時間が足りません。のびのびと子どもたちが遊べる公園の充実を図っていただけると助かります。 もっと家の近くに子どもが安全に遊べる場所があるといいのにとします。 横断歩道（通学路）の整備。 児童館や通学路等で不審者情報、犯罪めいた事件が多く、児童館にも道にも防犯カメラの設置がなく同一人物による不審者が繰り返し子どもを危険にさらしています。 厚木市の図書館も改装し、より使いやすいものになることを希望します。 小学校の登下校について歩道が狭い所が多い。 公民館の図書室には、読書をしたり勉強をするスペースが無いので、夏休み中等に自習が出来るといい。 子ども科学館がとても古いので、もう少し広くキレイに遊びも充実させてほしいです。 駅周辺に風俗店が多くあり、環境が良くないと思う。 	71

(10) 母子の保健について

カテゴリと主な意見	件数
医療費補助、医療体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 高校生までの学費助成制度、医療費助成があったらいい。 もう少し市立病院のシステムを改善してほしいです。 	12

(11) 地域のつながり、協力等について

カテゴリと主な意見	件数
<p>地域のつながり、協力等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報が多いと感じています。子どもたち自身が注意することはもちろんですが、周りの大人たちも積極的に子どもを守る行動をしたいと思います。 ・地域の行事が豊富で興味があるものに次々と参加しています。 ・子ども会をもっと充実させる事で、地域のつながりや親子・近隣の方とのコミュニケーションも図れ、安心して楽しく過ごせる気がします。 ・子どもたちが自分の地域が大好きでいろいろな年代の方々と交流できる事を祈ります。 	6

(12) 子育て中の保護者の状況について

カテゴリと主な意見	件数
<p>子育てと仕事の両立について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きながら（フルタイム勤務）での子育てと、専業主婦の子育ての両方を経験しています。働きながらの時のほうが、支援が手厚く子育てしやすかったように感じています。 ・子どもの成長に合わせて、就労形態を選ぶのが理想だとは思いますが現実的に（親の年齢等もあり）とても自由がきくことは無い。（そもそも、正社員にしてもらえない）収入を取るか、子どもの安全を取るか（留守番や病気の時の対応）をはかりにかけて、毎日、つな渡りのように生活している。 	5
<p>保護者のリフレッシュ、子育て不安等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に子どもを預けられる、家事を頼めるなど、月に2、3日でもよいので、親が休めるゆとりある制度ができると喜ばれると思います。 ・幼児や児童を持つ親の育児やその他のストレスに対して、専門医のサポートが受けやすいと良いと思う。 ・フルタイムで働く母親にとって負担が大きい。子どものためにとがんばっている母親たちが多くいるが、そこまでがんばりきれないと思う。子どもの数が減ってきている分、負担が大きくなってきている。 ・親へのサポートも必要（保育園等）だと思いますが、教育へもう少し力を入れてもらえれば（学力アップ等）と思います。 	10
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小さいうちは、オムツの支給や医療費助成などで、金銭面で助けられ働けない時期（母親が）を助けていただきましたが、子どもが大きくなると、今度は私たち母親の親の世代の介護が始まり、また働けず、子どもが大きい分教育がかかるという、非常に悪循環である。 	1

(13) その他

カテゴリと主な意見	件数
<p>市政について</p> <ul style="list-style-type: none">・いつも子育てに力を入れていただきありがとうございます。中学生になってからの支援ももう少しほしいです。・駅周辺だけではなく市の全域に平均的に事業を進めていただけたら嬉しいです。・これからも日本一目指して頑張ってもらいたい。・一番困っている家庭が本当に助かると感じる行政サービスが、全体が心地の良い環境を作るのだと思うので、困っているという定義も、経済的な面だけではなく、DVや孤独な子育て、あらゆる心配に対して気軽に声を上げられる、サービスをぜひお願いしたいです。・公立の中高一貫校ができるような、環境を整えてほしい。・あらゆる面において子育てがしやすい市だと思います。子育てする人の立場になって、何が必要か知ろうとしてくれる、その姿勢が感じられます。たくさんの施策があるので、もっとたくさんの方に知ってもらいたいと思います。	40
<p>アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケートの構成が様々な就労条件を考えたものになっておらず、答え辛いと感じました。・障がい児（者）に関する対応を全く無視したアンケートですね。厚木市の子育て支援の1番の課題は障がい者です。ファミリーサポートも障がい児は高3まで使えるとか考えて下さい。・このようなアンケート調査においても謝礼が毎回出ると、皆さん真剣に積極的に参加できると思う。	7

II-3 調査票

1 未就学児

子育て支援に関するアンケート調査 (未就学児保護者) ～調査の趣旨とご協力のお願～

【ご協力のお願】

みなさまには、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく子ども・子育て支援新制度がはじまり、厚木市においても、絶えず変化する子育て支援ニーズに迅速に対応するため、「厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援サービスの充実を図ってまいりました。

この度、「厚木市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、市民のみなさまの子育て支援サービスや施設の利用等について、現状とご希望をお聞かせいただくためにニーズ調査を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳（平成30年11月14日現在）の中から無作為に選ばせていただいた小学校入学前のお子さんがある保護者の方4,000人にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、今後の厚木市の子ども・子育て支援のあり方を決めるための貴重な資料として、「厚木市子ども育成推進委員会」において検討し、すべての子育て世帯を応援するために活用します。

なお、ご回答いただいた調査内容により、回答者個人が特定されることや、他の目的に利用されることは一切ございません。

ご多用のこととは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成 30 年 12 月

厚木市長 小林 常良

- ・ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださるようよろしくお願い申し上げます。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

1月11日（金）までにポストにご投函ください。（切手は不要です。）

- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



担当：厚木市子ども育成課子ども政策係

電話：046-225-2262

FAX：046-225-4612

（調査実施委託先：株式会社名豊）

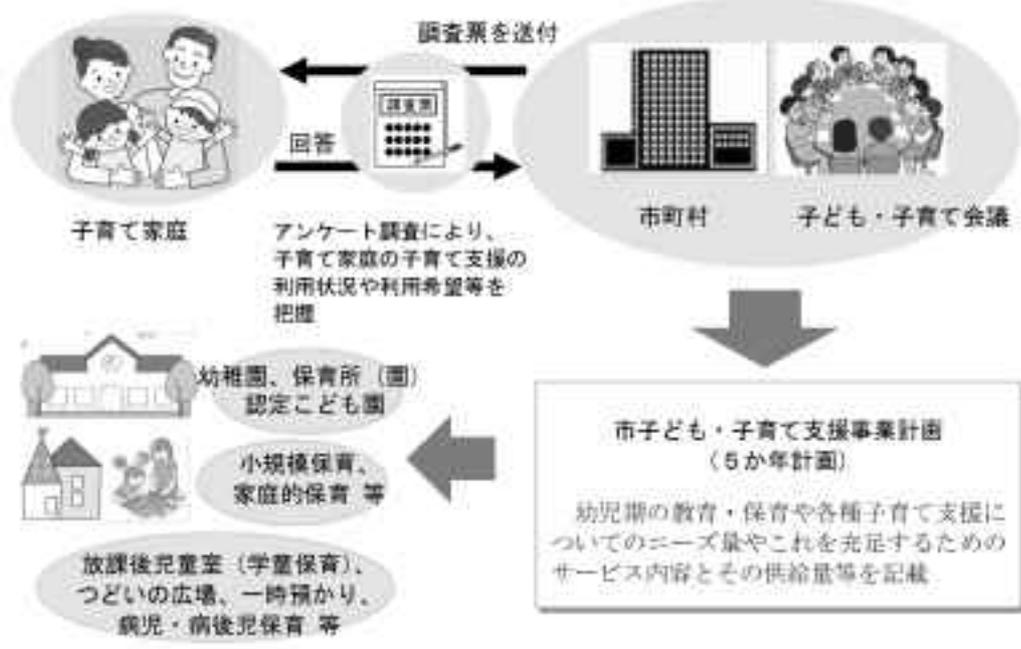
※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期における子どもと保護者の心の絆の形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

【アンケート調査票に使われている用語の定義】

病児・病後児保育	市内在住又は市内保育所等に通園しているお子さんが急な病気等で保育園等に行けない場合で、保護者の就労や出産等により家庭で保育を行うことができないお子さんを病児・病後児保育室等で預かるサービスです。
ファミリー・サポート・センター	子育て家庭を対象に育児の援助を受けたい方と、行いたい方が会員となり、お互いに子育てを支え助け合う活動です。
幼児教育・保育無償化	現在、国では2019年10月に幼児教育・保育の無償化を検討しています。実施内容は、3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児について保育料（給食費や教材費等の実費徴収分は除く）を0円にするものです。

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
 ぜひご回答くださるよう、お願い申し上げます。



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ | ） | | | |

問11 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問11-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒問11-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒問12へ |

問11-1 問11 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | ） |

⇒ 問12 へ

問11-2 問11 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | ） |

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問12-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問13 へ |
|--------------------|-------------------|

問12-1 問12で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他（【例】ベビーシッター | ） |

問13 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」等	1	2	3
③性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
④心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとても怖がる」「パニックを起こす」等	1	2	3
⑤行動面 例)「落ち着きがない」「気になる癖がある」等	1	2	3
⑥友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑦保育所、幼稚園等との関係 例)「保育士の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑧就園・就学 例)「就園に対する不安」「小学校就学に対する不安」等	1	2	3
⑨親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑩その他（)	1	2	3

※子どもの育ちについての悩みことや心配なことがありましたら、子育て支援センター（☎046-225-2922）や療育相談センター「まめの木」（☎046-225-2252）にご相談ください。



問13-1 子育て(教育を含む)をする上で、支援の窓口として子育て支援センター等がありますが、その他に周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒ (1) -1 ^ ⇒ (2) ^
--	---------------------------------------

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

家を出る時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 帰宅時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時
--

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではないフルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中であるパート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではないパート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である以前は就労していたが、現在は就労していないこれまで就労したことがない	⇒ (2) -1 へ
	⇒ 問16へ

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
-------	------------------------	-------	--

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時~18時のように、24時間制でお答えください (口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時
--------	---	------	---

問15 問14の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none">フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがあるフルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはないパート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事等に専念したい

(2) 父親

<ol style="list-style-type: none">フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがあるフルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはないパート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事等に専念したい

問15-1 問15の(1)または(2)で「3.パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」または「4.パート・アルバイト等やめて子育てや家事に専念したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事等に専念したい
--

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事等に専念したい
--

問16 問14の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア。」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
---	---

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア。」以外） →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
---	---

問 16-1 問 16 の(1)または(2)で「1.子育てや家事などに専念したい」または「2.1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 17へお進みください。

幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)
→1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)
→1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間



問17-7 問17-6で「1. 利用する」に○をつけた方にかがいます。幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、平日どのような教育・保育の事業を利用しますか。年間を通じて「定期的に」利用を希望する事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 市町村の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、市町村が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

問18 すべての方にかがいます。**現在、利用している、利用していないにかかわらず**、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「**定期的に**」**利用したいと考える事業**をお答えください。当てはまる番号**すべてに**○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 市町村の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、市町村が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

※幼稚園や保育所等の利用施設選びでお悩みの際は、保育コンシェルジュ(こども育成課 ☎046-225-2262・保育課 ☎046-225-2231)にご相談ください。

問18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」の**いずれかに**○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問18-2 **問18で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~12にも○をつけた方にかがいます。**特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。**当てはまる番号に**○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------



問18-3 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、幼児教育・保育無償化に伴い、保育料が無料となった場合、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 市町村の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、市町村が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場（子育てサロン）」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。

次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場） →1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： <input type="text"/> ） →1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度
3. 利用していない

問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号**1つ**に○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

<p>1. 利用していないが、今後利用したい</p> <p>→1週当たり <input type="text"/>回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="text"/>回程度</p> <p>2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい</p> <p>→1週当たり 更に <input type="text"/>回 もしくは 1ヶ月当たり 更に <input type="text"/>回程度</p> <p>3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない</p>
--

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、**A～Cのそれぞれ**について、「はい」「いいえ」の**いずれかに**○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、 育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口（子育て支 援センター）	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号**1つ**に○をつけ、**希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入**ください（数字は一枠に**一字**）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

<p>1. 利用する必要はない</p> <p>2. ほぼ毎週利用したい</p> <p>3. 月に1～2回は利用したい</p>	} ⇒	<p>利用したい時間帯</p> <p><input type="text"/> <input type="text"/>時から <input type="text"/> <input type="text"/>時まで</p>
--	-----	--

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問22-1 問22の(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため)
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	
4. リフレッシュ	
5. その他(

問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		

問23-1 問23で、「3週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため)
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	
4. リフレッシュ	
5. その他(



問24-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号**1つ**に○をつけ、日数についても口内に**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒問24-3 へ
2. 利用したいと思わない ⇒ 問24-4 へ

問24-3 **問24-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（)

⇒ 問25 へ

問24-4 **問24-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。**そう思われる理由について当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（)

⇒ 問25 へ

問24-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号**1つ**に○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 ⇒ 問25 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問24-6 へ

問24-6 **問24-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。**そう思われる理由について当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（)

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、**私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業**はありますか、ある場合は、当てはまる番号**すべてに○をつけ**、1年間の利用日数(おおよそ)も口内に**数字でご記入**ください(数字は一桁に一字)。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (保育所・認定こども園・託児室わたくもなどで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間看護等事業：トワイライトステイ (児童看護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5. ヘビーシッター	□ □ 日
6. その他()	□ □ 日
7. 利用していない	

⇒問26へ

問25で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問25-1 現在利用していない理由は何ですか、当てはまる番号**すべてに○をつけて**ください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地)がよくない
5. 利用可能時間が短い	6. 利用可能日数が少ない
7. 利用料がかかる・高い	8. 利用料がわからない
9. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	10. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
11. その他()	

子育て支援センターにある託児室わたくもは
便利だBoo~



問26 宛名のお子さんについて、**私用、親の通院、不定期の就労等の目的**で、年間何日くらい事業を**利用する必要がある**と思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号**すべてに○**をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に**数字**でご記入ください。数字は一枠に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問27へ	

問26 で「1.利用したい」に○をつけた方につながります。

問26-1 問26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号**すべてに○**をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業等） 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（ <input type="text"/> ）
--

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問32へ

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を**数字でご記入**ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に**数字でご記入**ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。



問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問30 問28 または問29 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

問32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問33へ

問32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所・認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所・認定こども園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所・認定こども園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

問32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

(2) 父親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

問32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号**すべてに**○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所・認定こども園に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所・認定こども園に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()



あと少し!!
最後まで、ご協力お願い
いたします。

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所・認定こども園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号12に○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問36 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、1月11日（金）までにご投函ください。



2 就学児童

子育て支援に関するアンケート調査 (小学生保護者) ～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

みなさまには、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく子ども・子育て支援新制度がはじまり、厚木市においても、絶えず変化する子育て支援ニーズに迅速に対応するため、「厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援サービスの充実を図ってまいりました。

この度、「厚木市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、市民のみなさまの子育て支援サービスや施設の利用等について、現状とご希望をお聞かせいただくためにニーズ調査を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳（平成30年11月14日現在）の中から無作為に選ばせていただいた小学生のお子さんがある保護者の方2,000人にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、今後の厚木市の子ども・子育て支援のあり方を決めるための貴重な資料として、「厚木市子ども育成推進委員会」において検討し、すべての子育て世帯を応援するために活用します。

なお、ご回答いただいた調査内容により、回答者個人が特定されることや、他の目的に利用されることは一切ございません。

ご多用のことは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成 30 年 12 月

厚木市長 小林 常良

- ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださるようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ〇で囲んでください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

1月11日（金）までにポストにご投函ください。（切手は不要です。）

- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



担当：厚木市子ども育成課 とも政策係

電話：046-225-2262

FAX：046-225-4612

（調査実施委託先：株式会社名豊）

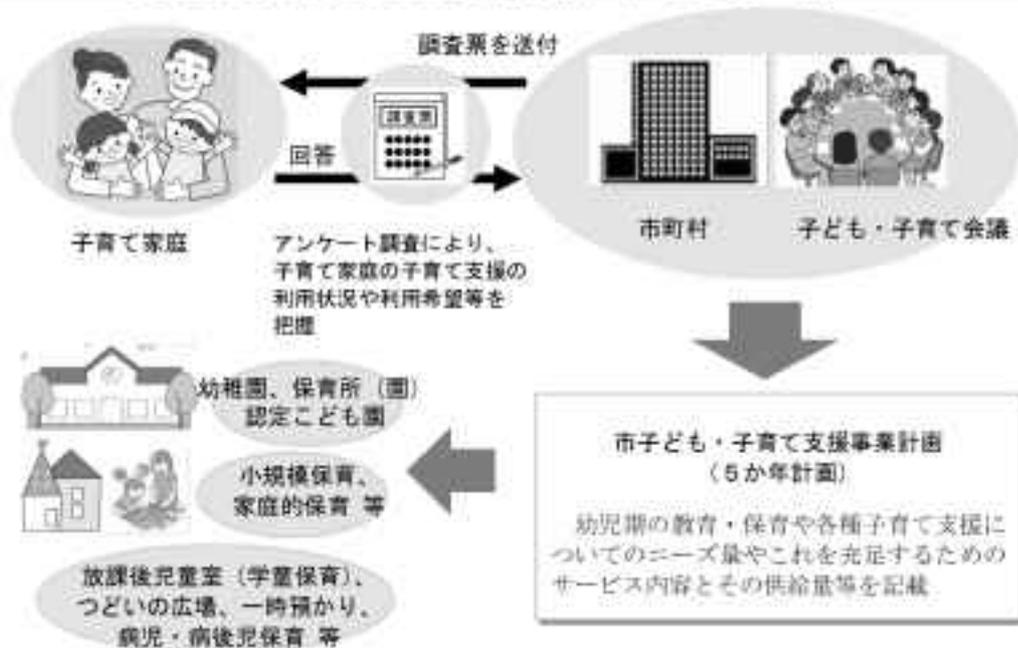
※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期における子どもと保護者の心の絆の形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

【アンケート調査票に使われている用語の定義】

病児・病後児保育	市内在住又は市内保育所等に通園しているお子さんが急な病気等で保育園等に行けない場合で、保護者の就労や出産等により家庭で保育を行うことができないお子さんを病児・病後児保育室等で預かるサービスです。
ファミリー・サポート・センター	子育て家庭を対象に育児の援助を受けたい方と、行いたい方が会員となり、お互いに子育てを支え助け合う活動です。
幼児教育・保育無償化	現在、国では2019年10月に幼児教育・保育の無償化を検討しています。実施内容は、3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児について保育料（給食費や教材費等の実費徴収分は除く）を0円にするものです。

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。
ぜひご回答くださるよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|---------|
| 1. 厚木北 | 2. 厚木南 | 3. 依知北 | 4. 依知南 | 5. 睦合北 |
| 6. 睦合南 | 7. 睦合西 | 8. 荻野 | 9. 小鮎 | 10. 玉川 |
| 11. 南毛利 | 12. 相川 | 13. 緑ヶ丘 | 14. 愛甲 | 15. 森の里 |

到南の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。）

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

問8 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家計のやりくり 2. 家族・知人による援助の不足
3. 育児・介護による時間の不足 4. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|---|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒問9-1 へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | ⇒問9-2 へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒問10へ |

問9-1 **問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。** 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

⇒ 問10 へ

問9-2 **問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。** 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()



問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問11 へ |
|--------------------|-------------------|

問 10-1 問 10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 小学校教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他（ | ） |

問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、**A～Cのそれぞれ**について、「はい」「いいえ」の**いずれかに**○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
④教育相談センター・教育相談室	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑥子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ



問12 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点での気になることまたは心配なことはありますか。それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

気になること 心配なこと	1 ない	2 ときどき ある	3 ある
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」等	1	2	3
②運動面の遅れ 例)「歩行が不安定」等	1	2	3
③性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」等	1	2	3
④心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「些細なことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「パニックを起こす」等	1	2	3
⑤行動面 例)「落ち着きがない」「気になる癖がある」等	1	2	3
⑥友達関係 例)「友達とうまく遊べない」「友達をつくるのが苦手」等	1	2	3
⑦小学校との関係 例)「先生の指導」「環境面」「いじめ」等	1	2	3
⑧学習面 例)「読む・書く・聞くのが苦手」等	1	2	3
⑨親子関係や育て方 例)「子どもに対する接し方が分からない」等	1	2	3
⑩その他()	1	2	3

問12-1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<p>⇒ (1) -1 ^</p> <p>⇒ (2) ^</p>
--	----------------------------------

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<p>⇒ (2) -1 ^</p> <p>⇒ 問14^</p>
--	---------------------------------

- (2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

- (2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

- 問14 問13の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい



問15 問13の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

<p>1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)</p> <p>2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p>→希望する就労形態</p> <p>ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)</p> <p>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)</p> <p>→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間</p>

(2) 父親

<p>1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)</p> <p>2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p>→希望する就労形態</p> <p>ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)</p> <p>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア。」以外)</p> <p>→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間</p>



問16-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号**1つ**に○をつけ、日数についても□内に**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □日 ⇒問16-3 へ
2. 利用したいと思わない ⇒ 問16-4 へ

問16-3 **問16-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（)

⇒ 問17 へ

問16-4 **問16-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。**そう思われる理由について当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（)

⇒ 問17 へ

問16-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号**1つ**に○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても**数字でご記入**ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □日 ⇒ 問17 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問16-6 へ

問16-6 **問16-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。**そう思われる理由について当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（)

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

※参考 厚木市における放課後児童対策事業の概要

事業名称	事業内容	利用料（月額）	時間
放課後児童クラブ （市運営）	保護者が就労などにより居間 家庭にいない場合などに、指 導員の下、子どもの生活の場 を提供するもの。	4,000円（18時まで） 4,800円（19時まで） その他クラブ費 3,500円 （おやつ代、教材費等）	平日：放課後～19時 土曜日、夏休み等の長期 休業日等：7時30分～ 19時
民間児童クラブ （民間運営）		12,000円～27,540円 ※施設により相違	放課後～20時 ※施設により相違
児童館	児童に健全な遊びを与え て、その健康を増進し、情 操を豊かにすることを目的 として設置している。	無料	13時～17時

問 17 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。

当てはまる番号に**すべてに**○をつけ、それぞれ該当する週あたり日数を**数字でご記入**ください。
また、5・6を選んだ方は、利用している時間帯を口内に（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ（市運営）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 民間児童クラブ（民間運営）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（図書館・公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「5.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。厚木市では、相川、鳶尾、玉川小学校で実施しています。

問 18 今後、お子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号に**すべてに**○をつけ、それぞれ該当する週あたり日数を**数字でご記入**ください。
また、5・6を選んだ方は、利用したい時間帯を口内に（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（学習塾、ピアノ教室、スイミングスクール、サッカークラブなど）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ（市運営）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
6. 民間児童クラブ（民間運営）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. その他（図書館・公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

問 19 **問 17 または問 18 で「5. 放課後児童クラブ（市運営）」「6. 民間児童クラブ（民間運営）」に○をつけた方にうかがいます。**宛名のお子さんについて、(1)、(2)、(3)それぞれ当てはまる番号**1つ**に○をつけてください（利用には、一定の利用料がかかります）。**また、利用したい日数及び時間帯を口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。**

(1) 平日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい日数及び時間帯 週に <input type="checkbox"/> 日（平日のみ） 下校から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用希望はない	

(2) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい日数及び時間帯 月に <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 4年生まで利用したい	
3. 5年生まで利用したい	
4. 6年生まで利用したい	
5. 利用希望はない	

(3) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用希望はない	利用したい日数及び時間帯 月に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---

問 20 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなど長期の休業期間中の児童クラブ（市運営・民間運営）の利用希望はありますか（事業の利用には一定の料金がかかります）。

当てはまる番号 **1つ**に○をつけてください。また利用したい日数及び時間帯を、口内に（例）**09時～18時**のように**24時間制**でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用希望はない	利用したい日数及び時間帯 週に <input type="text"/> 日（土日祝日含む） <input type="text"/> <input type="text"/> 時 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	---

問 21 **放課後児童クラブ（市運営）**を利用している、または、利用したことがある方にうかがいます。

放課後児童クラブ（市運営）に対して要望したいことはありますか。当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

1. 利用時間を延長してほしい 3. 施設設備を改善してほしい 5. 現在のままで良い 7. その他（	2. 日曜日・祝日も開いてほしい 4. スタッフ体制の充実 6. 定員を増やしてほしい
--	---

問 22 **放課後児童クラブ（市運営）**を利用したことがない方にうかがいます。宛名のお子さんが放課後児童クラブ（市運営）を利用していない理由を次の中から**1つ**お選びください。

1. 特に必要ないから（お子さんの帰る時間には大人がいる 等） 2. 保護者またはお子さんが児童クラブを利用したくないから 3. 時間が間に合わないから 4. 児童クラブの存在を知らない 5. 児童クラブに入所できなかった 6. 民間運営の児童クラブを利用したかった 7. その他（	
---	--



厚木市は全ての小学校に放課後児童クラブが設置してあるから、安心して預けられるBoo~

平成 30 年度
厚木市子ども・子育て支援事業ニーズ調査

発行年月 平成 31 年 3 月

発行 厚木市子ども未来部子ども育成課

〒 243-8511 神奈川県厚木市中町 3-17-17

電話 (046) 225-2262

<https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>